

HDD AVナビシステム

取扱説明書 (Audio操作編)

お買い上げいただきありがとうございます。

**警告**

本機は、安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故の原因となります。

この取扱説明書では、HDDオーディオライブラリーシステム/
CD/MP3/MD/DVDビデオ/ラジオ/TVの操作について説
明しています。

本機の使用に関する全般的な説明およびナビゲーションの操作に
つきましては、別冊の「取扱説明書(本編)」をお読みください。

この取扱説明書、「取扱説明書(本編)」および「取り付けと接続」
には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを
示しています。この取扱説明書、「取扱説明書(本編)」および
「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いく
ださい。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず
保管してください。



MDLP



MEMORY STICK



gracenote



NVX-Z555

目次

共通

はじめに	4~10
本機で再生できるディスク	4、5
データベースについて	5、6
DVDビデオについて	7
メモリスティックについて	8
TV/ラジオについて	8
はじめに	9、10
モード表示画面のモードボタンについて	10
音量を調整するには	11
音声はそのまま、画面を消す	12
音声はそのまま、ナビ画面を表示する	13
ナビ画面を表示したままでオーディオ画面を表示する(マルチ画面にする)	14
映像の調整のしかた	15~17
画質調整を初期値に戻すには	17
設定画面の背景や情報表示の透過率を替える	18
情報表示を止める	19
オーディオの調整をする	20~25
音場(臨場感)を替えるには	20、21
イコライザ(音質)を替えるには	22、23
フェーダー/バランス(音量)を調整するには	24、25
背景を変える	26~29
ファイルより選択して変える場合	26、27
CDまたはメモリスティックより追加する場合	28、29
背景をメモリスティックへコピーする	30、31
録音設定(自動/手動を選択する)	32
HDDの情報を知る	33
データ管理	34~37
データ管理(Gracenote CDDbタイトル情報追加)の流れについて	34
Gracenote CDDbの更新をするには	35、36
Gracenote CDDbのデータを初期化するには	37
HDDまたはメモリスティックのデータを初期化するには	37
オーディオライブラリーシステムについて	38、39
本機のオーディオライブラリーシステム機能について	38
オーディオライブラリーシステムへの録音について	39

共通

オーディオライブラリーシステムへの録音設定	40~42
録音速度/録音方法/録音音質を選択する	40~42
オーディオライブラリーシステムへ録音する	43
CDを再生しながら自動で録音	43
CDの中から好みの曲を録音する	43

CDプレーヤー

CDプレーヤーを使う	44~51
各部の名称とはたらき	44
表示部について	45
CDを聞く	46、47
CDを止める	47
CDを取り出す	48
好きなトラックを選び再生させる	48
早送り/早戻しをする	49
シャッフル(順序不同)再生をする	49
リピート(繰り返し)再生をする	50
イントロスキップ再生をする	50
画面を変えるには	50
リストより好きなトラックを選び再生させる	51
ディスク名/トラック名をスクロールさせる	51

HDD/プレイリスト

オーディオライブラリーシステムを使う	52~64
各部の名称とはたらき	52
表示部について	53
オーディオライブラリーシステムを聞く	54
オーディオライブラリーシステムを止める	54
好きなトラックを選ぶ	55
早送り/早戻しをする	55
シャッフル(順序不同)再生をする	56
リピート(繰り返し)再生をする	57
イントロスキップ再生をする	58
他のアルバムを聞く	59
アルバムリスト/トラックリストの編集	60~64
再生中の曲をプレイリスト登録する	65
プレイリストを使う	66~71
プレイリスト登録曲を聞く	66
プレイリスト再生を止める	66
リピート(繰り返し)再生をする	66
プレイリストを選択し再生させる	67
プレイリストの編集	68~71
アルバム名/トラック名をスクロールさせる	71

MP3	MP3について	72~76
	MP3を再生する	77~83
	各部の名称とはたらき	77
	表示部について	78
	MP3を聞く	79、80
	MP3を止める	80
	MP3ディスクを取り出す	81
	表示内容を切り替える	81
	好きなフォルダを選ぶ	81
	好きなファイルを選ぶ	82
	早送り／早戻しをする	82
	リピート(繰り返し)再生をする	83
	アーティスト名／アルバム名／フォルダ名／ ファイル名をスクロールさせる	83

MD プレーヤー	MDプレーヤーを使う	84~93
	各部の名称とはたらき	85
	表示部について	86
	MDを聞く	87
	MDを止める	88
	MDを取り出す	88
	好きなトラックを選ぶ	89
	早送り／早戻しをする	89
	シャッフル(順序不同)再生をする	90
	リピート(繰り返し)再生をする	91
	イントロスキップ再生をする	92
	好きなグループを選ぶ	93
	ディスク名／グループ名／ トラック名をスクロールさせる	93

DVD プレーヤー	DVDプレーヤーについて	94
	DVDプレーヤーを使う	95~113
	各部の名称とはたらき	95~97
	再生を始める	98、99
	DVDを止める	100
	再生を止める	100
	再生を一時停止(静止)する	101
	再生中にチャプターを進める／戻す	101
	早送り／早戻しをする	102
	コマ送り／コマ戻しをする	102
	スロー送り／スロー戻しをする	103
	時間の表示を替える	103
	DVDメニューを使う	104、105
	タイトルメニューを使う	106、107

DVDプレーヤー

好きなところから再生する	108、109
音声言語を切り替える	110
字幕言語を切り替える	111
アングル(角度)を切り替える	112
リピート(繰り返し)再生する	113
DVDの初期設定について	114～122
各部の名称とはたらき	114
初期設定を変更する	115

ラジオ

ラジオを使う	123~130
各部の名称とはたらき	123
表示部について	124
ラジオを聞く	125
ラジオを切る	125
バンドを選ぶ	126
選局する	127、128
プリセットボタンにメモリーする	129
自動選局感度(DX)を切り替える	130
交通情報を受信する	131
道路交逡情報を受く	131
道路交逡情報の受信を止める	131

T V	TVを使う	132~137
	各部の名称とはたらき	132
	TVを見る	133
	TVを切る	133
	選局する	134~136
	プリセットボタンにメモリー する	136、137

その他	マルチ画面について	138~141
	メッセージ表示について	142
	故障かな?と思ったら	143~146
	用語説明	147~149
	索引	150、151

はじめに(1)

本機で再生できるディスク



DVDビデオ



(Ver. 1.1)



(Ver. 2.0)

DVD+R

DVD+RW



音楽CD



※ただし、ディスクの傷や汚れにより、再生できない場合があります。

■下記のディスクは再生できないか、再生できても正常に再生されないことがあります。

- CDG
- フォトCD
- CD-ROM
- CD-EXTRA
- SA-CD
- DVD-ROM
- DVD-RAM
- DVDオーディオ
- SVCD
- DVD+R(2層)
- VIDEO CD

■DVDビデオでも、次のようなディスクは再生できないことがあります。

- リージョン番号「2」が含まれていないディスク
- NTSC以外のカラーテレビ方式(PAL、SECAM)で収録されたディスク
- 無許諾のディスク(海賊版のディスク)

■CD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWでも、次のような場合は再生できないことがあります。

- データが記録されていないディスク
- CD-R/CD-RWの場合、音楽のCDフォーマット以外のディスク
- ディスクの記録状態/ディスク自体の状態によっては再生できません。
- ディスクと本機の相性によっては再生できません。
- 記録に使用したレコーダによっては、再生できない場合があります。
- ファイナライズされていないディスクは再生できません。

※これらの書き込み対応のディスクを使用される場合には、書き込みを行う機器の取扱説明書や注意事項をよくお読みください。

ファイナライズについて

DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWディスクをご使用になる場合、録画された機器で「ファイナライズ処理」を行っていただく必要があります。ファイナライズ処理を行わないと、録画された機器以外の他のプレーヤー(本機など)で再生できない場合があります。

※ファイナライズ処理については、書き込みを行う機器の取扱説明書や注意事項をよくお読みください。

■DVDレコーダで作成したディスクについて

DVD-RWの場合、VRモード(ビデオレコーディングフォーマット)で記録したディスクは再生できません。

※録画方式などについて詳しくは、DVDレコーダの取扱説明書をよくお読みください。

■8cmディスクについて

本機では、8cmディスク用アダプターは必要ありません。

8cmディスクも、12cmディスクと同様に、そのまま入れてください。

! 本機の故障、誤動作または不具合によりハードディスクに記録できなかったデータ(録音内容など)、消失したデータ、ハードディスク内の保存データについては保証できません。ハードディスク内のデータは他の記録媒体への移動は出来ません。

■特殊形状のディスクについて

ハート型や八角形など、特殊形状のディスクは使用しないでください。本機が故障する原因となります。

■コピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)について

ディスクレーベル面(印刷面)に[CDロゴ]  マークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。

パソコン等で複製防止を目的としたコピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)を再生させると、正常に再生できないことがあります。これはコピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)がCD規格に合致していないための現象であり、本機の異常ではありません。コピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)の再生で問題がある場合は、コピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)の発売元にお問い合わせください。

データベースについて

本機は、内蔵のCDプレーヤーからCDアルバムをオーディオライブラリーシステムに録音した場合、ハードディスクに収録されているGracenote CDDDBデータベースの中から、アルバム名やアーティスト名、タイトル名を検索し、各名称がデータベースに収録されていると、録音したデータに自動で付与します。

本機に収録されているデータベース情報は、Gracenote CDDDBのデータベース情報を使用しています。

■Gracenote CDDDBについて

音楽認識技術と関連情報は、Gracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信での業界標準です。

詳細は、Gracenote®社のホームページwww.gracenote.comをご覧ください。

グレースノート社からのCD及び音楽関連データ©2000-2004 Gracenote, Inc. Gracenote CDDDB®クライアントソフトウェア©2000-2004 Gracenote, Inc.この製品及びサービスは以下の米国特許技術の1つもしくは複数で実現されています。#5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, #6,161,132, #6,230,192, #6,230,207, #6,240,459, #6,330,593及びその他の特許や申請中特許。米オープングローブ社からの米国特許#6,304,523のライセンスにより、供与されるサービスまたは製造されるデバイス製品。

Gracenote® and CDDDB®は、グレースノート社の登録商標です。Gracenoteロゴおよびロゴ標記、及び“Powered by Gracenote”ロゴはグレースノート社の商標です。



👉 アドバイス

「Gracenote CDDDB®音楽認識サービス」によって提供されたデータについては内容を100%保証するものではありません。

初
版

はじめに

はじめに(2)

gracenote CDDBのご利用について

■この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

この製品は米国カリフォルニア州、エメリービル市のGracenote("Gracenote")からの技術とデータが含まれています。この製品はGracenoteの技術("Gracenote Embedded Software")により、ディスク認識を可能とし、また名前、アーティスト、トラック、タイトルなどを含む音楽に関する情報("Gracenote Data")を得ることも可能です。この技術はGracenote Database("Gracenote Database")に実装されています。

- Gracenote Data、Gracenote Database、Gracenote Embedded Softwareを商用ではなく、個人の使用のみに使うことに同意すること。
- 標準エンドユーザー機能及びこの製品の機能によってのみ、Gracenote Dataにアクセスすることに同意すること。
- 第三者に、Gracenote Embedded SoftwareまたはGracenote Dataの譲渡、コピー、転送をしないことに同意すること。
- この文章中で明白に許可されること以外でのGracenote Data、Gracenote Database、Gracenote Embedded Softwareの使用あるいは応用をしないことに同意すること。
- これらの制約に違反した場合、あなたのGracenote Data、Gracenote Database、Gracenote Embedded Softwareを使用する非独占的ライセンスの契約を解除します。解除された場合、Gracenote Data、Gracenote Databaseの全ての使用をやめることに同意する。
- GracenoteはGracenote Data、Gracenote DatabaseやGracenote Embedded Softwareの所有権を含むすべての権利を保有しています。
- Gracenoteはこの同意のもとで、Gracenoteの名において、直接あなたに対する権利を執行することができます。

Gracenote Embedded SoftwareやGracenote Dataの各項目はあなたに現状のままで使用許可を与えます。**Gracenoteは、すべてのGracenote Dataの正確さに関する、明示或いは黙示、真実の表明或いは保証は、一切致しません。**GracenoteはGracenoteが明らかに問題であると判断した際、または更新が必要な際には、データカテゴリーを変更したり、データを消去することができます。Gracenote Embedded Softwareが、エラーフリーであるとか、Gracenote Embedded Softwareの機能が断絶しないものであるという保証は致しません。Gracenoteは新しく拡張された或いは追加されるいかなるデータタイプも提供する義務はありません。或いはまた、将来Gracenoteが提供するかもしれないカテゴリーについても、あなたに提供する義務はありません。

Gracenoteは、商品性に関する黙示の保証、特定目的への適合性及び権利侵害の不存在を含む全ての明示または黙示の保証をしません。Gracenoteは、Gracenote ComponentまたはいかなるGracenote Serverの利用により生じた結果について保証しません。

Gracenoteはいかなる場合でも結果的もしくは付随的損害または逸失利益もしくは逸失収入に対して責任を負いません。

DVDビデオについて



本機のリージョン番号(地域番号)は「2」です。

■DVDには世界中を6つの地域に区分したリージョン番号という地域番号があり、DVDソフトの番号とDVDプレーヤーの番号が一致しないと再生できない仕組みになっています。

本機では、リージョン番号が「2」または「ALL」以外のDVDビデオディスクは、再生できません。

👍 アドバイス

- リージョン番号が「ALL」のディスクは、地域制限されておらず、全てのリージョン番号のDVDプレーヤーで再生できます。
- リージョン番号が表示されていないディスクについては、表示はしていないがリージョン番号がついており、同じリージョン番号のDVDプレーヤーのみで再生できる場合と、地域制限されておらず、全てのリージョン番号のDVDプレーヤーで再生できる場合があります。
- リージョン番号が「2」または「ALL」でも、NTSC以外のカラーテレビ方式で収録されている場合は、本機では再生できません。

■ 本機は、DVDビデオの再生において、下記の2つの技術を使用しています。

マクロビジョン

本機は、マクロビジョンコーポレーションやその他の権利者が保有する、米国特許上の方法クレーム及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。リバーシエンジニアリングおよび分解は禁止されています。

ドルビーデジタル


本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

はじめに(3)

メモリスティックについて

- 静電気や電氣的ノイズを受ける恐れのある場所に、“メモリスティック”を放置しないでください。データが破壊される恐れがあります。
- プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますので買い上げの販売店にご相談ください。
- “メモリスティック Duo”を使用する場合は、“メモリスティック Duoアダプター”をご使用ください。
- 128MBまでの容量の“メモリスティック”に対応しています。
- “メモリスティック PRO”には対応していません。
- HDDデータへのデータ転送後は、すみやかに“メモリスティック”を取り出してください。
- “マジックゲートメモリスティック”、“マジックゲートメモリスティック Duo”を使用の場合、マジックゲート機能が必要なデータの再生は本機ではできません。
- 右記のマークの付いた“メモリスティック”は本機に画像を取り込む場合のみ使用できます。





※ “Memory Stick” (“メモリスティック”)  はソニー株式会社の商標です。

- “メモリスティック”へのデータ書込中、またはHDDにデータ転送中は抜かないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。
- “メモリスティック”のフォーマット(初期化)は、本機で行ってください。

 「HDDまたはメモリスティックのデータを初期化するには」37ページ

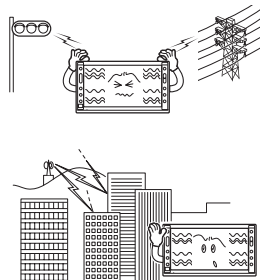
- 本機は“メモリスティック”を使用して下記機能を使用することができます。

- CDDDBのアップデート  「データ管理」34～36ページ
- 画像のコピー  「背景を変える」26～29ページ／「背景をメモリスティックへコピーする」30、31ページ

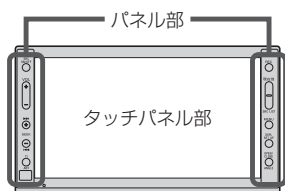
※ “メモリスティック”を使用しての音楽再生はできません。

TV/ラジオについて

- バッテリー交換やヒューズ交換などでバッテリーとの接続が断たれたときは、メモリーしたチャンネルは全て消去されます。
- TVやラジオの受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最適な受信状態を維持することが困難な場合もあります。
 - 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くやラジオ放送、アマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音が入る場合があります。
 - トンネル内にはいたり、放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
 - 一部の地域において、TV、ラジオ等の送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。



はじめに



本書では、
タッチパネル部のボタンは画面の“〇〇ボタンをタッチする”、
パネル部のボタンはパネルの“〇〇ボタンを押す”と記載しています。

※本書のマークについて

👉 アドバイス …本機を使ううえで知っておいていただきたいこと。
知っておくと本機を上手に使うことができ便利です。

👆 ……画面上でタッチパネル操作を表わします。

⋮ ……操作を行った結果を説明します。

MENU ……パネル部のボタンを表わします。

FM/AM ……タッチパネル部のボタンを表わします。

目次
ページ

はじめに

すでに液晶ディスプレイが表示状態になっている場合は、手順 **2** (10ページ)へ進んでください。

- 1 車のイグニッション スイッチを「ON」または「ACC」に入れる。
： 起動初期画面を表示した後、前回電源を切ったとき(車のイグニッションスイッチを「OFF」に入れたとき)に表示していたモードの画面になります。

※ディスプレイの角度を変える場合は「ディスプレイ部の角度を調整する」本編29ページを参照してください。

起動初期画面



モード表示画面(CDモード画面(例))



はじめに(4)

2

それぞれ、下記の場合にしたがって操作してください。

ナビモード画面が表示された場合

(ナビモード画面(例))



パネルの **SRC LIST** ボタンを押す。

ナビモード画面を終了し、オーディオモード画面を表示します。

オーディオモード画面が表示された場合

44～137ページにしたがって、ご希望の操作をしてください。

画面に“SOURCE OFF”が表示された場合

パネルの **SRC ON/OFF** ボタンを押すか、画面の操作したいモードボタンをタッチする。

モード表示画面のモードボタンについて

モード表示画面(HDDモード画面(例))



モードボタン

HDD/プレイリスト

選択中のモードは黄色表示

CD/MP3/DVD

選択可能モードは青色表示

MD

選択不可能モードは灰色表示

音量を調整するには

1 VOL +/- ボタン



音量を調整すると画面に現在の音の大きさ(音量0～31)を示す音量表示が表示されます。音量表示は約2秒間表示されます。

1 パネルのVOL +/- ボタンを押す。

＋：音量が大きくなります。

－：音量が小さくなります。

操作ガイド

【はじめに】
【音量調整】

音声はそのまま、画面を消す

■画面を消して、音声のみ聞くことができます。

1

パネルの **DSPL SETUP** ボタンを押す。

：画面にDSPL設定画面が表示されます。

HDDモード画面（例）



1

DSPL SETUP ボタン

2

画面の **画面OFF** ボタンをタッチする。

：画面が消えて時計のみ表示されます。



3

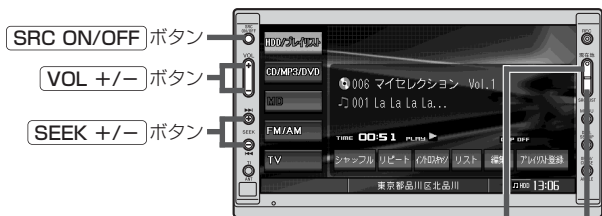
再度、画面を表示する場合は、画面をタッチする。

音声はそのままで、ナビ画面を表示する

■今のモードの音声を聞きながら、地図を見たり、ナビゲーションの操作をすることができます。

1 各モードの画面で、
パネルの **現在地** ボタン
を押す。

：音声はそのままで、画面
がナビモード画面に変わ
ります。



1 **現在地** ボタン
SRC LIST ボタン

■ 今聞いているモードの画面に戻す場合

パネルの **SRC LIST** ボタンを押す。

：今聞いているモードの画面に戻り、今聞いているモードの操作が可能になります。
再度、ナビモード画面を表示する場合は、パネルの **現在地** ボタンを押してください。

👉 アドバイス

音量調整 (**VOL +/-**) や **SEEK +/-** ボタン (▶▶/◀◀) を使った操作、SOURCE ON/OFF
(**SRC ON/OFF** ボタン) は、ナビモード画面のままでもできます。

操作
ガイド

「画面を消す」「ナビ画面を表示する」

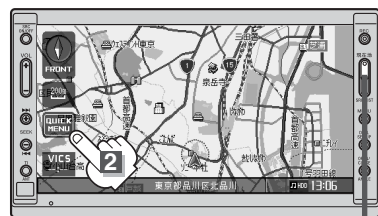
ナビ画面を表示したままでオーディオ画面を表示する

■1画面にナビモード画面とオーディオモード画面を表示させることができます。

1

パネルの **現在地** ボタンを押す。

：ナビモード画面が表示されます。



1 **現在地** ボタン

2

画面の **QUICK MENU** ボタンをタッチする。

：クイックメニューと共に **マルチ画面** ボタンが表示されます。

3

画面の **マルチ画面** ボタンをタッチする。

：マルチ画面で表示されます。

画面左側…ナビ画面

画面右側…オーディオ画面



※マルチ画面については

「[ナビ「マルチ画面について」138ページ](#)を参照してください。

ナビ+HDDモード時 (例)

モード表示が約5秒間表示されます。



映像の調整のしかた(1)

HDD／プレイリスト／CD／MP3／MD／ラジオモード画面のときは、明るさ／黒レベル調整ができます。

DVDビデオ／TVモード画面のときは、明るさ／黒レベル／色の濃さ／色合い調整／画面設定ができます。



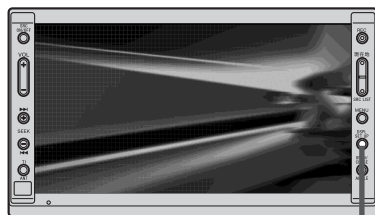
アドバイス

画面設定はノーマル／フル／ワイド／シネマの中から表示画面を選択できます。

1

パネルの **DSPL SETUP** ボタンを押す。

：画面にDSPL設定画面が表示されます。



1 **DSPL SETUP** ボタン

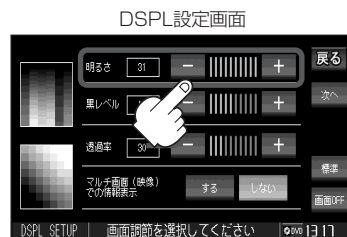
2

明るさを調整する(1～31)

“明るさ” の **-** / **+** ボタンをタッチして値を調整する。

： **-** ボタンをタッチすると暗くなり、

+ ボタンをタッチすると明るくなります。



アドバイス

車のライトをつけているとき(ON時)とライトを消しているとき(OFF時)とで、各々、明るさをメモリーしています。ライトをつけている／ライトを消しているときの明るさを、各々、好みの明るさに調整してください。

黒レベルを調整する(1～31)

“黒レベル” の **-** / **+** ボタンをタッチして値を調整する。

： **-** ボタンをタッチすると黒さが増し、

+ ボタンをタッチすると白さが増します。



操作ガイド

(マルチ画面にする) (映像調整)

映像の調整のしかた(2)

色の濃さを調整する(1~31)

画面の **次へ** をタッチし、“色の濃さ”の

- / **+** ボタンで値を調整する。

- ： **-** ボタンをタッチすると淡くなり、
- +** ボタンをタッチすると濃くなります。



色合いを調整する(1~31)

“色合い”の **-** / **+** ボタンをタッチして値を調整する。

- ： **-** ボタンをタッチすると赤が強くなり、
- +** ボタンをタッチすると緑が強くなります。



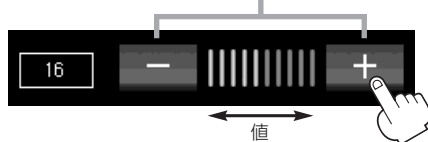
👉 アドバイス

人間の肌色が自然な感じになるように調整してください。

👉 アドバイス

調整はタッチパネルの **-** ボタンまたは **+** ボタンをタッチしつづけると素早く調整できます。
タッチするのをやめると、その値で止まります。
お好みの調整レベルでタッチするのを止めてください。

1目盛ずつタッチしなくても、タッチしつづけると値を調整することができます。



画面を設定する (DVD/TVモード画面の場合)

好きな表示画面(ノーマル/フル/ワイド/シネマ)をタッチする。



アドバイス

シネマを選択した場合、映像を拡大して表示するため映像の上下が画面から切れて見えなくなります。

ノーマル : 4:3の映像の画面
フル : 4:3の映像を左右に引き伸ばし、16:9にした画面
ワイド : “フル”の違和感を少なくした画面
シネマ : 4:3の映像をそのまま拡大した画面

操作ガイド

映像調整

3

設定を終わるには…

パネルの **DSPL SETUP** ボタンを押す。

: 設定終了となります。

アドバイス

- マルチ画面 (P.138～140ページ) でDVD/TVモードの場合、色の濃さ/色合い調整と画面設定はできません。
- ノーマル/フル/ワイド/シネマのいずれかをタッチしても設定終了となります。

画質調整を初期値に戻すには

手順 **2** (15、16ページ) で調整した画質(明るさ/黒レベル/色の濃さ/色合い)や画面設定を、設定する前の値(初期値)に戻すことができます。

DSPL設定画面で、画面の **標準** ボタンをタッチする。

: 設定した値が工場出荷時の値に戻ります。

DSPL設定画面



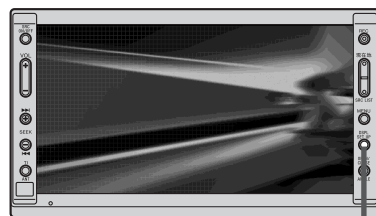
設定画面の背景や情報表示の透過率を替える

■DSPL設定画面や情報表示の透過率を替えることができます。

1

パネルの **DSPL SETUP** ボタンを押す。

：画面にDSPL設定画面が表示されます。

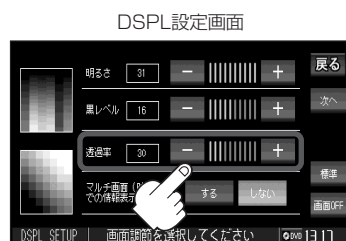


1 **DSPL SETUP** ボタン

2

“透過率”の **-** / **+** ボタンをタッチして値を調整する。

： **-** ボタンをタッチすると透過率が低く（色が濃く）なり、**+** ボタンをタッチすると透過率が高く（色が薄く）なります。



3

設定を終わるには…

パネルの **DSPL SETUP** ボタンを押す。

：設定終了となります。



アドバイス

- 画面の **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。
- 画面の **標準** ボタンをタッチすると工場出荷時の値に戻ります。
- 透過率を低くすると、画面の一部が見えなくなる場合があります。

情報表示を止める

■マルチ画面(138ページ)で映像を表示(DVD/TVモード)時、情報表示を止めることができます。(※モードを表示させた時は表示されます。)

1 パネルの **DSPL SETUP** ボタンを押す。

：画面にDSPL設定画面が表示されます。

マルチ画面(ナビ+DVD)(例)

情報表示



1 **DSPL SETUP** ボタン

2 “マルチ画面(映像)での情報表示” の **しない** ボタンをタッチする。

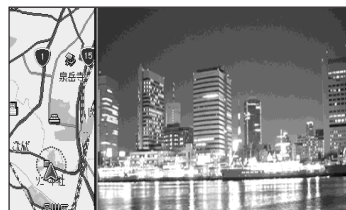
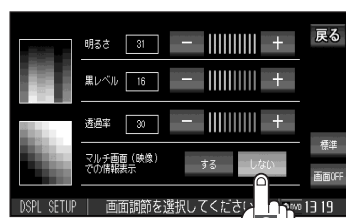
：情報表示をやめます。

表示するには…

“マルチ画面(映像)での情報表示” の **する** ボタンをタッチする。

：情報表示します。

DSPL設定画面



3 設定を終わるには…

パネルの **DSPL SETUP** ボタンを押す。

：設定終了となります。



アドバイス

画面の **標準** ボタンをタッチすると工場出荷時の状態(表示しない)に戻ります。

操作ガイド

「透過率を替える」
「情報表示」

オーディオの調整をする

音場(臨場感)を替えるには

■再生する音楽に残響音を加え、いろいろな環境の臨場感を擬似的に再現することができます。

ライブ
LIVE：音場をライブハウス

ホール
HALL：音場をコンサートホール

スタジアム
STADIUM：音場をスタジアム

チャーチ
CHURCH：音場を残響音の多い教会

1

オーディオモード画面でパネルの **MENU** ボタンを押す。

：オーディオ設定モード画面が表示されます。

オーディオモード画面(HDDモード画面(例))

手順 **4** で選択した音場が表示されます。



1 **MENU** ボタン

2

画面の **AUDIO設定** ボタンをタッチする。

：調整項目画面が表示されます。

オーディオ設定モード画面



3

画面の **DSP** ボタンをタッチする。

：音場選択画面が表示されます。

音場選択画面

4

好みの音場ボタン (**LIVE** / **HALL** / **STADIUM** / **CHURCH**) をタッチする。

：選択した音場効果で再生されます。



※音場効果(残響音)をやめたい場合は、画面の **DSP OFF** ボタンをタッチしてください。

5

設定を終わるには…

画面の **終了** ボタンをタッチする。

：手順 **1** で **MENU** ボタンを押す前の画面に戻ります。



アドバイス

- **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。すでに音場を選択している場合にタッチすると **終了** ボタンをタッチしなくてもその音場で確定(決定)されます。
- 2スピーカーでは音場効果は得られません。

聴
オーディオ

〔音場切替〕

オーディオの調整をする(2)

イコライザ(音質)を替えるには

■再生する音楽の音質を選択、または作成し記憶させることができます。

Vocal : 音質をポップス

Rock : 音質をロック

Jazz : 音質をジャズ

Custom 1 / Custom 2 : お好みの音質を記憶

1

オーディオモード画面でパネルの **MENU** ボタンを押す。

: オーディオ設定モード画面が表示されます。

オーディオモード画面 (HDDモード画面 (例))



1 **MENU** ボタン

2

画面の **AUDIO設定** ボタンをタッチする。

: 調整項目画面が表示されます。

オーディオ設定モード画面



調整項目画面



3

画面の **EQ** ボタンをタッチする。

: イコライザ設定画面が表示されます。

イコライザ設定画面



4

お好みの音質ボタン (**Vocal** / **Rock** / **Jazz** / **Custom 1** / **Custom 2** / **Flat**) をタッチする。

: 選択した音質で再生されます。

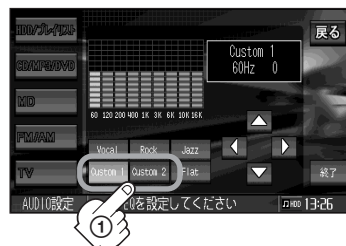
※ **Custom 1** / **Custom 2** ボタンにはあらかじめお好みの音質を記憶させておく必要があります。

▶ 次ページ

■ お好みの音質を作成し記憶させる場合

Custom 1 または **Custom 2** ボタンに調整した音質を記憶させることができます。

- ①記憶させたいボタン(**Custom 1** / **Custom 2**)をタッチする。



- ②値を調整する。

：イコライザを直接タッチする方法と ▲／▼／◀／▶ をタッチして調整する方法の2種類があります。



イコライザ(のバー)を1つずつ
タッチして周波数レベルを調整

選択中の音質表示
レベル
周波数表示

レベルを ▲／▼ で調整
周波数を ◀／▶ で選択

▲：レベルアップ

▼：レベルダウン

◀：周波数選択(左に移動)

▶：周波数選択(右に移動)

👉 アドバイス

- **Custom 1** / **Custom 2** で変更した音質を初期の状態(フラット)に戻すにはイコライザまたは ▲／▼／◀／▶ をタッチして値を戻してください。
- 音質を初期の状態(フラット)で聞きたい場合は画面の **Flat** ボタンをタッチしてください。



5 設定を終わるには…

画面の **終了** ボタンをタッチする。：モード表示画面に戻ります。

👉 アドバイス

戻る ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。すでに音質を選択している場合にタッチするとその音質で確定(決定)されます。

オーディオの調整をする(3)

フェダー／バランス(音量)を調整するには

■前後左右のスピーカーの音量バランスを調整することができます。

フェダー：前または後ろスピーカーの音量調整

バランス：右または左スピーカーの音量調整

1 オーディオモード画面でパネルの **MENU** ボタンを押す。

：オーディオ設定モード画面が表示されます。

オーディオモード画面(HDDモード画面(例))



1 **MENU** ボタン

2 画面の **AUDIO設定** の **Fader Balance** ボタンをタッチする。

：フェダー・バランス調整画面が表示されます。

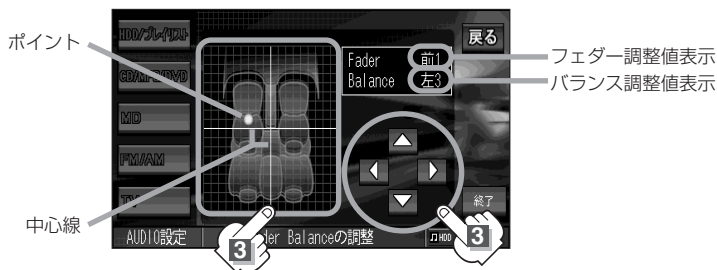
オーディオ設定モード



3 値を調整する。

：ポイントを直接タッチする方法と     をタッチして調整する方法の2種類があります。

フェダー・バランス調整画面



フェーダー(前9～後9)

▲ ボタンタッチ：後ろスピーカーの音量が下がります。

▼ ボタンタッチ：前スピーカーの音量が下がります。

バランス(左9～右9)

▶ ボタンタッチ：左スピーカーの音量が下がります。

◀ ボタンタッチ：右スピーカーの音量が下がります。



アドバイス

調整時に ▲ / ▼ / ▶ / ◀ ボタンをタッチし続けると、連続的に変化します。(中心で1回止まります。)
お好みの調整レベル(値)でタッチするのをやめてください。

4

設定を終わるには…

画面の **終了** ボタンをタッチする。

：モード表示画面に戻ります。



アドバイス

戻る ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。

背景を変える(1) (ファイルより選択して変える場合)

■オーディオモード時、好きな背景にすることができます。

※すでにオーディオ設定モード画面を表示している場合は手順**2**へすすんでください。

オーディオモード画面 (SOURCE OFF画面 (例))



1 MENU ボタン

1 オーディオモード画面でパネルの **MENU** ボタンを押す。

：オーディオ設定モード画面が表示されます。

2 画面の **背景設定** ボタンをタッチする。

：背景設定画面が表示されます。

オーディオ設定モード画面



背景設定画面



※HDD/プレイリストモードで再生中またはCDを本機(HDD)に録音中は背景設定はできません。

3 背景の変更や追加・削除をすることができます。

■ 背景を変える場合

※フォルダ1には既存の背景がありますが、好きな背景をフォルダ1～4に追加することができます。[P.28、29ページ]

①背景設定画面で **背景リスト** ボタンをタッチする。

②フォルダを選択し、タッチする。

※フォルダに画像がない場合は“画像がありません”と表示し、背景設定画面に戻ります。

③表示したいファイルを選択し、タッチする。

④ **背景** ボタンをタッチする。

：背景にしてもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチすると、メニューの背景に設定され画像表示画面に戻ります。



ここをタッチすると全フォルダ内の画像データを一括で削除することができます。ただし、この場合、フォルダ名を変更されている場合は、フォルダ名が工場出荷時の状態に戻ります。



ここをタッチすると選択中のフォルダ内の画像データを一括で削除することができます。

お好きなフォルダ名にすることができます。編集のしかたは61ページを参考に入力してください。

↑/↓ボタンタッチで
ページ戻し/送り表示

画像表示画面

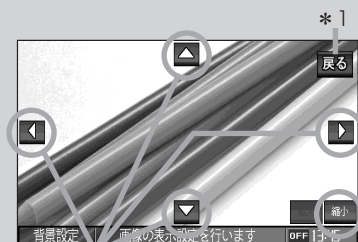


■画像表示画面のその他のボタンについて

- **前へ** ボタンタッチ：1つ前のファイル画像を表示します。
- **次へ** ボタンタッチ：次のファイル画像を表示します。
- **削除** ボタンタッチ：表示中のファイル画像を削除します。
※削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** または **いいえ** のどちらかをタッチしてください。
- **スライド開始** ボタンタッチ：一定の間隔でリストより画像を順次表示します。
※スライドを終わるには画面をタッチすると画像表示に戻ります。

●編集 ボタンタッチ

：画像の表示位置の調整や縮小／拡大をすることができます。

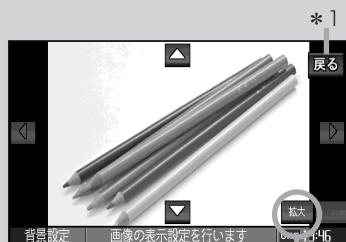


画像が画面に収まりきらない場合に画像を動かすことができます。(縮小画面も同等)

- ▲ ボタンタッチ：上に動きます。
- ▼ ボタンタッチ：下に動きます。
- ◀ ボタンタッチ：左に動きます。
- ▶ ボタンタッチ：右に動きます。

※選択できないボタンは暗くなります。

縮小 ボタンをタッチすると画像を縮小できます。



拡大 ボタンをタッチすると画像を拡大できます。

*1： **戻る** ボタンをタッチすると結果を反映して画像表示画面に戻ります。

👉 アドバイス

- JPEG画像を表示する場合、画面(480×234ドット)より大きい画像も、そのまま表示されます。
- **縮小** ボタンをタッチして小さくするか、▲ ▼ ◀ ▶ ボタンをタッチして表示位置の調整をしてください。
- 再生できるのは、拡張子がJPGのみですが、拡張子がJPGでも表示できない場合もあります。
- リスト表示ではファイル名は拡張子を含め半角64文字まで入力できます。(ファイル名は半角英数字、_(アンダースコア)全角の漢字・ひらがな・カタカナ・英数字を表示できます。)
- 480×234ドットの画像がちょうど本機の画面の大きさです。
- 画像表示画面で、本機に背景を追加していない場合は **削除** と **編集** ボタンは選択できません。
- **全画像削除** ボタンをタッチして背景(画像)を一括削除しても既在の背景は削除されません。

背景を変える(2) (CDまたはメモリースティックより追加する場合)

■ 背景を追加する場合

※背景設定画面を表示する前にCDまたはメモリースティックを本機に挿入しておく必要があります。

①背景設定画面で **背景の追加** ボタンをタッチする。

②追加する方法(**CDから追加** / **M.S.から追加**)を選択しタッチする。

※CDまたはメモリースティック未挿入の場合や、データを読めない場合は、メッセージが表示され追加方法選択画面へ戻ります。

※ファイルリストを表示するまでにしばらく時間がかかる場合があります。

③ファイル選択画面より追加したい画像ファイルをタッチする。

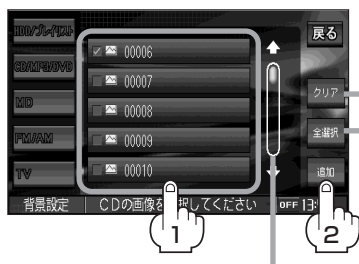
例 CDから追加する場合

1. 追加したいファイルをタッチする。

: チェックマーク(☑)が付きます。

2. **追加** ボタンをタッチする。

ファイル選択画面(例)



↑/↓ボタンタッチで
ページ戻し/送り表示

選択したファイルを止める(取消)ことができます。
(全てのファイルのチェックマーク(☑)を消します。)

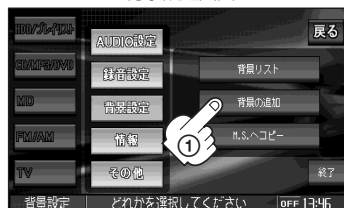
ファイルを一括で選択することができます。
(全てのファイルにチェックマーク(☑)が付きます。)

※1つつずつ選択、クリアする場合は、ファイルを1つつずつタッチしてください。タッチするたびにチェックマーク(☑)の表示(選択)、非表示(クリア)が切り替わります。

3. 追加したいHDD(本機)のフォルダをタッチする。



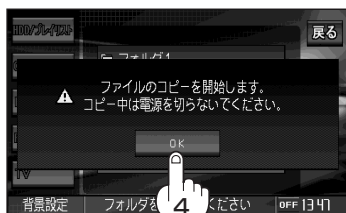
背景設定画面



追加方法選択画面



4. 画面に表示されるメッセージを確認し、**OK** ボタンをタッチする。



：チェックマークの付いたファイルをHDD(本機)にコピーします。

注意 コピー中は電源を切らないでください。故障の原因となります。

※コピーできるファイルがオーバーする場合メッセージが表示されるので、他のフォルダを選択するか、コピーしたいファイル(チェックマーク(☑))を選択し直してください。

※コピーを中止する場合は(左記画面)のとき、**中止** ボタンをタッチしてください。



：コピーが終了すると背景設定画面に戻ります。

操作
ガイド

背景追加

アドバイス

- コピーできるのは、拡張子がJPGのみですが、拡張子がJPGでも表示できない場合があります。
- 1Mバイト以上のサイズのファイルはコピーできません。(リストに表示されません。)
- フォルダ名／ファイル名は半角64文字(全角32文字)まで入力できます。(フォルダ名／ファイル名は半角の英数字・ (アンダースコア)・全角の漢字・ひらがな・カタカナ・英数字を表示できます。)
- CD-Rに画像を収録するときは、フォルダの階層は3段階まで
半角128文字(全角64文字)となるように作成してください。
- 1つのフォルダ内でリストに表示されるファイル数は200以内です。
- HDDにコピーできるファイル数は最大800です。
- コピー時、同じ名前のファイルは上書きされます。
- オーディオライブラリーシステムに音楽を録音している場合は、録音を止めてからデータの追加をしてください。

例 ¥○○○¥△△△¥×××.JPG

4 設定を終わるには…

画面の**終了** ボタンをタッチする。

：モード表示画面に戻ります。

アドバイス

戻る ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。

背景をメモリースティックへコピーする

本機(HDD)に増えてしまった画像データをメモリースティックへ保存することができます。

1 26ページの手順 **1**、**2** にしたがって操作し、背景設定画面を表示させる。

2 **M.S.へコピー** ボタンをタッチする。

※本機にメモリースティックが挿入されていない場合はメッセージが表示されます。



3 コピーしたいフォルダをタッチする。



4 コピーしたいファイルを選択する。



↑/↓ボタンタッチで
ページ戻し/送り表示

ここをタッチすると選択したファイルを止める(取消)することができます。
(全てのファイルのチェックマーク(☑)を消します。)

ここをタッチすると選択中のフォルダ内の画像データを一括で選択することができます。
(全てのファイルにチェックマーク(☑)が付きます。)

👉 アドバイス

1つずつ選択、クリアする場合は、ファイルを1つずつタッチしてください。タッチするたびにチェックマーク(☑)の表示(選択)、非表示(クリア)が切り替わります。

5

追加 ボタンをタッチする。

：画面に表示されるメッセージを確認し、**OK** ボタンをタッチすると、チェックマークの付いたファイルのコピーを開始します。



注意

コピー中は電源を切らないでください。
故障の原因となります。



6

設定を終わるには…

戻る ボタンをタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

背景設定画面で **終了** ボタンをタッチすると、オーディオモード画面に戻ります。



アドバイス

- コピーできるファイルがオーバーする場合、メッセージが表示されるので、コピーしたいファイル(チェックマーク(✓))を選択し直してください。
- コピーを中止する場合はコピー中に画面の **中止** ボタンをタッチしてください。

オーディオ

（メモリースティックへ背景コピー）

録音設定（自動／手動を選択する）

■音楽CDを本機に挿入したとき、再生される曲をオーディオライブラリシステム(HDD)へ録音することができます。録音にはAuto REC(自動録音)とManual REC(手動録音)があります。

※すでにオーディオ設定モード画面を表示している場合は手順 **2** へすすんでください。

1

オーディオモード画面でパネルの **MENU** ボタンを押す。

：オーディオ設定モード画面が表示されます。

オーディオモード画面 (CDモード画面 (例))



1 **MENU** ボタン

2

画面の **録音設定** ボタンをタッチする。

：録音方法選択画面が表示されます。

オーディオ設定モード画面



録音方法選択画面



3

録音方法 (**Auto REC** / **Manual REC**) を選択します。

■ **Auto REC** ボタンをタッチした場合

：音楽CDを本機に挿入すると、曲の再生と同時に本機(HDD)に曲の録音を開始します。

■ **Manual REC** ボタンをタッチした場合

：パネルの **REC** ボタンを押し、録音速度／録音方法／録音音質を選択して **録音開始** ボタンをタッチすると録音を開始します。



アドバイス

すでに本機(HDD)に録音済み、または1曲でも録音済みのディスクを挿入した場合、自動録音は開始されません。(曲は再生されます。) 曲を録音したい場合はパネルの **REC** ボタンを押して手動で録音を開始させてください。

4

設定を終わるには…

画面の **終了** ボタンをタッチする。：オーディオモード画面に戻ります。



アドバイス

戻る ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。

■HDD(本機)の使用状況を確認することができます。

1 オーディオモード画面でパネルの **MENU** ボタンを押す。

：オーディオ設定モード画面が表示されます。

1 **MENU** ボタン

共通/
オーディオ

〔録音設定〕 〔HDD使用状況〕

オーディオ設定モード画面



HDD情報画面

HDD/プレイリストモードの使用情報

画像データファイルの使用情報



33

データ管理(1)

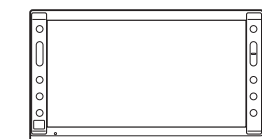
■本機にはあらかじめ商用CDタイトルの約95%のアルバム情報を取得成功できるデータベースなどが収録されており、CDを挿入(再生)するだけで自動で画面にアルバムタイトル・曲名などが表示されるため、入力の手間をはぶくことができます。(もちろん編集は可能です。)

本機に収録されていない情報の場合でもメモリースティックを使用して情報を書き出し、PC(パソコン)でGracenote CDDDB音楽認識サービスからタイトル情報を取得し、本機にアップデートすることができます。

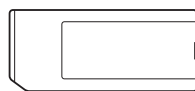
※全てのタイトル名の取得および正確性を保証するものではありません。

データ管理(Gracenote CDDDBタイトル情報追加)の流れについて

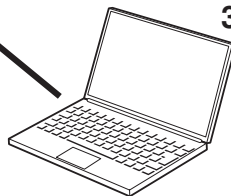
1. メモリースティックを本機に挿入し、タイトル情報のなかったアルバム情報を書き出す。
☞ 「メモリースティックを入れる／取り出すには」本編28ページ



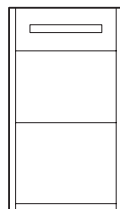
6. メモリースティックより本機のHDDに取得した情報を取り込む。



2. アルバム情報が記憶されたメモリースティックをPC(パソコン)に挿入。



4. Gracenote CDDDB音楽認識サービスからタイトル情報を取得。



5. タイトル情報をメモリースティックに取り込む。

3. タイトル情報の追加プログラムをメモリースティックよりPC(パソコン)にダウンロード。

※Gracenote CDDDBよりタイトル情報を入手するにはメモリースティック 8MB以上、PC(パソコン) 100MB以上の空容量、インターネット接続環境(64kbps以上)、カードリーダーなど、インストールするにあたり動作環境をととのえていただく必要があります。また、上記手順1～6の操作方法につきましては当社のWebサイト “<http://www.sony.jp/products/me/>”、MySonyIDへのご登録は “<http://www.sony.co.jp/navi-regi/>” をご覧ください。

■CDDDB検索(オンライン検索)を利用して本機に収録されていない(アーティスト名・タイトル名などの)情報をアップデートすることができます。

Gracenote CDDDBの更新をするには

※すでにオーディオ設定モード画面を表示している場合は
手順 2へすすんでください。

1 オーディオモード画面でパネルの **MENU** ボタンを押す。

：オーディオ設定モード画面が表示されます。

オーディオモード画面(CDモード画面(例))



1 **MENU** ボタン

データ
管理

2 画面の **その他** ボタンをタッチし、 **Gracenote CDDDBの更新** ボタンをタッチする。

：アップデート／初期化画面が表示されます。



アップデート／初期化画面



〔データ管理の流れ〕
〔CDDDBの更新〕

3 アップデートの方法(**ローカルアップデート**／ **カスタムアップデート**)を選択します。

ローカル
アップデート = 当社のWebサイトに定期的にアップデートされるGracenote CDDDB更新データを本機でアップデートする方法です。

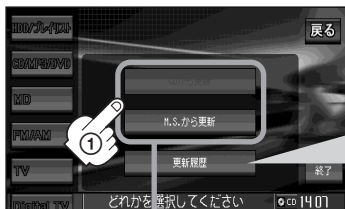
カスタム
アップデート = Gracenote CDDDB検索で本機に収録されていないCDのタイトル情報を個別にアップデートする方法です。

■ **ローカルアップデート** ボタンをタッチした場合

①追加する方法(**CDから更新**／**M.S.から更新**)をタッチする。

：選択した方法で本機に情報を取り込みます。

注意 更新中は電源を切らないでください。
故障の原因となります。



ここをタッチすると、CDまたはメモリスティックからアップデートしたGracenote CDDDBのバージョンを確認することができます。



Gracenote CDDDB検索でここに表示されていないバージョンをアップデートしてください。確認画面に表示できるデータベースのバージョン情報は255です。それ以上はバージョン情報の古い順に上書き表示されます。

データ管理(2)

👉 アドバイス

- ローカルアップデートは情報の取り込みのみを行います。PC(パソコン)を使用してCDまたはメモリースティックにローカルアップデート用データをダウンロードしたものをあらかじめ本機に挿入(準備)しておく必要があります。
- アップデートファイルはCDまたはメモリースティックに¥MSSONY¥CAR¥NVX-Zフォルダを作成してその中に入れてください。

■ カスタムアップデート ボタンをタッチした場合

※メモリースティックを本機に挿入(準備)しておく必要があります。

• データの書き出しをする。

① **書き出し** ボタンをタッチする。

：書き出しをしてもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチするとメモリースティックにタイトル情報のなかったアルバム情報を書き出します。

②本機よりメモリースティックを取り出してPC(パソコン)に挿入する。

③PC(パソコン)にメモリースティックの情報をダウンロードする。

④PC(パソコン)からGracenote CDDB音楽認識サービスに接続し、タイトル情報を取得する。

⑤取得した情報をメモリースティックに取り込む。

⑥メモリースティックをPC(パソコン)よりはずし、本機に挿入する。

🔍 「メモリースティックを入れる／取り出すには」 本編28ページ

• データの取り込みをする。

※35ページ手順 **1** ～ **3** にしたがって操作し、 **カスタムアップデート** ボタンをタッチする。

⑦ **取り込み** ボタンをタッチする。

：取り込んでもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチすると、メモリースティックより取得した情報を本機に取り込みます。



👉 アドバイス

- データの書き出し／取り込みについては **データ管理の流れについて** 34ページを参考に、また、詳しい操作方法につきましては当社のWebサイト "<http://www.sony.jp/products/me/>" をご覧ください。
- カスタムアップデートを行うことで、本体で自動的に選択されたタイトル情報の間違いを修正することができます。詳しくはタイトル情報追加プログラムのオンラインマニュアルをご覧ください。

4

設定を終わるには…

画面の **終了** ボタンをタッチする。 : オーディオモード画面に戻ります。

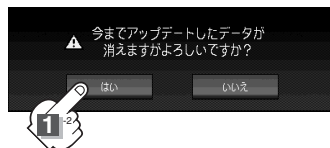
👉 アドバイス

戻る ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。

Gracenote CDDBのデータを初期化するには

- 1** 35ページ手順 **1**、**2** にしたがって操作し、手順 **3** のとき画面の **Gracenote CDDBを初期化** ボタンをタッチする。

：今までアップデートしたデータを消してもいいかどうかのメッセージが表示されるので“はい”を選択するとデータを消去し、アップデート／初期化画面に戻ります。



HDDまたはメモリースティックのデータを初期化するには

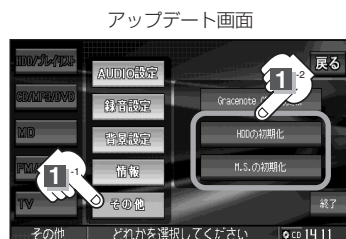
- 1** 35ページ手順 **1** にしたがって操作し、手順 **2** のとき画面の **その他** の **HDDの初期化** または **M.S.の初期化** ボタンをタッチする。

■ HDDの初期化 ボタンをタッチした場合

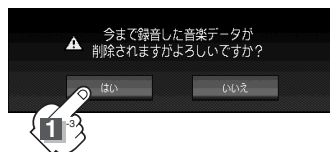
：今まで録音した音楽データが消えてもいいかどうかのメッセージが表示されるので“はい”を選択します。

■ M.S.の初期化 ボタンをタッチした場合

：メモリースティックにある全部のデータが消えてもいいかどうかのメッセージが表示されるので“はい”を選択します。



HDD初期化の場合 (例)



注意

- ・初期化中は電源を切らないでください。故障の原因となります。
- ・初期化で“はい”を選択すると、お客様の音楽データは消去され、二度と復帰しません。



アドバイス

終了 ボタンをタッチするとオーディオモード画面に戻ります。

データ
管理

〔CDDBの更新〕〔初期化〕

オーディオライブラリーシステムについて

本機のオーディオライブラリーシステム機能について

本機には主に下記に示すようなオーディオライブラリーシステム機能があります。

- 録音時にタイトル情報を自動付加（Gracenote CDDDBデータベース収録済）
- 録音済みの音楽をお好みの曲だけ集めた“プレイリスト”作成可能
- Gracenote CDDDB音楽認識サービスからタイトル情報取得可能
- 高速録音機能により録音時間の短縮化を実現

アドバイス

- HDD(本機)には最大3000曲、アルバム数で最大400タイトルの登録が可能*です。その中に4つのプレイリストフォルダを作成することができ、1つのプレイリストフォルダには200曲、計800曲の登録が可能です。
*：3000曲に満たない場合でも収録データが10GBに達するか、CDのタイトル数が400枚になると録音はできなくなります。
- 高速録音機能により通常の最大12倍速録音が可能となるため、時間がないときなどに便利です。
(高速録音中はHDD/CDモードでは無音となります。)
- Gracenote CDDDBについては5、6、34～37ページをご覧ください。

オーディオライブラリーシステムへの録音について

本機の故障、誤動作または不具合によりハードディスクに記録できなかったデータ(録音内容など)消失したデータ、ハードディスク内の保存データについては保証できません。ハードディスク内のデータは他の記録媒体への移動はできません。

- 本機のオーディオライブラリーシステムの設定を“Auto REC”にしておくと、CDの再生と同時に自動でオーディオライブラリーシステムへ録音を開始します。録音をやめたい場合はパネルの[REC]ボタンを押して録音を停止してください。
- 本機への録音は音楽CDのみです。MP3ファイル、DVD、MD、ラジオ、TV、メモリースティックなどから録音することはできません。
- 録音したものは、個人として楽しむなどのほか、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に試し録りをし、音楽が正しく録音されていることを確認してください。
- ACC ONの状態では録音している時に、エンジンをスタートすると、録音したデータが消失する恐れがあります。
- ノンストップCD(曲と曲の間の無音部分が無いCD)を録音すると、曲間に無音部分が録音され、不自然な音切れが発生することがありますが、録音するディスクに依存しますのでご了承ください。
- 録音の開始時や、終了時には、約2秒間音楽や音声が停止することがあります。
 - ・高速録音時、音楽CDを録音中にラジオなどに切り替えた場合、録音が終了すると終了を知らせるメッセージが約3秒間表示されます。
- 録音中、モードを切り替えても、録音は継続されます。(ただしHDD/プレイリストモードは曲の再生はしません。)また、オーディオをOFF(SOURCE OFF状態)にしても録音は継続されます。
- すでに録音されている曲は、重複して録音することはできません。
- すでに本機(HDD)に録音済または1曲でも録音済のディスクを挿入した場合、自動録音は開始されません。(曲は再生されます。)曲を録音したい場合はパネルの[REC]ボタンを押して手動で録音速度、録音方法を選択して録音を開始させてください。
- 手動で録音を停止する場合は次曲を3秒ほど再生してからパネルの[REC]ボタンを押してください。
 - ※音楽の終了と同時にパネルの[REC]ボタンを押して録音を終了した場合は、正常に録音できていない場合があります。
- オーディオライブラリーシステム(HDD)の使用状況を確認するには「HDDの情報を知る」33ページ(3)の“AUDIO”部分を参照してください。
- 本機は音楽CDの再生と同時に自動で録音を開始する“Auto REC(自動録音)”とパネルの[REC]ボタンを押して録音を開始する“Manual REC(手動録音)”があります。
 - ※“Auto REC”と“Manual REC”の設定のしかたは「録音設定(自動/手動を選択する)」32ページを参照してください。
- 録音の速度には音楽を再生させながら録音する“同時再生録音”と通常の最大12倍速(ただし録音中音楽はなりません)で録音していく“高速録音”があります。

オーディオ
ライブラリー
システム

オーディオライブラリーシステムについて

オーディオライブラリーシステムへの録音設定(1)

録音速度／録音方法／録音音質を選択する

1

CDモード時、パネルの**REC**ボタンを押す。

：録音速度選択画面が表示されます。

※再生録音中の場合はパネルの**REC**ボタンを押して録音を解除状態にし、もう一度**REC**ボタンを押して選択画面を表示させます。

CDモード画面(例)



1 **REC**ボタン

2

録音速度(**同時再生録音** ／ **高速録音**)を選択する。

：録音方法選択画面が表示されます。

■ **同時再生録音** ボタンを選択した場合

：通常の速さでの再生録音となります。

■ **高速録音** ボタンを選択した場合

：最大12倍の速さでディスクが回転し、録音となります。
(高速録音中、HDD／CDモードでは音楽はなりません。)

録音速度選択画面



中止 ボタンをタッチするとここでの選択を無効にし、CDモード画面に戻ります。

👍 アドバイス

録音中に他のモードにすることができます。▶ 42ページアドバイス参照

※ただし、HDDモード／プレイリストモード／MP3モード／DVDモードにすることはできません。

3

録音方法、録音音質を選択します。

■ “録音方法” (全曲録音／選択曲録音) を選択する場合

全曲録音するか、お好みの曲のみ録音するかを設定することができます。

① 全曲録音 ボタンをタッチすると…

：CD内にある全ての曲の録音となります。ただしHDDの容量が足りない場合 **全曲録音** ボタンは選択できません。
※録音順はアルバムに収録されている通りとなります。

① 選択曲録音 ボタンをタッチすると…

：曲選択画面が表示されます。

② 録音したい曲の選択および録音順を設定します。

(例) 月から見た夜 → 君こそは → 時計のない部屋 の順で録音したい場合

1. 画面左側のリストより

月から見た夜 をタッチする。

曲選択画面



録音順リスト

2. 画面左側のリストより

君こそは をタッチする。



3. 画面左側のリストより

時計のない部屋 をタッチする。



4. 決定 ボタンをタッチする。

：録音方法選択画面に戻ります。



順次、次の曲がくり上がって表示されます。

👉 アドバイス

- ・録音順リストにあるトラックをタッチすると元の(画面左側の)リストにトラックを戻すことができます。
- ・**クリア** ボタンをタッチすると録音順リストに設定した曲をすべてクリアにします。
- ・**終了** ボタンをタッチすると録音順リストに設定した録音順を無効にし、録音方法選択画面に戻ります。

オーディオライブラリーシステムへの録音設定

「オーディオライブラリーシステムへの録音設定」

オーディオライブラリシステムへの録音設定(2)

■ “録音音質” (ハイクオリティ／スタンダード) を選択する場合

：音の質(容量)を選択することができます。

□ **スタンダード** ボタンをタッチすると…

：データ容量が抑えられるため、録音できる曲を増やせます。

□ **ハイクオリティ** ボタンをタッチすると…

：データ容量が増えるため、録音できる曲数は減りますが、音の質は良くなります。



4

録音開始 ボタンをタッチする。

□ 手順 **2** (40ページ) で“同時再生録音”を選択している場合はCDモード画面に戻り、“録音順リスト” (41ページ) で設定した曲を再生し録音します。

□ 手順 **2** (40ページ) で“高速録音”を選択している場合は“録音中”とメッセージを表示し、無音にて録音を開始します。



高速録音の場合(例) 高速録音情報画面

高速録音中の情報を確認することができます。

トラック名表示

トラック番号表示



録音を止めたい場合はタッチしてください。
※録音を中止してもすでに本機(HDD)に録音したトラックは本機(HDD)に保存されます。

100%をMAXとして
録音終了の目安を表示

👉 アドバイス

- 同時再生録音中に他のモードにし、**[REC]** ボタンを押した場合は、録音を中止するかどうかのメッセージが表示されます。高速録音中に他のモードにし、**[REC]** ボタンを押した場合は、高速録音情報画面に戻ります。
- REC(録音)をしながら他のモードにすることができます。

[現在地] ボタンを押す。：ナビ画面を表示します。(マルチ画面も可能です。[📄] 138ページ)

※ただし、高速録音中はナビ画面を表示できません。([現在地] ボタンは押せません。)

[SRC LIST] ボタンを押す。： **[MD]** / **[FM/AM]** / **[TV]** ボタンをタッチしてそれぞれのモードにすることができます。

※高速録音時は、REC(録音)が終了すると画面に終了を知らせるメッセージが約3秒間表示されます。


- HDD(オーディオライブラリシステム)への録音可能時間の情報を知ることができます。

[📄] 「HDDの情報を知る」 33ページ

オーディオライブラリーシステムへ録音する

■本機は未録音のCDを挿入すると自動でオーディオライブラリーシステムへの録音を開始します。

CDを再生しながら自動で録音

※録音設定で“Auto REC”選択時有効。  32ページ

1

CDをディスク挿入口に差し込む。

：自動でオーディオライブラリーシステムへの録音を開始します。

※  **CDを聞く** 46ページを参照してください。

録音中画面(例)



REC (録音) 中表示されます。

7-742
オーディオ
ライブラリー
システム

2

録音を止めるには…

パネルの **REC** ボタンを押して“はい”を選択してください。

👍 アドバイス

- 1曲でも録音済のCDを差し込んでいる場合は、オーディオモードをCDに切り替えても自動で録音は開始されません。パネルの **REC** ボタンを押して録音を始めてください。
- お好みの曲から録音を開始したい場合もオーディオモードをCDに切り替えて、下記「**CDの中からお好みの曲を録音する**」にしたがって録音を始めてください。

CDの中からお好みの曲を録音する

1

「オーディオライブラリーシステムへの録音設定」40～42ページにしたがって操作し手順 **3** (41ページ) のとき **選択曲録音** ボタンをタッチする。

：録音したい曲を選択し、録音順リストを作成します。

2

録音を止めるには…

パネルの **REC** ボタンを押してください。

👍 アドバイス

CD内にある全ての曲を録音する場合は、41ページ手順 **3** で **全曲録音** ボタンを選択してください。

CDプレーヤーを使う(1)

各部の名称とはたらき

VOL +/- ボタン

音量の増減を調整します。
+ : 音量増
- : 音量減

SRC ON/OFF ボタン

オーディオモードを開始/終了 (SOURCE OFF状態に) します。

CD ボタン

SOURCE OFF状態や他のモードよりCDモードに切り替えます。

CDモード画面 (例)

SRC LIST ボタン

ナビモード画面からオーディオモード画面に切り替えます。
(47ページ)

OPEN/CLOSE ボタン

パネルをオープンさせて、ディスクを入れる/取り出すときに使用します。
(46ページ)

SEEK +/- ボタン *2

好きな曲を選びます。
また、このボタンを押し続けると早送り/早戻しします。
(48、49ページ)

リスト ボタン *2

トラックリスト選択画面を表示し、トラックの選択が可能です。(51ページ)

イントロスキップ ボタン *1 *2

曲の頭(イントロ)を約10秒間ずつ順に再生します。(50ページ)

リピート ボタン *1 *2

現在再生中の曲を繰り返し再生します。(50ページ)

シャッフル ボタン *1 *2

ディスク内の曲を順序不同で再生します。(49ページ)

※マルチ画面の場合にCDモードに切り替えるには、**[SRC LIST]**ボタンを押してオーディオモード画面を表示させ**[CD]**ボタンをタッチしてください。


アドバイス

- *1印：選択時は黄色で表示します。もう一度タッチして灰色表示にすると通常再生に戻ります。
- *2印：REC(録音)中は操作できません。

表示部について



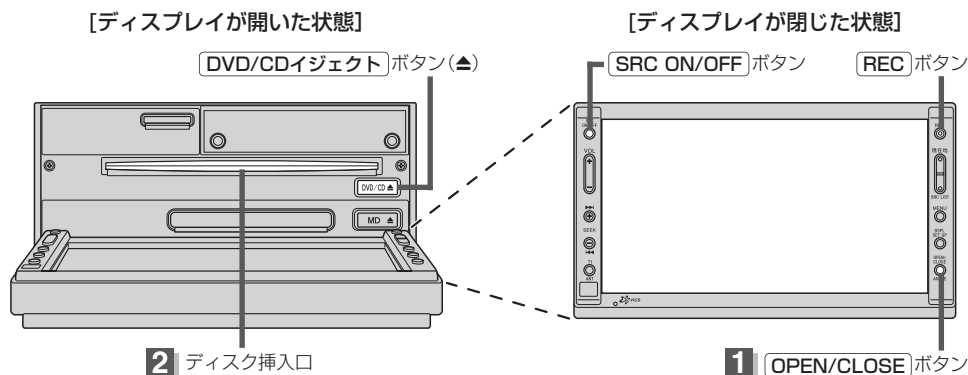
👉 アドバイス

- ディスク名／トラック名の表示文字数は全角32(半角64)文字です。
- ディスク名／トラック名が記録されていないディスクの場合は、表示部に“No Title”と表示されます。
- ディスク名／トラック名が全角18(半角36)文字以上の場合  ボタンが表示されます。ボタンをタッチするとディスク名／トラック名をスクロールさせることができます。(51ページ)

CD

「CDプレーヤーを使う」

CDプレーヤーを使う(2)



CDを聞く

■ ディスク未挿入の場合

1 パネルの **OPEN/CLOSE** ボタンを押す。

：ディスプレイが開きます。

2 ディスク挿入口にCDを差し込む。

：自動でディスプレイが閉じ、CDの再生を始めます。

※録音設定が“Auto REC”になっている場合は、CDの再生と同時にオーディオライブラリーシステム(HDDモード)へ自動で録音を開始します。

🔊「**オーディオライブラリーシステムへの録音について**」39ページ

録音を停止させるにはパネルの**REC**ボタンを押してください。録音の自動／手動は設定により変更できます。

🔊「録音設定」32ページ／「オーディオライブラリーシステムへ録音する」43ページ

👉 アドバイス

- オーディオライブラリーシステムに録音すれば車内がCDであふれることもなく、ディスクの交換の手間も省け便利です。オーディオライブラリーシステムへ録音した曲は並び替えや削除などの編集も可能です。また、オーディオライブラリーシステムへの録音は同時再生録音と高速録音があります。

🔊「オーディオライブラリーシステムへの録音設定」40～42ページ

🔊「オーディオライブラリーシステムを使う」52～64ページ／「プレイリストを使う」66～71ページ

- CDディスクの印刷面を下にして入れると **[DISC ERROR!]** が表示されます。必ず印刷面を上にして挿入してください。
- すでに他のディスクが入っているときは、そのディスクを取り出してから、次のディスクを入れてください。CD／MP3／DVDディスクは同時には入りません。

■ 他のモード画面を表示している場合

- オーディオモード画面またはSOURCE OFF (オーディオモード終了)の場合は…

画面の **CD** ボタンをタッチする。

：CDの再生を始めます。



SRC LIST ボタン



アドバイス

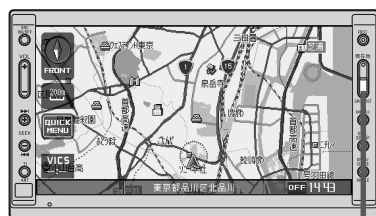
TVモード画面の場合は、画面をタッチするか、パネルの **SRC LIST** ボタンを押してモードを表示させ、画面の **CD** ボタンをタッチしてください。モード表示は約5秒間表示されます。

- ナビモード画面の場合は…

パネルの **SRC LIST** ボタンを押して
オーディオモードにし、画面の **CD**
ボタンをタッチする。

：CDの再生を始めます。

地図を表示し、TVの音声を聞いていた場合



SRC LIST ボタン



CD
[CDプレーヤーを使う]

CDを止める

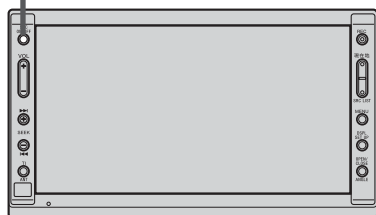
1

パネルの **SRC ON/OFF** ボタンを押す。

：画面に“SOURCE OFF”と表示され、CDの再生を止めます。(オーディオモード終了)

※CDの再生を止めても録音中の場合、録音は継続されます。録音を中止する場合はパネルの **REC** ボタンを押してください。

1 **SRC ON/OFF** ボタン



CDプレーヤーを使う(3)

CDを取り出す

※46ページイラストを参考にしてください。

1

パネルの **OPEN/CLOSE** ボタンを押す。

：ディスプレイが自動で開きます。

2

パネルの **DVD/CDイジェクト** (▲) ボタンを押す。

※イジェクトするとSOURCE OFF状態となります。

：CDがディスク挿入口より出てきます。



アドバイス

CDを取り出して再度再生を始めるときは、ディスクの最初の曲の頭から再生が始まります。

※再生中にACCをOFFにした場合は、次にACCをONにすると、前に再生していたつづきから再生を始めます。

※ **DVD/CDイジェクト** (▲) ボタンを押した後、ディスクをそのままにしておくと、ディスク保護のため約10秒後に自動的にディスクが入り本機にセットされ、再生が開始されます。

好きなトラックを選び再生させる

※録音中は操作できません。

1

パネルの **SEEK +/-** ボタン(▶▶/◀◀) を押す。

■ 次のトラックに進む場合

：▶▶を押す。

■ 前のトラックに戻る場合

：◀◀を2回押す。

※1回押した場合は、今聞いている曲の頭に戻ります。



次のトラックに進む

SEEK



2回押すと前のトラックに戻る

1回押すと曲の頭に戻る



1

SEEK +/- ボタン(▶▶/◀◀)



アドバイス

トラックリストを表示させリストより選択することもできます。

☑「 **リストより好きなトラックを選び再生させる** 」51ページ

早送り／早戻しをする

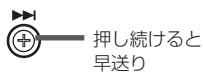
※録音中は操作できません。

1 パネルの **SEEK +/-** ボタンを押し続ける。

：再生中の曲の早送り／早戻しをします。

■ 早送りで進む場合

：＋を押し続ける。



■ 早戻しで戻る場合

：－を押し続ける。



1 **SEEK +/-** ボタン

再生状態表示
 ▶▶ : 通常再生
 ▶▶ : 早送り
 ◀◀ : 早戻し



👉 アドバイス

それぞれのボタンから手を離れたところで再生を始めます。**SEEK +/-** ボタンを押し続け、曲の始まりまたは終わりにくると通常再生になります。

シャッフル(順序不同)再生をする

※録音中は操作できません。

1 画面の **シャッフル** ボタンをタッチする。

： **シャッフル** ボタンが黄色表示になり、シャッフル(ディスク内の曲を順序不同で)再生します。

※もう一度 **シャッフル** ボタンをタッチすると灰色表示になり、通常再生に戻ります。



選択時黄色表示 シャッフル再生時に表示

「CDプレーヤーを使う」

CDプレーヤーを使う(4)

リピート(繰り返し)再生をする

※録音中は操作できません。

1

画面の **リピート** ボタンをタッチする。

： **リピート** ボタンが黄色表示になり、リピート再生します。

※もう一度 **リピート** ボタンをタッチすると灰色表示になり、通常再生に戻ります。



選択時黄色表示

リピート再生時に表示

イントロスキップ再生をする

※録音中は操作できません。

1

画面の **イントロスキップ** ボタンをタッチする。

： **イントロスキップ** ボタンが黄色表示になり、イントロスキップ再生します。
曲の頭(イントロ)を約10秒間再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。

※もう一度 **イントロスキップ** ボタンをタッチすると灰色表示になり、再生中の曲より通常再生に戻ります。



選択時黄色表示

イントロスキップ再生時に表示



アドバイス

- イントロスキップ再生時、ACCをOFFにするとイントロスキップ再生は解除されます。
- 1枚のディスクに音楽データとMP3データが混在する場合は再生しません。

画面を変えるには

CDを聞きながら、画面を変えることができます。

“画面を消したい。” → 「音声はそのまま、画面を消す」 12ページ

“地図を見たい。”

“ナビゲーションの操作をしたい。” → 「音声はそのまま、ナビ画面を表示する」 13ページ
「ナビ画面を表示したままでオーディオ画面を表示する」 14ページ

■トラックを一覧表示させ、再生させることができます。

リストより好きなトラックを選び再生させる

※録音中は操作できません。

1

画面の **リスト** ボタンをタッチする。

：トラックリスト画面が表示されます。



2

再生したいトラックをタッチする。

：選択したトラックが再生されます。



↑/↓ボタンタッチでページ戻し/送り表示

CD
CDプレーヤーを使う

3

画面の **戻る** ボタンをタッチすると…

手順 **1** の画面に戻ります。

ディスク名/トラック名をスクロールさせる

タイトル名が長すぎて一度に表示できない(全角18/半角36文字以上の)場合、表示をスクロールさせることができます。

1

画面の **スクロール** ボタンをタッチする。

：ディスク名またはトラック名が一巡します。

※表示文字数が全角18/半角36文字以下の場合は **スクロール** ボタンは表示されません。



オーディオライブラリーシステムを使う(1)(HDDモード&プレイリストモード)

各部の名称とはたらき

※プレイリストモードの詳しい操作方法につきましては66～71ページをご覧ください。

※マルチ画面の場合にHDD／プレイリストモードに切り替えるには、**[SRC LIST]** ボタンを押してオーディオモード画面を表示させ、**[HDD/プレイリスト]** ボタンをタッチしてください。

VOL +/- ボタン

音量の増減を調整します。

- ＋：音量増
- －：音量減

SRC ON/OFF ボタン

オーディオモードを開始／終了(SOURCE OFF状態に)します。

HDD/プレイリスト ボタン

タッチするたびにHDDモードとプレイリストモードを切り替えます。

(例) HDDモード画面

プレイリストモード画面の場合は
[リピート] / **[リスト]** / **[編集]**
ボタン表示となります。

SRC LIST ボタン

ナビモード画面からオーディオモード画面に切り替えます。
(54、66ページ)

シャッフル ボタン*

HDDモード時、1つのアルバム内の曲または全曲を順序不同で再生します。(56ページ)

リピート ボタン*

HDDモード時はアルバムまたはトラックを、プレイリストモード時はトラックを繰り返し再生します。(57ページ)

イントロスキップ ボタン*

HDDモード時、曲の頭(イントロ)を約10秒ずつ順に演奏します。
(58ページ)

SEEK +/- ボタン

好きな曲を選びます。
また、このボタンを押し続けると
早送り／早戻しします。
(55ページ)

プレイリスト登録 ボタン

再生中のトラック(曲)をプレイリストへ登録(録音)します。(65ページ)

※ **[プレイリスト登録]** ボタンはオーディオモード画面の場合に表示されます。

編集 ボタン

再生アルバムの選択や、アルバム／トラックの編集をすることができます。(68、69ページ)

※ **[編集]** ボタンはオーディオモード画面の場合に表示されます。

リスト ボタン

HDDに録音済のアルバムリストやトラックリストを表示します。(59ページ)

プレイリストモードの場合はプレイリストを表示し、編集することができます。(67ページ)

アドバイス

*印：選択時は黄色で表示します。ボタンをタッチして灰色表示にすると通常再生に戻ります。



表示部について



シャッフル／リピート／イントロスキャン選択時に表示

表示内容につきましては 56～58ページをご覧ください。

👍 アドバイス

- アルバム名／トラック名の表示文字数は全角32(半角64)文字です。
- アルバム名／トラック名が記録されていないディスクの場合は、表示部に“新規アルバム”／“トラック01”と表示されます。
- アルバム名／トラック名が全角18(半角36)文字以上の場合  ボタンが表示されます。  ボタンをタッチするとアルバム名／トラック名をスクロールさせることができます。(71ページ)

7-710
5-710
2-710

オーディオライブラリーシステムを使う

オーディオライブラリーシステムを使う(2)

オーディオライブラリーシステムを聞く

1

オーディオモード画面で画面の
HDD/プレイリスト ボタンをタッチし、
“HDDモード” にする。
：再生を始めます。



SRC LIST ボタン



アドバイス

- DVDモード画面の場合は**SRC LIST** ボタンを押し、TVモード画面の場合は画面をタッチするか、パネルの**SRC LIST** ボタンを押してオーディオモード画面を表示させ、**HDD/プレイリスト** ボタンをタッチしてください。モード表示は約5秒間表示されます。
- **HDD/プレイリスト** ボタンはタッチするたびに“HDDモード”と“プレイリストモード”に切り替わります。文字の色でどちらのモードを選択中か確認できます。

選択中モードは文字白色表示



選択可能モードは文字黄色表示

ナビモード画面を表示している場合

- ☐ パネルの**SRC LIST** ボタンを押し、画面の**HDD/プレイリスト** ボタンをタッチする。
：ナビモード画面を終了し、オーディオモード画面を表示します。

SOURCE OFF(オーディオモード終了)の場合

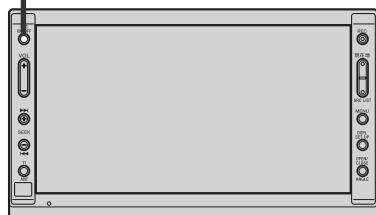
- ☐ 画面の**HDD/プレイリスト** ボタンをタッチする。

オーディオライブラリーシステムを止める

1

パネルの**SRC ON/OFF** ボタンを押す。
：画面に“SOURCE OFF”と表示され、オーディオライブラリーシステムの再生を止めます。(オーディオモード終了)

1 **SRC ON/OFF** ボタン



好きなトラックを選ぶ

- 1 パネルの **SEEK +/-** ボタン(▶▶/◀◀)を押す。

■ 次のトラックに進む場合

: ▶▶を押す。

■ 前のトラックに戻る場合

: ◀◀を2回押す。

※1回押した場合は、今聞いている曲の頭に戻ります。



次のトラックに進む



2回押すと前のトラックに戻る
1回押すと曲の頭に戻る



1 **SEEK +/-** ボタン(▶▶/◀◀)

早送り／早戻しをする

- 1 パネルの **SEEK +/-** ボタンを押し続ける。
: 再生中の曲の早戻し／早送りをします。

■ 早送りで進む場合

: +を押し続ける。



押し続けると
早送り

■ 早戻しで戻る場合

: -を押し続ける。



押し続けると
早戻し

1 **SEEK +/-** ボタン

再生状態表示

▶▶ : 通常再生

▶▶▶ : 早送り

◀◀◀ : 早戻し



👉 アドバイス

それぞれのボタンから手を離れたところで再生を始めます。**SEEK +/-** ボタンを押し続け、全ての曲の始めまたは終わりにくると通常再生になります。

オーディオライブラリーシステムを使う(3)

シャッフル(順序不同)再生をする

1

HDDモード時、画面の **シャッフル** ボタンをタッチする。

： **シャッフル** ボタンが黄色表示になり、シャッフル再生します。

※ **シャッフル** ボタンをタッチするごとに下記のように用途が変わります。

今聞いているアルバムの中から順序不同に再生

(黄色表示／マーク表示有)



全てのアルバムの中から順序不同に再生

(黄色表示／マーク表示無)



通常再生(シャッフル解除)

(灰色表示／表示無)



👍 アドバイス

- **シャッフル** ボタンが灰色表示(シャッフル解除)になるまでシャッフル再生を繰り返します。
- プレイリストモード時、シャッフル再生はできません。

リピート(繰り返し)再生をする

- 1 画面の **リピート** ボタンをタッチする。
: **リピート** ボタンが黄色表示になり、リピート再生します。

※ **リピート** ボタンをタッチすることにより下記のように用途が変わります。

■ HDDモード選択の場合

今聞いているトラックのリピート再生

(黄色表示 /  マーク表示)



今聞いているアルバムのリピート再生

(黄色表示 /  マーク表示)



通常再生(リピート解除)

(灰色表示 / 表示無)

■ プレイリストモード選択の場合

今聞いているトラックのリピート再生

(黄色表示 /  マーク表示)



通常再生(リピート解除)

(灰色表示 / 表示無)



選択時
黄色表示 トラックリピート
時に表示



選択時
黄色表示 アルバムリピート
時に表示

オーディオライブラリシステムを使う

👍 アドバイス

リピート ボタンが灰色表示(リピート解除)になるまでリピート再生を繰り返します。

オーディオライブラリーシステムを使う(4)


イントロスキャン再生をする

1 HDDモード時、画面の **イントロスキャン** ボタンをタッチする。

： **イントロスキャン** ボタンが黄色表示になり、イントロスキャン再生します。


※ **イントロスキャン** ボタンをタッチすることにより下記のよう用途が変わります。

今聞いているアルバムの中から
曲の頭(初め)を10秒間だけ順に再生

(黄色表示／マーク表示有)



全てのトラックの曲の頭(初め)を
10秒間だけ再生

(黄色表示／マーク表示無)



通常再生(イントロスキャン解除)

(灰色表示／表示無)



アドバイス

- **イントロスキャン** ボタンが灰色表示(イントロスキャン解除)になるまでイントロスキャン再生を続けます。イントロスキャン解除すると再生中の曲で通常再生を続けます。
- プレイリストモード時、イントロスキャン再生はできません。

他のアルバムを聞く

1 HDDモード画面で、画面の **リスト** ボタンをタッチする。

：アルバムリスト画面が表示されます。

※プレイリストモード時に **リスト** ボタンをタッチした場合はプレイリストリスト画面を表示します。

「**プレイリストを選択し再生させる**」
67ページ

※アルバムリスト画面で約10秒間何も操作しないとHDDモード画面に戻ります。

タッチするたびに“HDDモード” ↔ “プレイリストモード”と切り替わります。
(選択中モードは文字白色表示。)

HDDモード画面(例)



2 聞きたいアルバムをタッチする。

：選択したアルバムの先頭の曲を再生し、トラックリスト画面を表示します。

※トラックリスト画面で約10秒間何も操作しないとHDDモード画面に戻ります。

アルバムリスト画面(例)



トラックリスト画面(例)



「オーディオライブラリシステムを使う」

オーディオライブラリーシステムを使う(5)

アルバム名、アーティスト名を変更したり、アルバムやトラックの並び替えをすることができます。

アルバムリスト／トラックリストの編集 HDDモードの場合

1 HDDモード画面で、画面の **編集** ボタンをタッチする。

：アルバム編集画面が表示されます。

※プレイリストモードの編集をする場合は68～71ページをご覧ください。

選択中モードは文字白色表示
※タッチするたびにHDD
モード↔プレイリスト
モードと切り替わります。

HDDモード画面(例)



アルバム編集画面



2 編集したいアルバムを選択し、操作したいボタン（**タイトル**／**削除**／**並替**／**再生選択**／**曲編集**）をタッチする。

ここをタッチするとアルバム編集することができます。

ここをタッチすると曲編集画面が表示されます。編集したいトラックを選択すると(タイトル／削除／並替／プレイリスト登録)編集することができます。

〔P.60～64ページ〕

■ タイトルを変更する場合(アルバム名／アーティスト名／トラック名)

①画面の **タイトル** ボタンをタッチする。

：情報画面が表示されます。

アルバム情報画面の場合は…

②アルバム名をタッチする。

：編集画面(61ページ)が表示されます。



ここをタッチすると現在のタイトル情報を上書きすることができます。

※編集によって変えてしまったタイトル名を元に戻したり、新たに取込んだ情報の書き換えなどをする場合に使用します。



アルバム情報画面

ここをタッチするとHDD(本機)に収録されていないタイトル情報を本機CDDDBフォルダに保存することができます。

※保存した情報は書き出しを行い、PCによりCDDDB検索をすることによって新たな情報を手に入れます。

〔P.データを書き出しをする〕36ページ

③入力する。

※入力できる文字数は全角32(半角64)文字です。

番号順に操作してください。

ひらがなとカタカナを入力する場合

例「らう」と入力する場合

入力した文字を訂正する場合

- ① **訂正** ボタンをタッチする。
全ての文字を訂正する場合は、**訂正** ボタンを1.5秒以上タッチする。
- ② 正しい文字を入力する。

- 1 **ら** を選び、タッチする。
(画面上部に、「ら」があらわれる。)

- 3 **う** を選び、タッチする。
(画面上部に、「ら」があらわれる。)



- 2 **カナ** ボタンを選び、タッチする。(50音パレットがカタカナに変わる。)

小文字に変換したい場合

- 小文字** ボタンをタッチする。
(50音パレットが小文字*に変わる。)

*選択可能な文字のみ

漢字を入力する場合

例「樹」を入力する場合

- 1 **漢字** ボタンをタッチする。
- 2 かな文字で入力したい漢字の音読みの頭文字をタッチする。
※濁点や半濁点は無視する。
(例) 樹 ⇒ **し**



※手順1~3を繰り返して
1文字ずつ入力します。

↑/↓ボタンタッチで
ページ戻し/送り表示



- 3 入力したい漢字を選び、タッチする。

※英数の小文字入力時にスペースを入れる場合は、一度英数の大文字にしてから入力してください。

④入力が終わったら… **決定** ボタンをタッチする。

トラック情報画面の場合は…

- ② アルバム名またはアーティスト名またはトラック名をタッチする。

：選択した編集画面(上記)が表示されます。



オーディオライブラリーシステムを使う(6)

■ アルバムまたはトラックを削除する場合

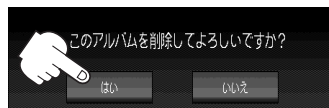
※下記はアルバムの場合を例に説明していますが、トラックの場合も同等の操作で削除することができます。

①画面の **削除** ボタンをタッチする。

アルバム編集画面の場合(例)



: 選択したアルバムを削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので“はい”をタッチしてください。



注意!

: HDDモードで(アルバム&トラックの)削除をすると、プレイリストに登録したトラックも削除されます。

■ アルバムまたはトラックの並び替えをする場合

※下記はアルバムの場合を例に説明していますが、トラックの場合も同等の操作で並び替えをすることができます。

①画面の **並替** ボタンをタッチする。

: 並替選択画面が表示されます。



②並び替えしたいアルバムをタッチする。

例 “003 Rock And…” を1番目に移動する場合
003 Rock And をタッチする。

並替選択画面(例)



例 さらに“002 The Best…”を2番目に移動する場合



: “003 Rock And…” が新しい順序の1番目に追加され、現在の順序は1つずつ繰り上がります。



002 The Best をタッチする。



: “002 The Best…” が新しい順序の2番目に追加され、現在の順序は1つずつ繰り上がります。

③並び替えが終わ

ったら画面の
決定 ボタンを
タッチする。

：アルバム編集
画面に戻ります。



アルバム編集画面(例)



👉 アドバイス

- ・並替選択画面で現在の順序にあるアルバムをタッチすると新しい順序へアルバムが移動し、順番を作成します。また、新しい順序にあるアルバムをタッチすると、現在の順序へアルバムを戻すことができます。
- ・画面の **クリア** ボタンをタッチすると選択中の並び替えをクリアにします。
- ・画面の **終了** ボタンをタッチすると編集中の並び替えを終了します。終了した場合、編集中の並び替えは保存されません。
- ・画面の **↑/↓** ボタンタッチでページ戻し/送り表示することができます。

■ 選択したアルバムのみ再生させる ※トラック編集画面に **再生選択** ボタンはありません。

①画面の **再生選択** ボタンをタッチする。

：アルバム選択画面が表示されます。

②再生させたくないアルバムをタッチする。

アルバム選択画面(例)



③画面の **決定** ボタンをタッチする。



：アルバム編集画面に戻ります。

アルバムをタッチするたびに文字の色が切り替わります。
文字黒色表示：このアルバムは再生されません。
文字白色表示：このアルバムは再生されます。

👉 アドバイス

アルバム名を黒色表示にして再生しない設定にしても、本機(HDD)内の音楽(アルバム)は存在したままとなります。

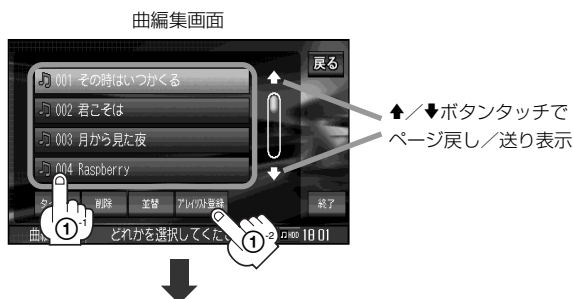
オーディオライブラリーシステムを使う(7)

■ リストより好きなトラックを選びプレイリスト登録をする

※アルバム編集画面に **プレイリスト登録** ボタンはありません。“プレイリスト登録”をするには、アルバム編集画面で画面の **曲編集** ボタンをタッチ (P.60ページ手順 **2** 参照) し、曲編集画面を表示させ、編集したいトラックを選択すると“プレイリスト登録”することができます。

①曲編集画面で登録したいトラックを選択し、 **プレイリスト登録** ボタンをタッチする。

：プレイリスト画面が表示されます。



②4つのプレイリスト(1～4)の中から登録したい場所をタッチする。



：選択したプレイリスト(1～4)に登録され、曲編集画面に戻ります。

👉 アドバイス

- プレイリスト登録とはHDDに録音したトラックの中で、お好みの曲だけを集めたオリジナルリストを作ることができます。
- 再生中のトラックをプレイリスト登録したい場合は65ページを参照してください。

👉 アドバイス

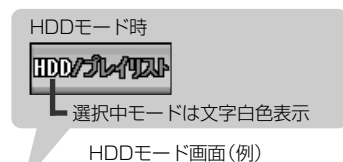
- 画面の **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。
- 画面の **終了** ボタンをタッチするとそれまでの操作は無視され、HDDモード画面に戻ります。
- HDDモード画面で **編集** ボタンをタッチしてアルバム編集画面を表示させたとき、アルバムを選択しなくても **並替** と **再生選択** ボタンはタッチする(操作する)ことができます。また、アルバム編集画面でアルバムを選択し、**曲編集** ボタンをタッチして曲編集画面を表示させたときはトラックを選択しなくても **並替** ボタンをタッチする(操作する)ことができます。

再生中の曲をプレイリスト登録する

■HDDに録音したトラックの中で、お好みの曲だけを集めたオリジナルリスト(プレイリスト)を作成／再生することができます。

- 1 HDDモード時、登録したいトラック再生中に画面の**プレイリスト登録** ボタンをタッチする。

：プレイリスト画面が表示されます。



- 2 4つのプレイリスト(1～4)の中から登録したい場所をタッチする。

：選択したプレイリスト(1～4)に登録され、HDDモード画面に戻ります。



👍 アドバイス

- 1つのプレイリストに登録できるトラック数は200曲です。合計800曲の登録が可能です。
- プレイリスト登録した曲は“プレイリストモード”で再生や並び替えなどをすることができます。

📖 「プレイリストを使う」68～71ページ

プレイリストを使う(1)

プレイリスト登録曲を聞く

1

オーディオモード画面で画面の
HDD/プレイリスト ボタンをタッチする。

：再生を始めます。

※前回プレイリスト再生をしていた場合は、
最後に聞いていたトラックの続きから再生を
始めます。

HDD/プレイリスト
プレイリストモード時

選択中モードは文字白色表示
※タッチするたびにプレイ
リストモード↔HDDモー
ドと切り替わります。



(SRC LIST) ボタン

アドバイス

- DVDモード画面の場合はパネルの **(SRC LIST)** ボタンを押し、TVモード画面の場合は画面をタッチするかパネルの **(SRC LIST)** ボタンを押してモードを表示させ、画面の **HDD/プレイリスト** ボタンをタッチしてください。モード表示は約5秒間表示されます。
- **HDD/プレイリスト** ボタンはタッチするたびに“HDDモード”と“プレイリストモード”に切り替えます。文字の色でどちらのモードを選択中か確認してください。

ナビモード画面を表示している場合

□ パネルの **(SRC LIST)** ボタンを押し、画面の **HDD/プレイリスト** ボタンをタッチする。

：ナビモード画面を終了し、オーディオモード画面を表示します。

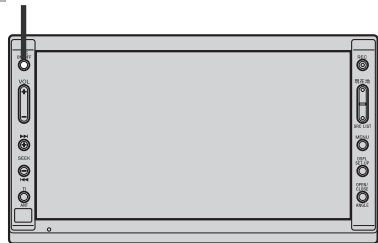
プレイリスト再生を止める

1

パネルの **(SRC ON/OFF)** ボタンを押す。

：画面に“SOURCE OFF”と表示され、プ
レイリスト再生を止めます。(オーディオモ
ード終了)

1 **(SRC ON/OFF)** ボタン



リピート(繰り返し)再生をする

※リピート再生につきましては「オーディオライブラリーシステムを使う」57ページをご覧ください。

■プレイリストより選択再生したり、プレイリスト内の曲を削除／並び替えなどを行うことができます。

プレイリストを選択し再生させる

※あらかじめプレイリスト(1~4)に曲を登録しておく必要があります。

「**プレイリストより好きなトラックを選びプレイリスト登録をする**」 64ページ

「再生中の曲をプレイリスト登録する」 65ページ

1

プレイリストモード画面で、画面の
リスト ボタンをタッチする。

：プレイリスト画面が表示されます。

選択中モードは文字白色表示
※タッチするたびにプレイ
リストモード↔HDDモードと切り替わります。

HDD/プレイリスト
プレイリストモード時



2

再生させたいプレイリスト(1~4)をタッチ
する。

：選択したプレイリスト(1~4)の先頭の曲を再生
し、そのプレイリスト内のトラックリストを表
示し、トラックを選択できます。

※約5秒間、なにも操作をしなかった場合、プレイ
リストモード画面に戻ります。

プレイリスト画面



プレイリストを使う

プレイリストを使う(2)

プレイリストの編集

プレイリストの場合

1 プレイリストモード画面で画面の **編集** ボタンをタッチする。

：プレイリスト編集画面が表示されます。

※HDDモードの編集をする場合は60～64ページをご覧ください。

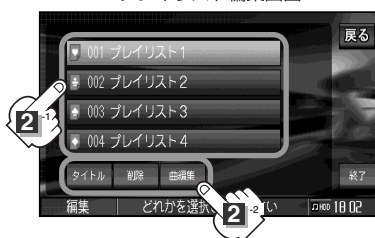
HDD/プレイリスト
プレイリストモード時

選択中モードは文字白色表示
※タッチするたびにプレイリストモード↔HDDモードと切り替わります。



2 編集したいプレイリストを選択し、操作したいボタン (**タイトル** / **削除** / **曲編集**) をタッチする。

プレイリスト編集画面



■ **タイトル(プレイリストの名前)を変更する場合**

プレイリスト(1～4)に名前を付けることができます。

①画面の **タイトル** ボタンをタッチする。

②画面の50音パレットを使って入力し、**決定** ボタンをタッチする。



※入力のしかたは61ページを参照してください。

■ 選択したプレイリスト内の曲を一括削除する場合

プレイリスト内の曲を一括で削除することができます。

①画面の **削除** ボタンをタッチする。



②削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので“はい”をタッチする。



：選択したプレイリスト内の曲を全て削除し、プレイリスト編集画面に戻ります。

■ 選択した曲のみ削除またはトラックの並び替えをする場合

①画面の **曲編集** ボタンをタッチする。：削除／並替選択画面が表示されます。

削除／並替選択画面



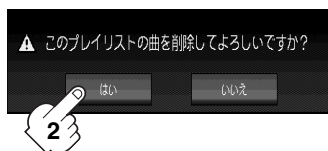
②削除または並び替えをします。

□ 削除する場合

1. 削除したいトラックを選択し、画面の **削除** ボタンをタッチする。



2. 削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので“はい”をタッチする。



：選択したトラックを削除し、削除／並替選択画面に戻ります。

プレイリストを使う(3)

□ 並び替えをする場合

1. 画面の **並替** ボタンをタッチする。

：並替選択画面が表示されます。



2. 並び替えしたいトラックをタッチする。

例 “002 Raspberry” を1番目に移動する場合

並替選択画面(例)



： “002 Raspberry” が新しい順序の1番目に移動され、現在の順序は1つつ繰り上がります。

3. 並び替えが終わったら画面の **決定** ボタンをタッチする。



変更した順で表示されます。

：削除／並替選択画面に戻ります。

👉 アドバイス

- 並び替え選択画面で現在の順序にあるトラックをタッチすると新しい順序にトラックが移動し、順番を作成します。新しい順序にあるトラックをタッチすると、現在の順序へトラックを戻すことができます。
- **クリア** ボタンをタッチすると選択中の並び替えを元の状態に戻します。
- **終了** ボタンをタッチすると編集中の並び替えを終了し、プレイリストモード画面に戻ります。
※終了した場合、編集中の並び替えは保存されません。

アルバム名／トラック名をスクロールさせる

HDDモード／プレイリストモード時、タイトル名が長すぎて一度に表示できない(全角18／半角36文字以上の)場合、表示をスクロールさせることができます。

1

画面の🔍ボタンをタッチする。

：アルバム名またはトラック名が一巡します。

※表示文字数が全角18／半角36文字以下の場合は🔍ボタンは表示されません。



プレイリストを使う

MP3について(1)

MP3(MPEG Audio レイヤ3)は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、元のファイルを最大約1/10のサイズに圧縮することができます。

■再生可能なMP3ファイルの規格について

- 対応規格 : MPEG1 Audio レイヤ3 (=MPEG1 Audio LayerⅢ)
- 対応サンプリング周波数 : 32、44.1、48 (kHz)
- 対応ビットレート : 32、40、48、56、64、80、96、112、128、144、160、192、224、256、320 (kbps)
※VBRに対応しています。
※フリーフォーマットには対応していません。
- 対応チャンネルモード : ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノラル

■使用できるメディアについて

- MP3の再生に使用できるメディアはCD-RおよびCD-RWです。
※CD-R、CD-RWは通常の音楽CDに使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R、CD-RWは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズをつけた場合再生できない場合や音飛びする場合があります。
- 一部のCD-R、CD-RWは長時間の車内環境において劣化するものがあります。
※CD-R、CD-RWは紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

■ファイル名について

- MP3と認識し再生するファイルはMP3の拡張子 “.MP3” が付いたものだけです。
- MP3ファイルには、“MP3” の拡張子を付けて保存してください。
* 拡張子名 “MP” は大文字でも小文字でもかまいません。

アドバイス

MP3以外のファイルに “MP3” の拡張子を付けると、MP3ファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカを破損する場合があります。MP3以外のファイルに、“MP3” の拡張子を付けしないでください。

■ID3タグについて

MP3ファイルにはIDタグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

本機はID3v1.0、ID3v1.1のID3タグに対応しています。また、日本語に対応していますが、文字コードはシフトJISで書き込んでください。それ以外の文字コードで書き込むと文字化けすることがあります。

■マルチセッションについて

マルチセッションに対応しており、MP3ファイルを追記したCD-R、CD-RWの再生が可能です。ただし、“Track at once”で書き込んだ場合、セッションクローズや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。

■MP3の再生について

MP3ファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。

アドバイス

- ディスク内のファイルをチェックしている間、音はでません。
- ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

■MP3の演奏時間表示について

MP3ファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

MP3

MP3
レコーダー

MP3について(2)

■MP3対応機能一覧表

マルチセッション対応			○
ファイルシステム	ISO9660レベル1、2 (拡張含まず)		○
	ISO9660レベル3 (パケットライト)		×
	Joliet		○
MP3	対応ビットレート		32~320K
	VBR (可変ビットレート)		○
	対応サンプリングレート		32~48K
	ジョイントステレオ		○
	エンファシス		○
	ID3-Tag	Ver.1	○
		Ver.2	×
最大フォルダ階層			8
最大フォルダ数			50
最大表示文字数			64
ディスク内の最大ファイル数			255
CD-DA／MP3混在ディスク			×

※フォルダ名、ファイル名に漢字、ひらがな等が入っていた場合、正常に表示されないことがあります。

■使用できるディスクのフォーマットについて

使用できるメディアのフォーマットは拡張フォーマットを除いたISO9660レベル1およびレベル2です。

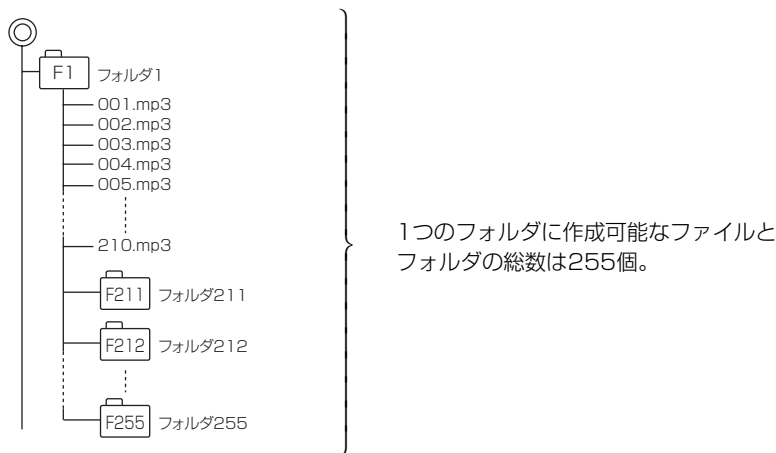
日本語を含むフォルダ名／ファイル名は表示できません。(半角英数字以外は表示できません。)

上記フォーマット以外で書き込まれたMP3ファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

規格ならびに制限事項は次のとおりです。

- 最大ディレクトリ階層 : 8階層
- 最大フォルダ名／フォルダ名文字数 : 半角64文字(区切り文字"."+拡張子3文字を含む)
- フォルダ名／ファイル名使用可能文字 : A～Z、0～9、_(アンダースコア)
- 1つのフォルダ内に書き込み可能なファイルとフォルダの総数 : 255個

<MP3対応CDの構造例>



MP3

MP3対応CD

一枚のディスクに書き込み可能なフォルダ、ファイルの総数 : 255個

MP3について(3)

■MP3ファイルの作り方について

MP3ファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

□インターネットの配信サイトより入手する場合

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々なMP3音楽配信サイトがあります。そのサイトごとのルールを守り(料金支払いなど)、そこから指示通りにダウンロードを行います。ISDN回線ならば、1曲約15分から25分ぐらいでダウンロードできます(ただし、回線接続状況によります。)

□音楽CDをMP3ファイルに変換する

パソコンと市販のMP3エンコーダ(変換)ソフトを用意します(インターネット上で無料配信されているエンコーダソフトもあります)。パソコンのCD-ROMドライブに音楽CDを入れ、MP3エンコーダソフトの手順に従って音楽CDの曲を圧縮変換すると、MP3形式の音楽データファイルができます。12cmの音楽CD1枚(最大74分収録/データ容量650MB)が約65MBのデータ量(約10分の1)になります。

□CD-R/CD-RWに書き込む場合

MP3ファイルをパソコンに接続されているCD-R/RWドライブを介してCD-R/RWに書き込みます。この時、ライティングソフトで本機が対応している記録フォーマットに設定して書き込みます。

👍 アドバイス

- 安定した音質で再生するために、128kbpsの固定ビットレート、44.1kHzのサンプリング周波数をおすすめします。
- CD-R、CD-RWはディスクの特性により読み取れない場合があります。
- MP3は市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- ディスクにMP3以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。

MP3を再生する(1)

各部の名称とはたらき

VOL +/- ボタン

音量の増減を調整します。

＋：音量増

－：音量減

SRC ON/OFF ボタン

オーディオモードを開始／終了 (SOURCE OFF状態に) します。

MP3 ボタン

SOURCE OFF状態や他のモードよりMP3モードに切り替えます。

MP3モード画面 (例)



SRC LIST ボタン

ナビモード画面からオーディオモード画面に切り替えます。(80ページ)

OPEN/CLOSE ボタン

パネルをオープンさせて、ディスクを入れる／取り出すときに使用します。(79, 81ページ)

SEEK +/- ボタン

好きな曲を選びます。

また、このボタンを押し続けると早送り／早戻しします。

(82ページ)

リピート ボタン*

フォルダ内の曲またはトラック (1つの曲のみ) を繰り返し再生します。(83ページ)

ファイル名表示 / タイトル名表示 ボタン

表示部の表示内容を切り替えます。(81ページ)

フォルダセレクト ボタン(－／＋)

好きなフォルダを選びます。(81ページ)

※マルチ画面の場合にMP3モードに切り替えるには、**[SRC LIST]** ボタンを押してオーディオモード画面を表示させ、**[MP3]** ボタンをタッチしてください。

アドバイス

* 印：選択時は黄色で表示します。ボタンをタッチして灰色表示にすると通常再生に戻ります。

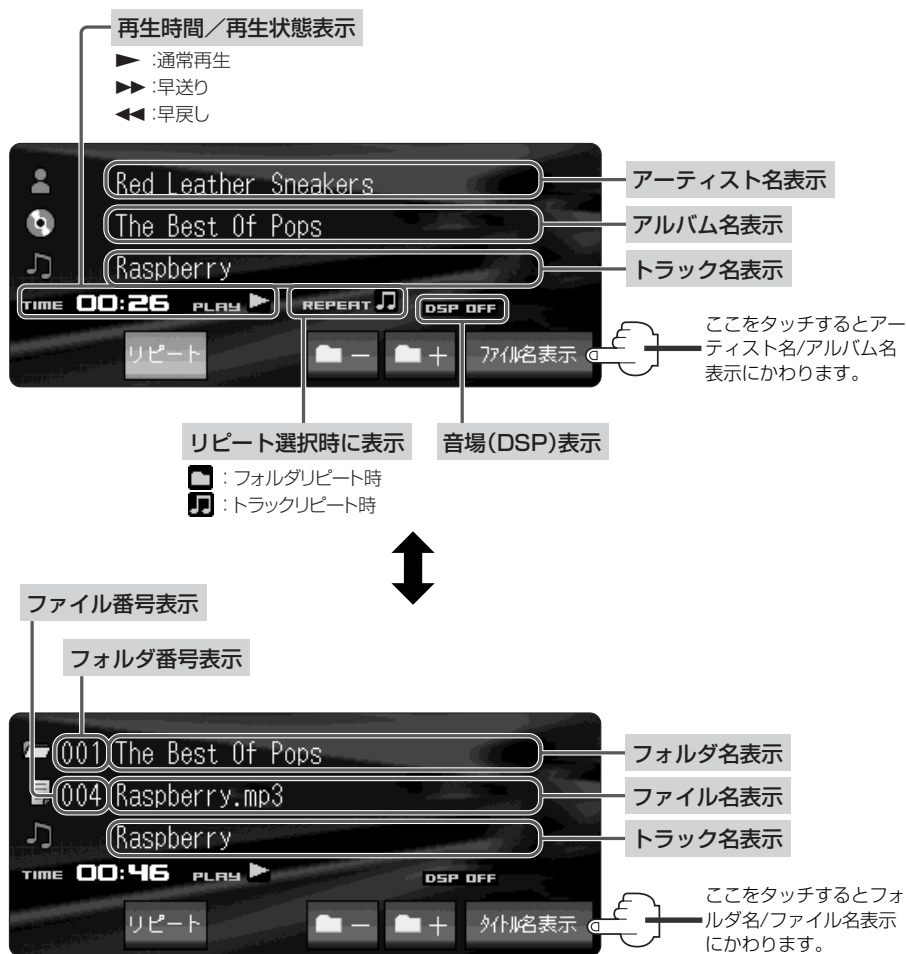
MP3

MP3を再生する

MP3を再生する(2)

表示部について

画面の **ファイル名表示** ボタンと **タイトル表示** ボタンをタッチするたびに表示内容（アーティスト／アルバム名 ↔ フォルダ／ファイル名）が切り替わります。

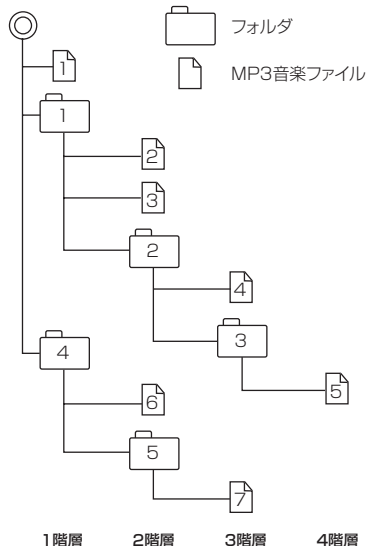


👉 アドバイス

- アーティスト名/アルバム名/フォルダ名/ファイル名の表示文字数は全角32(半角64)文字です。
※フォルダ名/ファイル名は半角英数字のみ表示できます。
- アーティスト名/アルバム名/フォルダ名/ファイル名が全角18(半角36)文字以上の場合 **📄** ボタンが表示されます。**📄** ボタンをタッチするとアーティスト名/アルバム名/フォルダ名/ファイル名をスクロールさせることができます。(83ページ)

MP3を聞く

階層と再生順序のイメージ(例)



- 本機では、フォルダの中にMP3ファイルがなくても、一つのフォルダとして数えます。選択した場合には、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。
- ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並べ替えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。
- 再生の順序は、同一のCDでも、使用する機器(プレーヤー)によって異なる場合があります。
- 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- 通常は、①→②→③→④→⑤→⑥→⑦の順に再生します。
- 同じ階層に複数のMP3音楽ファイルやフォルダが存在する場合、数字、アルファベット、日本語(SJISコード)の昇順に再生します。

アドバイス

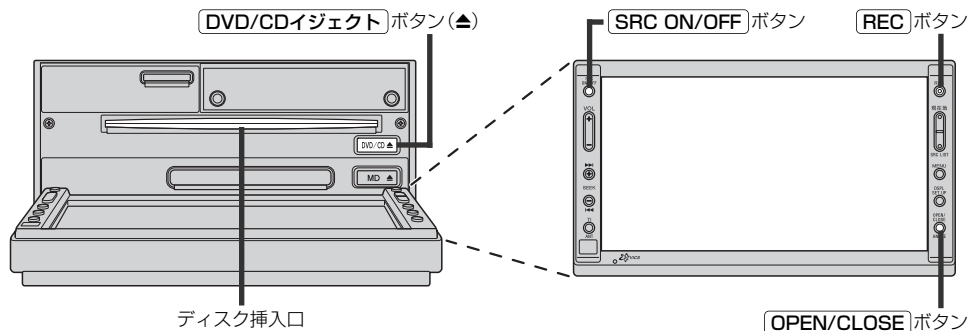
同じディスクに音楽データとMP3データが混在する場合は、再生できません。

MP3

MP3を再生する

【ディスプレイが開いた状態】

【ディスプレイが閉じた状態】



■ ディスク未挿入の場合

- ① パネルの **OPEN/CLOSE** ボタンを押す。 : ディスプレイが開きます。
- ② ディスク挿入口にMP3のデータが入ったCDを差し込む。
: 自動でディスプレイが閉じ、MP3の再生を始めます。

MP3を再生する(3)

アドバイス

すでにディスクが入っているときは、そのディスクを取り出してから、次のディスクを入れてください。
MP3/CD/DVDディスクは同時には入りません。

■ 他のモード画面を表示している場合

- オーディオモード画面またはSOURCE OFF (オーディオモード終了)の場合は…

画面の **MP3** ボタンをタッチする。

：MP3の再生を始めます。



SRC LIST ボタン

アドバイス

TVモード画面の場合は、画面をタッチするか、パネルの **SRC LIST** ボタンを押してオーディオモード画面を表示させ、画面の **MP3** ボタンをタッチしてください。モード表示は約5秒間表示されます。

- ナビモード画面の場合は…

パネルの **SRC LIST** ボタンを押してオーディオモードにし、画面の **MP3** ボタンをタッチする。

：MP3の再生を始めます。



SRC LIST ボタン

※MP3ファイルをオーディオライブラリシステムへ録音することはできません。

MP3を止める

1

パネルの **SRC ON/OFF** ボタンを押す。

：画面に“SOURCE OFF”と表示され、MP3の再生を止めます。(オーディオモード終了)

MP3ディスクを取り出す

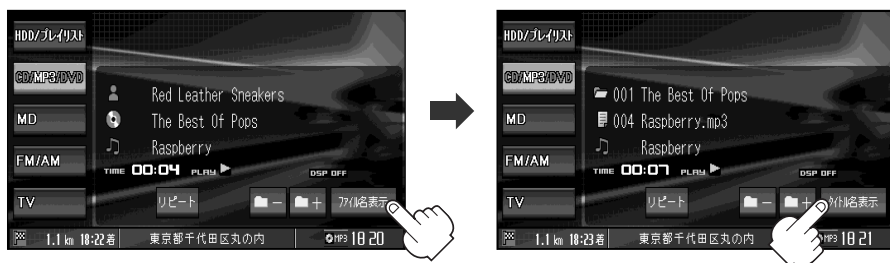
1 48ページ **CDを取り出す** の手順 **1**、**2** にしたがって操作してください。

表示内容を切り替える

お好みにあわせて表示部の情報を切り替えることができます。

1 画面の **ファイル名表示** ボタンをタッチする。

：タッチするたびにボタンが **ファイル名表示** ↔ **タイトル表示** と切り替わります。
表示内容もアーティスト名／アルバム名表示がフォルダ名／ファイル名表示へと替わります。
[P]「**表示部について**」78ページを参照してください。




好きなフォルダを選ぶ


ディスクの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

1 画面の **フォルダセレクト** ボタン(－／＋)をタッチする。

■ 前のフォルダに戻る場合

 ボタンをタッチする。

■ 次のフォルダに進む場合

 ボタンをタッチする。



MP3を再生する(4)

好きなファイルを選ぶ

フォルダの中から聞きたい音楽ファイルを選ぶことができます。

フォルダ／ファイル名表示の場合(例)

- 1 パネルの **SEEK +/-** ボタン(▶▶/◀◀)を押す。


■ 次のファイルに進む場合


: ▶▶を押す。

■ 前のファイルに戻る場合

: ◀◀を2回押す。

※1回押した場合は、今聞いている曲の頭に戻ります。

 次のファイルに進む
SEEK

 2回押すと前のファイルに戻る
1回押すと曲の頭に戻る



1 **SEEK +/-** ボタン(▶▶/◀◀)


早送り／早戻しをする

いま聞いている曲を早送り／早戻しすることができます。

- 1 パネルの **SEEK +/-** ボタンを押し続ける。
: 再生中の曲の早送り／早戻しをします。


■ 早送りで進む場合

: +を押し続ける。

 押し続けると早送り
SEEK

■ 早戻しで戻る場合

: -を押し続ける。

 押し続けると早戻し
SEEK

1 **SEEK +/-** ボタン



再生状態表示
▶ : 通常再生
▶▶ : 早送り
◀◀ : 早戻し



👉 アドバイス

それぞれのボタンから手を離れたところで再生を始めます。**SEEK +/-** ボタンを押し続け、1つのファイルの始めまたは終わりにくると通常再生になります。

リピート(繰り返し)再生をする

- 1 画面の **リピート** ボタンをタッチする。
: **リピート** ボタンが黄色表示になり、リピート再生します。

※ **リピート** ボタンをタッチすることにより下記のように用途が変わります。

- **今聞いているトラックのリピート再生**
(黄色表示 /  マーク表示)
- ↓
- **今聞いているフォルダのリピート再生**
(黄色表示 /  マーク表示)
- ↓
- **通常再生(リピート解除)**
(灰色表示 / 表示無)



👆 アドバイス


リピート ボタンが灰色表示(リピート解除)になるまでリピート再生を繰り返します。

アーティスト名/アルバム名/フォルダ名/ファイル名をスクロールさせる

タイトル名が長すぎて一度に表示できない(全角18/半角36文字以上)の場合、表示をスクロールさせることができます。

- 1 画面の  ボタンをタッチする。

: タッチしたタイトル名が一巡します。

※表示文字数が全角18/半角36文字以下の場合は  ボタンは表示されません。



MP3

(MP3を再生する)

MDプレイヤーを使う(1)

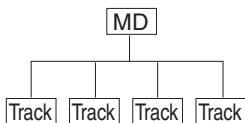
本機のグループ機能はMD規格の推奨方法にもとづいています。

グループ機能未搭載機器でグループやトラック編集されたディスクはグループ機能が正常に動作しない場合があります。

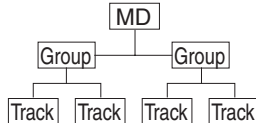
グループ機能(演奏)について

グループ機器録音の概念

通常録音の場合



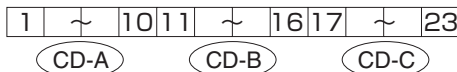
グループ録音の場合



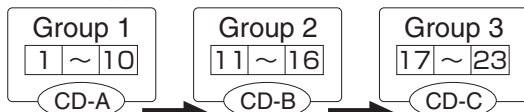
MD内のトラックがグループごとに割り振られることにより長いディスクを区切って管理できるためグループごとのスキップやトラック数が多い時などに便利です。

グループ機器録音例 (3枚のCDを1枚のMDに録音した場合)

グループ機能がないと



グループ機能があると



グループごとにスキップできます。

各部の名称とはたらき

※マルチ画面の場合にMDモードに切り替えるには、**[SRC LIST]** ボタンを押してオーディオモード画面を表示させ、**[MD]** ボタンをタッチしてください。

VOL +/- ボタン

音量の増減を調整します。

＋：音量増

－：音量減

SRC ON/OFF ボタン

オーディオモードを開始／終了(SOURCE OFF状態に)します。

MD ボタン

SOURCE OFF状態や他のモードよりMDモードに切り替えます。

MDモード画面(例)



SRC LIST ボタン

ナビモード画面からオーディオモード画面に切り替えます。(87ページ)

OPEN/CLOSE ボタン

パネルをオープンさせて、ディスクを入れる／取り出すときに使用します。(87、88ページ)

SEEK +/- ボタン

好きな曲を選びます。
また、このボタンを押し続けると早送り／早戻しします。(89ページ)

グループセレクト ボタン(－／＋) *1

好きなグループを選びます。(93ページ)

イントロスキップ ボタン *2

ディスクまたはグループの曲の頭(イントロ)を約10秒間ずつ順に演奏します。(92ページ)

リピート ボタン *2

再生中のトラックまたはグループ内のトラックを繰り返し再生します。(91ページ)

シャッフル ボタン *2

ディスク内またはグループ内の曲を順序不同で再生します。(90ページ)

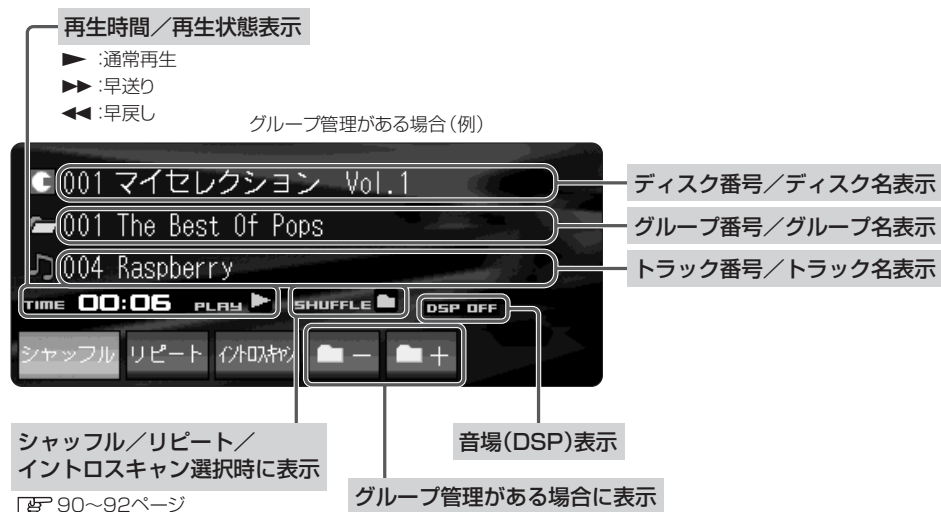
アドバイス

*1印：**[グループセレクト]** ボタンはグループ管理があるMDの場合に表示されます。



*2印：選択時は黄色で表示します。ボタンをタッチして灰色表示にすると通常再生に戻ります。グループ管理がある場合はタッチする回数が変わります。[P.90～92ページ]

MDプレイヤーを使う(2)

表示部について



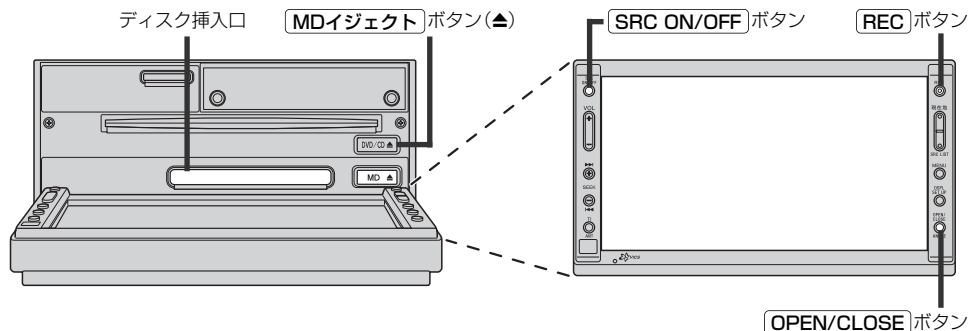
👍 アドバイス

- ディスク名／グループ名／トラック名の表示文字数は全角32(半角64)文字です。
- ディスク名／グループ名／トラック名が記録されていないディスクの場合は、表示部に“NO Title”と表示されます。
- ディスク名／グループ名／トラック名が全角18(半角36)文字以上の場合  ボタンが表示されます。  ボタンをタッチするとディスク名／グループ名／トラック名をスクロールさせることができます。(93ページ)

MDを聞く

[ディスプレイが開いた状態]

[ディスプレイが閉じた状態]



■ ディスク未挿入の場合

① パネルの **OPEN/CLOSE** ボタンを押す。 : ディスプレイが開きます。

② ディスク挿入口にMDを差し込む。

: 自動でディスプレイが閉じ、MDの再生を始めます。

「ディスクを入れる／取り出すには」本編27ページ

■ 他のモード画面を表示している場合

- ☐ オーディオモード画面またはSOURCE OFF (オーディオモード終了)の場合は…

画面の **MD** ボタンをタッチする。

: MDの再生を始めます。



SRC LIST ボタン

MD

MDプレーヤーを使う

👍 アドバイス

DVDモード画面の場合はパネルの **SRC LIST** ボタンを押し、TVモード画面の場合は画面をタッチするかパネルの **SRC LIST** ボタンを押してオーディオモード画面を表示させ、画面の **MD** ボタンをタッチしてください。モード表示は約5秒間表示されます。

- ☐ ナビモード画面の場合は…

パネルの **SRC LIST** ボタンを押してオーディオモードにし、画面の **MD** ボタンをタッチする。

: MDの再生を始めます。



SRC LIST ボタン

MDプレーヤーを使う(3)

MDを止める

1

パネルの **SRC ON/OFF** ボタンを押す。

：画面に“SOURCE OFF”と表示され、MDの再生を止めます。(オーディオモード終了)

MDを取り出す

1

パネルの **OPEN/CLOSE** ボタンを押す。

ディスプレイが自動で開きます。

2

パネルの **MDイジェクト** (▲) ボタンを押す。

※イジェクトするとSOURCE OFF状態となります。

：MDがディスク挿入口より出てきます。



アドバイス

MDを取り出して再度再生を始めるときは、ディスクの最初の曲の頭から再生が始まります。

※再生中にACCをOFFにした場合は、次にACCをONにすると、前に再生していたつづきから再生を始めます。

好きなトラックを選ぶ

- 1 パネルの **SEEK +/-** ボタン(▶▶/◀◀)を押す。

■ 次のトラックに進む場合

: ▶▶を押す。

■ 前のトラックに戻る場合

: ◀◀を2回押す。

※1回押した場合は、今聞いている曲の頭に戻ります。



次のトラックに進む



2回押すと前のトラックに戻る
1回押すと曲の頭に戻る



1 **SEEK +/-** ボタン(▶▶/◀◀)

早送り／早戻しをする

- 1 パネルの **SEEK +/-** ボタンを押し続ける。
: 再生中の曲の早送り／早戻しをします。

■ 早送りで進む場合

: +を押し続ける。



押し続けると
早送り

■ 早戻しで戻る場合

: -を押し続ける。



押し続けると
早戻し

1 **SEEK +/-** ボタン



再生状態表示
▶▶ : 通常再生
▶▶▶ : 早送り
◀◀◀ : 早戻し

「MDプレーヤーを使う」

👉 アドバイス

それぞれのボタンから手を離れたところで再生を始めます。**SEEK +/-** ボタンを押し続け、ディスクの始めまたは終わりにくると通常再生になります。

MDプレイヤーを使う(4)

シャッフル(順序不同)再生をする

- 1 画面の **シャッフル** ボタンをタッチする。
: **シャッフル** ボタンが黄色表示になり、
シャッフル再生します。

※グループ管理のある／なしによって下記のように用途が変わります。

■ グループ管理がない場合


今聞いているディスクの中から順序不同に再生
(黄色表示／マーク表示無)



通常再生(シャッフル解除)

(灰色表示／表示無)

■ グループ管理がある場合

今聞いているグループの中から順序不同に再生
(黄色表示／マーク表示)



全てのグループの中から順序不同に再生
(黄色表示／マーク表示無)



通常再生(シャッフル解除)

(灰色表示／表示無)

MDモード画面(グループ管理有の場合(例))



シャッフル再生
時に表示

グループ管理が
ある場合に表示

👉 アドバイス

シャッフル ボタンが灰色表示(シャッフル解除)になるまでシャッフル再生を繰り返します。

リピート(繰り返し)再生をする

- 1 画面の **リピート** ボタンをタッチする。
: **リピート** ボタンが黄色表示になり、
リピート再生します。

※グループ管理のある／なしによって下記のように用途が変わります。

■ グループ管理がない場合

今聞いているトラックのリピート再生

(黄色表示／マーク表示)



通常再生(リピート解除)

(灰色表示／表示無)

■ グループ管理がある場合

今聞いているトラックのリピート再生

(黄色表示／マーク表示)



グループのリピート再生

(黄色表示／マーク表示)



通常再生(リピート解除)

(灰色表示／表示無)

MDモード画面(グループ管理有の場合(例))



リピート再生
時に表示

グループ管理が
ある場合に表示

MD

MDプレーヤーを使う

👍 アドバイス

リピート ボタンが灰色表示(リピート解除)になるまでリピート再生を繰り返します。

MDプレイヤーを使う(5)

イントロスキャン再生をする

1 画面の **イントロスキャン** ボタンをタッチする。

： **イントロスキャン** ボタンが黄色表示になり、イントロスキャン(約10秒間ずつ順に)再生します。

※グループ管理のある／なしによって下記のように用途が変わります。

MDモード画面(グループ管理有の場合(例))



イントロスキャン
再生時に表示

グループ管理が
ある場合に表示

■ グループ管理がない場合


今聞いているディスクの中からイントロスキャン再生
(黄色表示／マーク表示無)



通常再生(イントロスキャン解除)

(灰色表示／表示無)

■ グループ管理がある場合

各グループの先頭曲をイントロスキャン再生
(黄色表示／マーク表示)



全てのグループの中からイントロスキャン再生
(黄色表示／マーク表示無)



通常再生(イントロスキャン解除)

(灰色表示／表示無)

👉 アドバイス

イントロスキャン ボタンが灰色表示(イントロスキャン解除)になるまでイントロスキャン再生を繰り返します。

好きなグループを選ぶ

ディスクの中から聞きたいグループを選ぶことができます。

- 1 画面の **グループセレクト** ボタン(−/+)をタッチする。

■ 前のグループに戻る場合

[-] ボタンをタッチする。

■ 次のグループに進む場合

[+] ボタンをタッチする。



ディスク名/グループ名/トラック名をスクロールさせる

タイトル名が長すぎて一度に表示できない(全角18/半角36文字以上の)場合、表示をスクロールさせることができます。

- 1 画面の **スクロール** ボタンをタッチする。

：ディスク名またはグループ名またはトラック名が一巡します。

※表示文字数が全角18/半角36文字以下の場合、[スクロール] ボタンは表示されません。

※グループ名はグループ管理がある場合に表示されます。



MD

MDプレーヤーを使う






DVDプレーヤーについて

■本機は、DVDビデオの高画質映像と高音質なデジタルサウンドを再生することができます。また、DVDビデオに記録されている複数の言語(音声や字幕など)を切り替えて表示できるほか、同じ画面が複数のアングルで記録されているものは、好きなアングルに切り替えて再生することができます。

△本機は、マクロビジョンコーポレーションやその他の権利者が保有する、米国特許権及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。

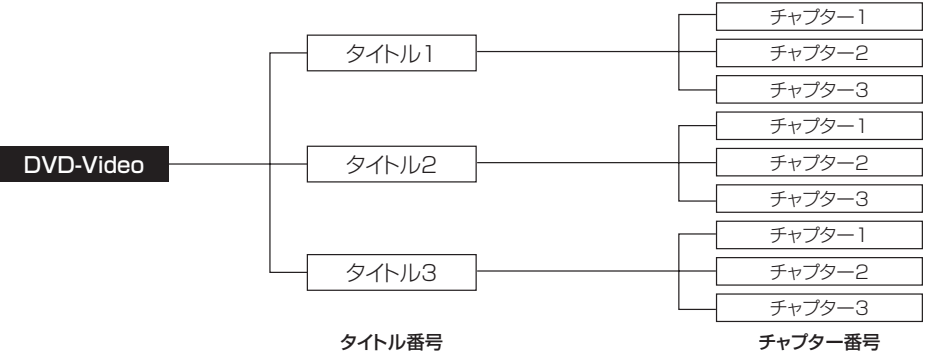
■ディスクに表示されているマークについて

DVDのディスクやパッケージに表示されているマークには下記のものがあります。

マーク(例)	意 味
	音声のトラック数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングル数を表わします。
	選択可能な画像アスペクト比(TV画面の横と縦の比率)を表わします。 ●「16 : 9」はワイド画面、「4 : 3」は標準画面です。
	再生可能な地域番号を表します。 ●ALLは全世界向け、数字は地域番号です。「2」は日本を示します。

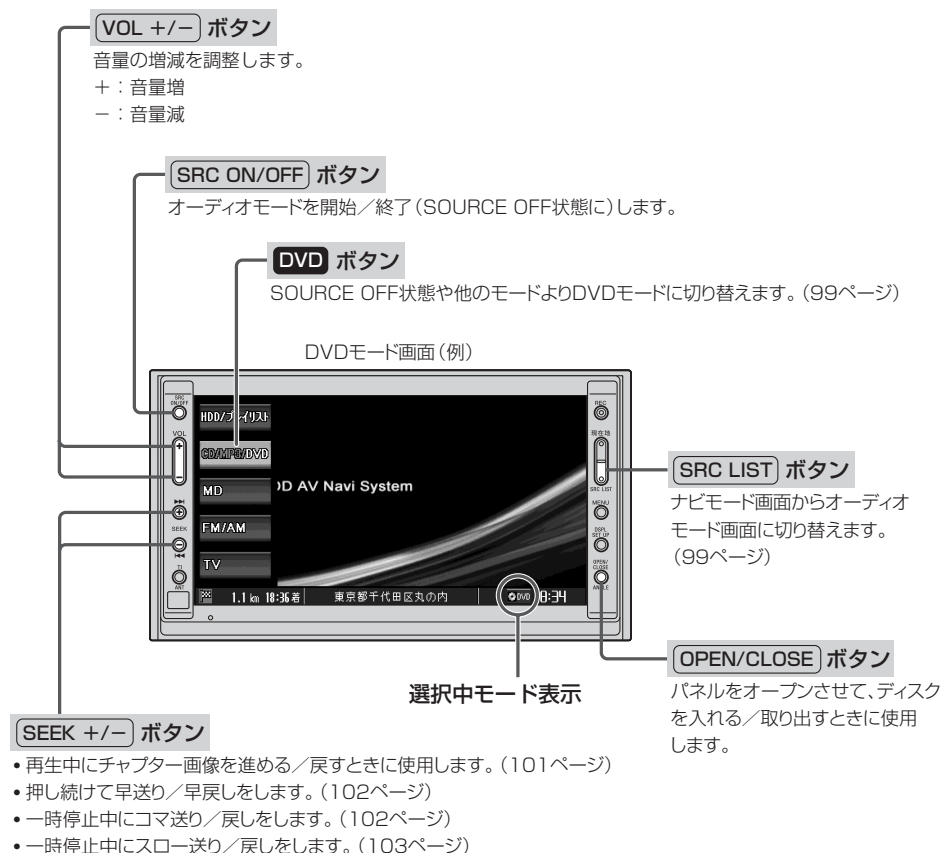
■ディスクの構成について

DVDに収録されている映像や曲は、通常いくつかの区切りに分けられています。大きく分けた区切りをタイトルと言い、それぞれのタイトルには番号(タイトル番号)が付けられています。また、タイトルは小さな区切りのチャプターで構成されており、それぞれのチャプターにも番号(チャプター番号)が付けられています。



DVDプレーヤーを使う(1)

各部の名称とはたらき



※マルチ画面の場合にDVDモードに切り替えるには、**[SRC LIST]**ボタンを押してオーディオモード画面を表示させ、**[DVD]**ボタンをタッチしてください。

DVD

〔DVDプレーヤーについて〕〔DVDプレーヤーを使う〕

DVDプレーヤーを使う(2)

DVD再生中に画面をタッチすると操作ボタンが表示されます。🖱️(下記全てタッチパネル操作)

操作ボタン1表示画面



HIDE ボタン ※1

画面に表示される操作ボタンを消します。

次へ▶ ボタン ※1

次ページの操作ボタンを表示します。
(操作ボタン2表示画面)

音声 ボタン

(DVDビデオ再生中のみ) タッチすることにより、ディスクに収録されている音声言語リストの中で、音声言語が切り替わります。(110ページ)

字幕 ボタン

(DVDビデオ再生中のみ) タッチすることにより、ディスクに収録されている字幕言語リストの中で、字幕言語が切り替わります。(111ページ)

メニュー ボタン

DVDビデオ再生中にタッチすると、DVDメニュー画面になります。(104ページ)

再生/一時停止 ボタン (▶||)

再生中にタッチすると、映像・音声が一時的に止まります。もう一度タッチすると再び再生が始まります。
(101ページ)

停止 ボタン (■)

再生中にタッチすると、再生をやめます。
(100ページ)

※1 操作ボタン2表示画面



次へ▶ ボタン ※2

次ページの操作ボタンを表示します。
(操作ボタン3表示画面)

ENTER ボタン

画面で選んだ項目を実行します。

タイトル ボタン

DVDビデオ再生中にタッチするとタイトルメニュー画面になります。(106ページ)

アングル ボタン

タッチすることにより、アングルが切り替わります。
(112ページ)

※2 **◀前へ ボタン**

操作ボタン1の画面を表示します。

※3 **カーソル ボタン**

カーソルキーを表示させ、画面で項目を選ぶときに使用します。

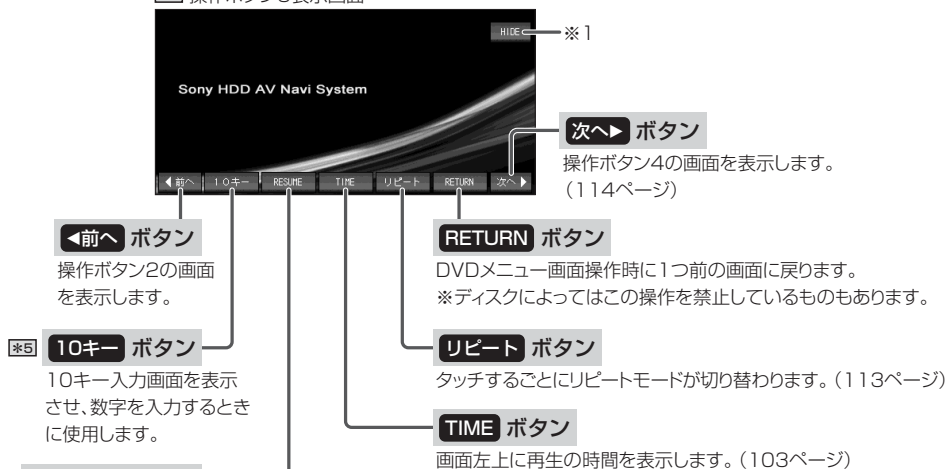
※4 **サーチ ボタン**

タイトル/チャプターサーチ、タイムサーチの選択画面を表示します。(108、109ページ)

※4 サーチ選択画面



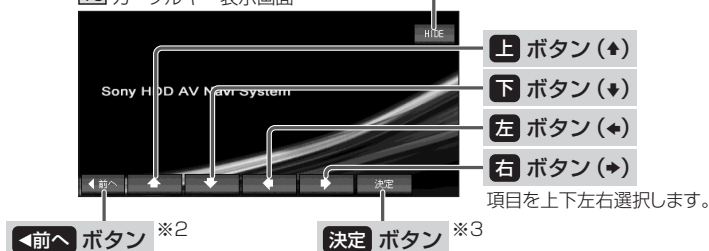
※2 操作ボタン3表示画面



※5 10キー入力画面



※3 カーソルキー表示画面

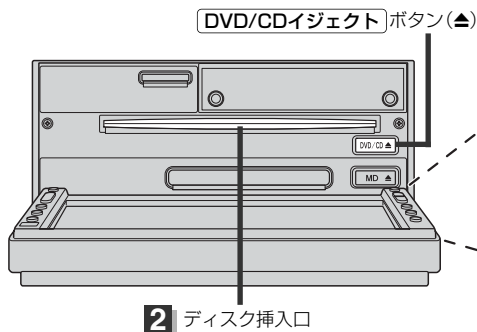


前へ ボタン ※2 操作ボタン2の画面を表示します。

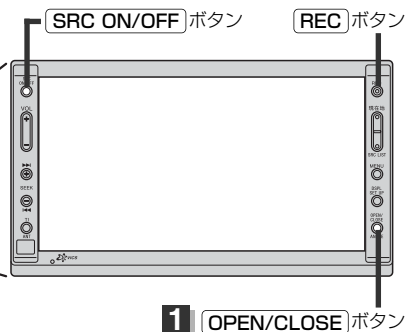
決定 ボタン ※3 画面で選んだ項目を決定(実行)します。

DVDプレーヤーを使う(3)

[ディスプレイが開いた状態]



[ディスプレイが閉じた状態]



再生を始める



安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみ映像をご覧になることができます。(走行中は音声のみになります。)

DVDモード画面(走行中)(例)



■ ディスク未挿入の場合

1

パネルの「OPEN/CLOSE」ボタンを押す。

：ディスプレイが開きます。

2

ディスク挿入口にDVDディスクを差し込む。

：自動でディスプレイが閉じ、DVDの再生を始めます。

☞ 「ディスクを入れる／取り出すには」 本編27ページ



アドバイス

- すでにディスクが入っているときは、そのディスクを取り出してから、次のディスクを入れてください。DVD／CD／MP3ディスクは同時には入りません。
- DVDの再生が始まるまで、しばらく時間がかかることがあります。

■ 他のモード画面を表示している場合

- オーディオモード画面またはSOURCE OFF (オーディオモード終了)の場合は…

画面の **DVD** ボタンをタッチする。

：DVDの再生を始めます。



SRC LIST ボタン

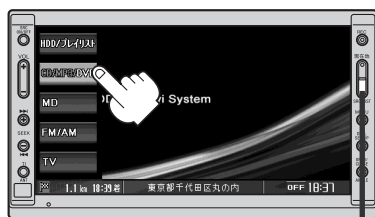
👉 アドバイス

TVモード画面の場合は、画面をタッチするか、パネルの **SRC LIST** ボタンを押してオーディオモード画面を表示させ、画面の **DVD** ボタンをタッチしてください。モード表示は約5秒間表示されます。

- ナビモード画面の場合は…

パネルの **SRC LIST** ボタンを押して
オーディオモードにし、画面の **DVD**
ボタンをタッチする。

：DVDの再生を始めます。



SRC LIST ボタン

3 音量と映像(明るさ/黒レベル/色の濃さ/色合い/画面設定)を調整する。

👉 「音量を調整するには」 11ページ

「映像の調整のしかた」 15～17ページ にしたがって、調整してください。

👉 アドバイス

DVDビデオによっては、タイトルメニュー/DVDメニュー画面が表示される場合があります。

👉 「タイトルメニューを使う」 106ページ

「DVDメニューを使う」 104ページ

DVDプレーヤーを使う(4)

DVDを止める

1 パネルの **SRC ON/OFF** ボタンを押す。

：画面に“SOURCE OFF”と表示され、DVDの再生を止めます。(オーディオモード終了)

再生を止める

1 画面をタッチする。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。

2 画面の **停止** ボタン(■)をタッチする。

：再生を止めます。(続き再生機能が働きます。)



続き再生機能

- 再生中に **停止** ボタン(■)をタッチすると、本機は、再生を止めた位置をメモリーします。これを続き再生機能と呼びます。この機能が働いている間は、画面に“▶▶ ボタンでつづきから再生します”を表示し、映像／音声を止めます。**再生／一時停止** ボタン(▶▶)をタッチすると、再生を止めた続きから、再生が始まります。
- 続き再生機能は、再度 **停止** ボタン(■)をタッチするかディスクイジェクト(取り出す)操作で解除されます。

3 再び再生を始めるには…

画面の **再生／一時停止** ボタン(▶▶)をタッチする。

：続き再生機能が働いている場合は、再生を止めた続きから再生します。
続き再生機能が働いていない場合は、ディスクの最初から再生します。

再生を一時停止(静止)する

操作ボタン1表示画面

1

画面をタッチする。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。

2

画面の **再生／一時停止** ボタン(▶||)をタッチする。

：画面に || を表示し、映像を静止します。
(音声も止まります。)



3

再び再生を始めるには…

画面の **再生／一時停止** ボタン(▶||)をタッチする。

：再生を止めた続きから再生します。

再生中にチャプターを進める／戻す

1

パネルの **SEEK +/-** ボタン(▶▶I/I◀◀)を押す。

■ 次のチャプターに進む場合

▶▶Iを押す。

：次のチャプターに進みます。

■ 前のチャプターに戻る場合

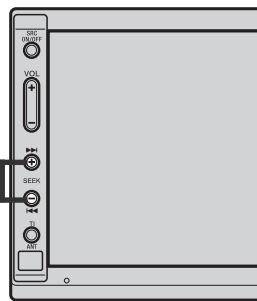
I◀◀を2回押す。

：1つ前のチャプターに戻ります。

※1回押した場合は、再生中のチャプターの頭に戻ります。



1 **SEEK +/-** ボタン(▶▶I/I◀◀)



DVD

「DVDプレーヤーを使う」



アドバイス

- ・チャプターとは、DVDビデオに収録されている音声や映像の小さな区切りです。
- ・ディスクによっては、この機能を禁止しているチャプターが収録されているものもあります。

DVDプレーヤーを使う(5)

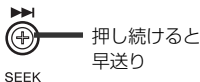
早送り／早戻しをする

1 パネルの **SEEK +/-** ボタンを押し続ける。

：通常の6倍の早さで早送り／早戻しをします。

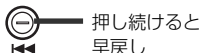
■ 早送りで進む場合

＋を押し続ける。
：早送りで進みます。

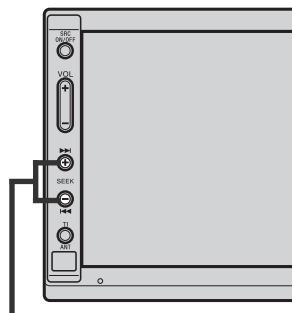


■ 早戻しで戻る場合

－を押し続ける。
：早戻しで戻ります。



1 **SEEK +/-** ボタン(▶▶/◀◀)



👉 アドバイス

それぞれ、ボタンから手を離れたところで通常再生を始めます。

コマ送り／コマ戻しをする *

1 画面をタッチする。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。

2 画面の **再生／一時停止** ボタン(▶||)をタッチする。



操作ボタン1表示画面

3 パネルの **SEEK +/-** ボタンを押して、コマ送り／コマ戻しをします。

■ コマ送りをする場合

＋を押す。：押すごとに映像を1コマずつ送ります。

■ コマ戻しをする場合

－を押す。：押すごとに映像を1コマずつ戻します。

※通常再生をするには画面の **再生／一時停止** ボタン(▶||)をタッチします。

*印：この操作中音声は出ません。また、ディスクによってはこの操作を禁止しているものもあります。

スロー送り／スロー戻しをする *

1 102ページの **コマ送り／コマ戻しをする** 手順 **1**、**2** にしたがって操作し、手順 **3** のときパネルの **SEEK +/-** ボタンを押し続ける。

■ **スロー送りをする場合** **+**を押し続ける。：スロー送りで進みます。

■ **スロー戻しをする場合** **-**を押し続ける。：スロー戻しで戻ります。

※ボタンを離すと通常再生に戻ります。

*印：この操作中音声は出ません。また、ディスクによってはこの操作を禁止しているものもあります。

時間の表示を替える

画面に表示する時間の種類を選ぶことができます。

- **TITLE ELAPSED**.....タイトルの経過時間を表示
- **CHAPTER ELAPSED**チャプターの経過時間を表示
- **TITLE REMAIN**タイトルの残時間を表示
- (表示なし)

1 再生中に画面をタッチする。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。

2 画面の **次へ▶** ボタンを2回タッチする。

：操作ボタン3表示画面が表示されます。

3 画面の **TIME** ボタンをタッチする。

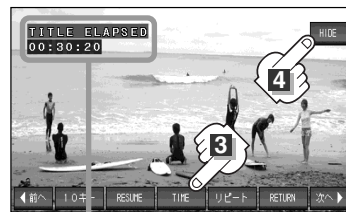
：タッチすることにより時間表示が切り替わります。

4 画面の操作ボタンの表示をやめるには…
画面の **HIDE** ボタンをタッチする。

操作ボタン1表示画面



操作ボタン3表示画面



時間表示(例)

「DVDプレーヤーを使う」

■ **時間表示をやめる場合**

手順 **1** ～ **3** にしたがって操作し、時間の種類の表示をやめてください。

DVDプレーヤーを使う(6)

DVDメニューを使う

DVDビデオによっては、DVDメニューが収録されているものがあります。
この場合は、DVDメニューを使って、好きなシーンを選んで再生することができます。

- 再生中に画面をタッチし、操作ボタン1表示画面を表示させ、画面の**メニュー**ボタンをタッチする。

：DVDメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



- 画面の**次へ**ボタンをタッチする。

：操作ボタン2表示画面が表示されます。



操作ボタン2表示画面



- 画面の**カーソル**ボタンをタッチする。

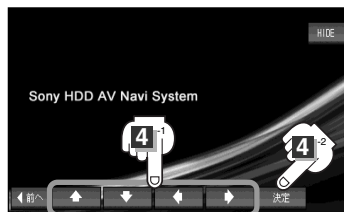
：カーソルキー表示画面が表示されます。

- 画面の**上** (↑) / **下** (↓) / **左** (←) / **右** (→) ボタンをタッチして、項目を選び、**決定** ボタンをタッチする。

：選んだ項目(シーン)の再生が始まります。



カーソルキー表示画面



- さらに選択画面が続く場合は、手順**4**をくり返してください。

- 画面の操作ボタンの表示をやめるには…
画面の**HIDE** ボタンをタッチする。

👉 アドバイス

- ディスクによっては、DVDメニューが収録されていないものもあります。
- DVDメニューはディスクに収録されているため、内容はディスクによって異なりますが、例えば、音声言語／字幕言語／チャプターの選択をしたり、映画解説を再生するなどの操作ができます。
- ディスクによっては、「DVDメニュー」のことを「メニュー」等と表示しているものもあります。
また、手順 **4** で **決定** ボタンをタッチすることを「実行ボタンを押す／選択ボタンを押す」と表示しているものもあります。
- 再生するDVDビデオに付属されている説明書も、合わせてお読みください。

■ DVDメニューの操作を終わる／途中で止める場合 (リジューム再生)

- 手順 **1** でDVDメニュー画面を表示している場合

画面の **次へ▶** ボタンを2回タッチ → **RESUME** ボタンをタッチする。

- 手順 **2** で操作ボタン2表示画面を表示している場合

画面の **次へ▶** ボタンをタッチ → **RESUME** ボタンをタッチする。

- 手順 **3** でカーソルキー表示画面を表示している場合

画面の **◀前へ** ボタンをタッチ → **次へ▶** ボタンをタッチ → **RESUME** ボタンをタッチする。

：DVDメニューが表示される前の場面の続きから、再生を始めます。

※ディスクによっては、続きから再生できないものもあります。詳しくは、再生するディスクに付属されている説明書をお読みください。



DVDプレーヤーを使う(7)

タイトルメニューを使う

複数のタイトルに分かれているDVDビデオによっては、タイトルメニューが収録されているものがあります。この場合は、タイトルメニューを使って、好きなシーンを選んで再生することができます。
※タイトルとは、DVDビデオに収録されている映像や音声の大きな区切りのことです。

- 1 再生中に画面をタッチし、操作ボタン1表示画面を表示させ、画面の**次へ** ボタンをタッチする。

：操作ボタン2表示画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



- 2 画面の**タイトル** ボタンをタッチする。

：タイトルメニューが表示されます。

操作ボタン2表示画面



- 3 画面の**カーソル** ボタンをタッチする。

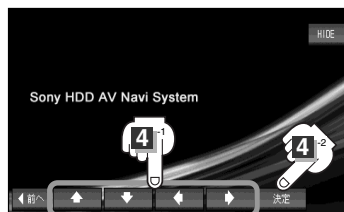
：カーソルキー表示画面が表示されます。

- 4 画面の**上** (↑) / **下** (↓) / **左** (←) / **右** (→) ボタンをタッチして、項目を選び、**決定** ボタンをタッチする。

：選んだタイトルのメニューに収録されているシーンの再生が始まります。



カーソルキー表示画面



- 5 さらに選択画面が続く場合は、手順**4**をくり返してください。

- 6 画面の操作ボタンの表示をやめるには…
画面の**HIDE** ボタンをタッチする。

👍 アドバイス

- ディスクによっては、タイトルメニューが収録されていないものもあります。
- タイトルメニューは、ディスクに収録されているため、内容はディスクによって異なります。
- ディスクによっては「タイトルメニュー」のことを「メニュー」、「タイトル」等と表示しているものもあります。
- タイトルメニューを表示させ(約2分以上)何も操作しないとDVDの再生が始まる場合があります。
- 再生するDVDビデオに付属されている説明書も合わせてお読みください。

■ タイトルメニューの操作を終わる／途中で止める場合(リジューム再生)

- 手順 **2** でタイトルメニュー画面を表示している場合

画面の **次へ▶** ボタンをタッチ → **RESUME** ボタンをタッチする。

- 手順 **3** でカーソルキー表示画面を表示している場合

画面の **◀前へ** ボタンをタッチ → **次へ▶** ボタンをタッチ → **RESUME** ボタンをタッチする。

：タイトルメニューが表示される前の場面の続きから、再生を始めます。

※ディスクによっては、続きから再生できないものもあります。詳しくは、再生するディスクに付属されている説明書をお読みください。



DVD

「DVDプレーヤーを使う」

DVDプレーヤーを使う(8)

好きなところから再生する

タイトル／チャプターおよび経過時間を入力すると、そこから再生を始めます。

- 1 再生中に画面をタッチし、**次へ▶** ボタンをタッチする。

：操作ボタン2表示画面が表示されます。

- 2 画面の**サーチ** ボタンをタッチする。

：サーチ選択画面が表示されます。

- 3 サーチ選択画面で画面の10キー入力ボタンをタッチして、再生したいタイトル／チャプター／タイム(経過時間)を入力する。

※タイトルとチャプターは**左(◀)**／**右(▶)** ボタンで選択し、タイム(経過時間)は**切替** ボタンをタッチし、タイム(経過時間)入力に切り替え、入力します。

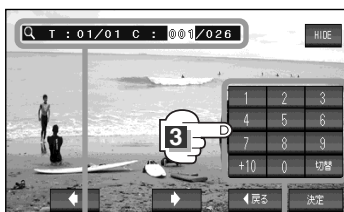
操作ボタン1表示画面



操作ボタン2表示画面



サーチ選択画面(例)



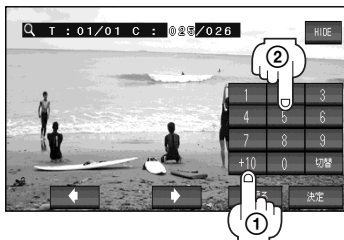
モード表示

10キー入力ボタン

例 チャプター番号“25”を入力する場合

- ① 10キー入力ボタンの**+10** ボタンを2回タッチする。：表示が“020”となります。
- ② 10キー入力ボタンの**5** ボタンをタッチする。：表示が“025”となります。

(例)



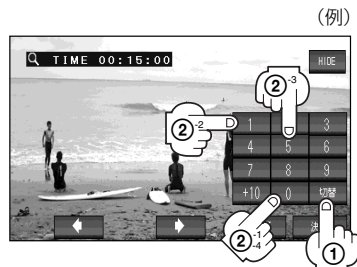
例 タイム(経過時間)入力で“15分目”を再生する場合

①手順 **2** でサーチ選択画面を表示させたとき
画面の **切替** ボタンをタッチする。

：タイム(経過時間)入力画面になります。

②10キー入力ボタンで **0**、**0**、**1**、**5**、**0**、**0** とタッチする。

：表示が“TIME __:__:__” → “TIME 00:15:00” となります。

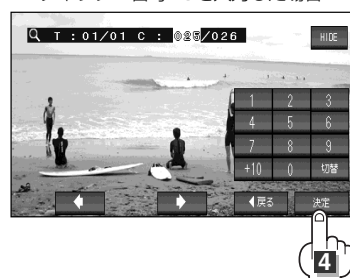


4

画面の **決定** ボタンをタッチする。

：入力したチャプター番号／タイトル番号／タイム
(経過時間)から再生を始めます。

チャプター番号25を入力した場合



5

画面の操作ボタンの表示をやめるには…

画面の **HIDE** ボタンをタッチする。



アドバイス

- ・約10秒間、なにも操作をしなかった場合、モード表示は消えて、この操作を終了してしまいます。その場合は、画面の **切替** ボタンをタッチし、もう一度手順 **3** (108ページ) からやり直してください。
- ・数字の入力はモード表示が表示されている時のみ有効です。
- ・間違った数字を入力した場合は、サーチモードが解除されますので、画面の **切替** ボタンをタッチし、もう一度手順 **3** (108ページ) からやり直してください。
- ・ディスクに収録されていないタイトル／チャプター／タイム(経過時間)を入力すると、この操作は、解除となります。
- ・ディスクによっては、この機能を禁止しているものもあります。

DVD

「DVDプレーヤーを使う」

DVDプレーヤーを使う(9)

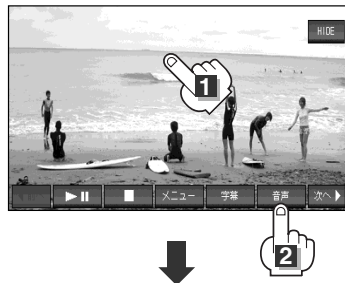
音声言語を切り替える

ディスクによっては複数の音声言語が収録されているものもあります。この場合は下記にしたがって言語を選んでください。

1

再生中に画面をタッチする。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



2

2

画面の **音声** ボタンをタッチする。

：タッチすることにより、ディスクに収録されている音声言語リストの中で、音声言語が切り替わります。



音声言語リスト(例)



アドバイス

- 音声言語は、DVDメニュー(104ページ)や初期設定(117ページ)でも切り替えられます。
- ディスクによっては、上記(手順 1、2)の操作では、音声言語の切り替えができないものもあります。この場合は、DVDメニュー(104ページ)または初期設定(117ページ)で切り替えてください。

字幕言語を切り替える

ディスクによっては、字幕が収録されているものもあります。

この場合は、字幕を表示する／しないを選ぶことができます。また、ディスクによって、複数の字幕言語が収録されているものもあり、この場合は好きな言語を選ぶことができます。

1 再生中に画面をタッチする。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



2 画面の「字幕」ボタンをタッチする。

：タッチするごとに、ディスクに収録されている字幕言語リストの中で、字幕言語が切り替わります。



字幕言語リスト(例)

👉 アドバイス

- ディスクによっては、字幕を変更したり消したりすることを禁止しているものもあります。
- 字幕言語は、DVDメニュー(📄 104ページ)や初期設定(📄 117ページ)でも切り替えられます。
- ディスクによっては、上記(手順 1、2)の操作では、字幕言語の切り替えができないものもあります。この場合は、DVDメニュー(📄 104ページ)または初期設定(📄 117ページ)で切り替えてください。

DVD

「DVDプレーヤーを使う」

DVDプレーヤーを使う(10)

アングル(角度)を切り替える

ディスクによっては、同じ場面が複数のアングルで収録されているもの(マルチアングル収録)もあります。この場合は、好きなアングルに切り替えて見ることができます。

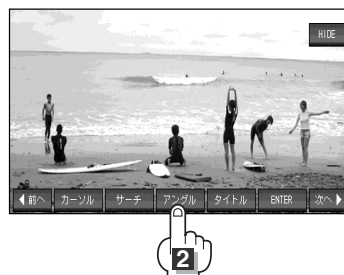
- 1 再生中に画面をタッチし、操作ボタン1表示画面を表示させ、画面の**次へ▶**ボタンをタッチする。

：操作ボタン2表示画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



操作ボタン2表示画面



- 3 画面の操作ボタンの表示をやめるには…
画面の**HIDE**ボタンをタッチする。



アドバイス

- マルチアングル映像が収録されていないディスクでは、“アングル”を選ぶことはできません。
- 収録されている総アングル数は、ディスクによっても、場面によっても異なります。

リピート(繰り返し)再生する

再生中のチャプター／タイトルを繰り返すことができます。

■ CHAPTER REPEAT ……再生中のチャプターを繰り返す

■ TITLE REPEAT ON ……再生中のタイトルを繰り返す

■ REPEAT OFF ……リピート再生しない

※ディスクによっては、リピートの種類を選んでも、リピート再生ができないものもあります。

1 再生中に画面をタッチする。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。

2 画面の **次へ▶** ボタンを2回タッチする。

：操作ボタン3表示画面が表示されます。

3 画面の **リピート** ボタンをタッチする。

タッチするごとにモードが切り替わります。

4 画面の操作ボタンの表示をやめるには… 画面の **HIDE** ボタンをタッチする。

操作ボタン1表示画面



操作ボタン3表示画面



リピートモード表示



■ 通常の再生に戻す場合

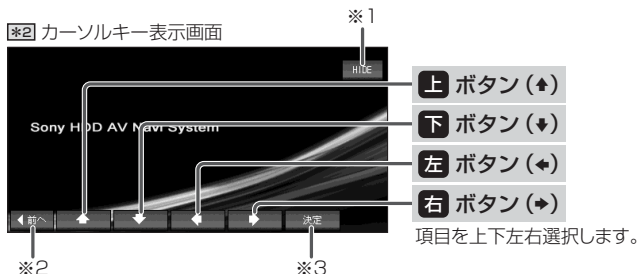
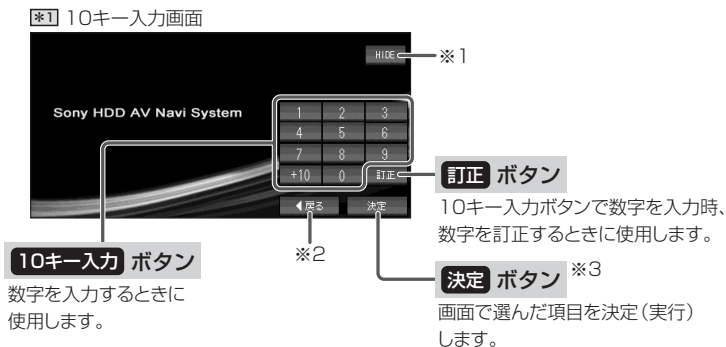
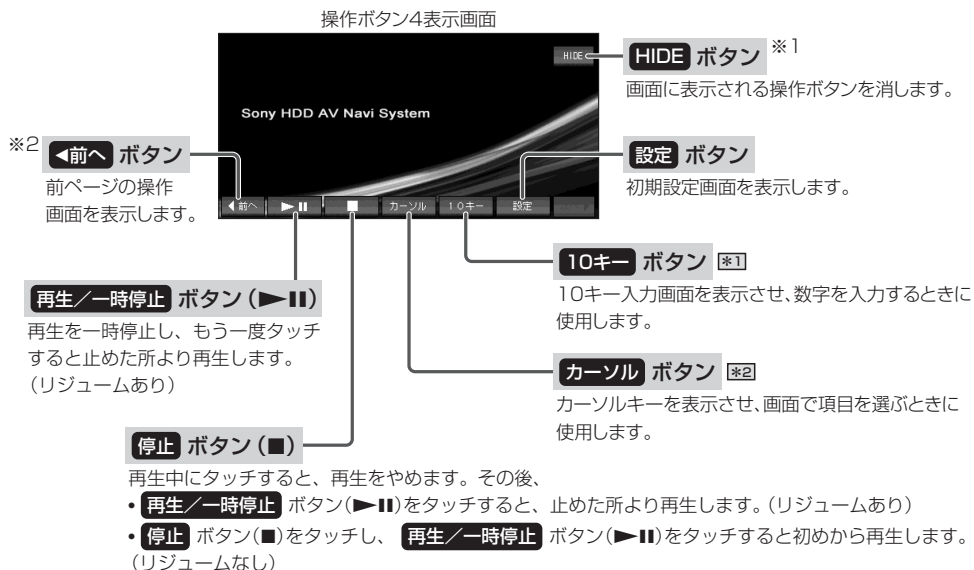
手順 **1** ~ **3** にしたがって操作し、“REPEAT OFF” を選ぶ。

DVDの初期設定について(1)

各部の名称とはたらき

■再生停止中に初期設定を変更することができます。

※マルチ画面を表示させている場合、初期設定はできません。



初期設定を変更する

- 再生中に画面をタッチし、操作ボタン1表示画面を表示させ、**停止** (■) ボタンをタッチし再生停止画面にして **次へ** ボタンを3回タッチする。

：操作ボタン4表示画面が表示されます。

- 画面の **設定** ボタンをタッチする。

：設定画面が表示されます。

- 画面の **カーソル** ボタンをタッチし、カーソルキー表示画面を表示させ、カーソルキー(**上** (↑)/**下** (↓))をタッチして設定する項目を選び、**決定** ボタンをタッチする。

操作ボタン1表示画面



操作ボタン4表示画面



設定画面



DVD

〔DVDの初期設定について〕

選んだ項目	設定できる内容
言語設定	<ul style="list-style-type: none"> 音声言語：DVDビデオ再生時の音声言語の切り替え 字幕言語：DVDビデオ再生時の字幕言語の切り替え メニュー言語：DVDメニューの表示言語の切り替え 初期設定言語：初期設定の表示言語の切り替え
オーディオ設定	<ul style="list-style-type: none"> ダイナミックレンジ：DVDビデオ再生時、小さい音量でも迫力のある音にすることができます。 (ドルビーデジタルの音声のみ)
画面設定	<ul style="list-style-type: none"> TVアスペクト：DVDビデオ再生時の画像のアスペクト比の切り替え
パレンタル設定	<ul style="list-style-type: none"> レベル：視聴制限レベルの設定 パスワードの変更：視聴制限レベルの設定を他の人が変えられないようにするためのパスワードの変更

DVDの初期設定について(2)

4

手順 3 で、

“言語設定”を選んだ場合 → 117ページへ進む。

“オーディオ設定”を選んだ場合 → 119ページへ進む。

“画面設定”を選んだ場合 → 120ページへ進む。

“パレンタル設定”を選んだ場合 → 121ページへ進む。



アドバイス

- 設定した内容は変更しない限り保持されます。(電源を切っても保持されます。)
- ディスクによっては再生停止中に初期設定を変更しても切り替えができないものもあります。
この場合は **停止** ボタン(■)を2回タッチしてディスクを停止させ、再生をする前に各々の初期設定をしてからディスクを再生させてください。
* 再生途中の場合、ディスク頭に戻ります。

- 言語／オーディオ／画面／パレンタル設定時に、1つ前の選択画面に戻るには

画面のカーソルキー **上** (↑) / **下** (↓) ボタンで
“メインページへ”を選び **決定** ボタンをタッチする。



- 初期設定画面を終わる／途中で止めるには

画面のカーソルキー **上** (↑) / **下** (↓) ボタンで
“設定終了”を選び **決定** ボタンをタッチする。

：再生停止画面に戻ります。

※再び再生させるには……

画面の **◀前へ** ボタンをタッチ → **再生／一時停止** ボタン (**▶||**) をタッチすると再生を止めた所より再生します。
(操作ボタンの表示をやめるには **HIDE** ボタンをタッチしてください。)



■ 手順 3 (115ページ)で“言語設定”を選んだ場合

- 4** 画面のカーソルキー **上** (↑) / **下** (↓) ボタンで設定を変更する項目を選び、
右 (→) ボタンをタッチする。



“音声言語”を選ぶと… DVDビデオの音声言語を切り替えることができます。

“字幕言語”を選ぶと… DVDビデオの字幕言語の切り替えができます。

“メニュー言語”を選ぶと… DVDビデオに収録されているDVDメニューの表示言語の切り替えができます。

“初期設定言語”を選ぶと… 初期設定の表示言語の切り替えができます。

- 5** 手順 4 で“音声言語”/“字幕言語”/“メニュー言語”を選んだ場合カーソルキー **上** (↑) / **下** (↓) ボタンで、言語を選び **決定** ボタンをタッチする。

□ JAを選んだ場合

言語コード設定画面が表示されます。言語コード表(118ページ)を参照し、言語NOを入力します。

- ① **前へ** ボタンをタッチし操作ボタン4表示画面を表示させ、**10キー** ボタンをタッチする。

- ② 10キーボタンをタッチして数字を入力し、入力が終わったら **決定** ボタンをタッチする。

：言語設定画面に戻ります。



DVD

〔DVDの初期設定について〕

アドバイス

- 間違った言語コードを入力すると“言語コードが間違っています”と表示されます。再度正しいコードを入力し直してください。
- 入力した数字を訂正するときは **訂正** ボタンをタッチして数字を再入力してください。
- 工場出荷時の言語は“JA(日本語)”に設定されています。
- “オリジナル”を選んだ場合は、再生するディスクで優先されている言語で再生されます。

DVDの初期設定について(3)

言語コード表

コード	言語	コード	言語	コード	言語
1027	AA アファル語	1239	IE 国際語	1481	RN キルンディ語
1028	AB アブバジア語	1245	IK Inupiak語	1482	RO ルーマニア語
1032	AF アフリカーンス語	1248	IN インドネシア語	1483	RU ロシア語
1039	AM アムハラ語	1253	IS アイスランド語	1489	RW キニヤルワンダ語
1044	AR アラビア語	1254	IT イタリア語	1491	SA サンスクリット語
1045	AS アッサム語	1257	IW ヘブライ語	1495	SD シンド語
1051	AY アイマラ語	1261	JA 日本語	1498	SG サンゴ語
1052	AZ アゼルバイジャン語	1269	JL イディッシュ語	1501	SH セルビアクロアチア語
1053	BA バシキール語	1283	JW ジャワ語	1502	SI シンハラ語
1057	BE ベラルーシ語	1287	KA グルジア語	1503	SK スロバキア語
1059	BG ブルガリア語	1297	KK カザフ語	1505	SL スロベニア語
1060	BH ビハーリー語	1298	KL グリーンランド語	1506	SM サモア語
1061	BI ビスラマ語	1299	KM カンボジア語	1507	SN ショナ語
1066	BN ベンガル、バングラ語	1300	KN カナダ語	1508	SO ソマリ語
1067	BO チベット語	1301	KO 韓国語	1509	SQ アルバニア語
1070	BR ブルトン語	1305	KS カシミール語	1511	SR セルビア語
1079	CA カタロニア語	1307	KU クルド語	1512	SS シスワティ語
1093	CO コルシカ語	1311	KY キルギス語	1513	ST セストゥ語
1097	CS チェコ語	1313	LA ラテン語	1514	SU スンダ語
1103	CY ウェールズ語	1326	LN リンガラ語	1515	SV スウェーデン語
1105	DA デンマーク語	1327	LO ラオス語	1516	SW スワヒリ語
1109	DE ドイツ語	1332	LT リトアニア語	1517	TA タミール語
1130	DZ ブータン語	1334	LV ラトビア、レット語	1521	TE テルグ語
1142	EL ギリシャ語	1345	MG マダガスカル語	1525	TG タジク語
1144	EN 英語	1347	MI マオリ語	1527	TH タイ語
1145	EO エスペラント語	1349	MK マケドニア語	1528	TI ティグリニャ語
1149	ES スペイン語	1350	ML マラヤーラム語	1529	TK トゥルクメン語
1150	ET エストニア語	1352	MN モンゴル語	1531	TL タガログ語
1151	EU バスク語	1353	MO モルダビア語	1532	TN セツワナ語
1157	FA ペルシャ語	1356	MR マラータ語	1534	TO トンガ語
1165	FI フィンランド語	1357	MS マレー語	1535	TR トルコ語
1166	FJ フィジー語	1358	MT マルタ語	1538	TS ツォンガ語
1171	FO フェロー語	1363	MY ミャンマ語	1539	TT タタール語
1174	FR フランス語	1365	NA ナウル語	1540	TW トウィ語
1181	FY フリジア語	1369	NE ネパール語	1543	UK ウクライナ語
1183	GA アイルランド語	1376	NL オランダ語	1557	UR ウルドゥー語
1186	GD スコットランドゲール語	1379	NO ノルウェー語	1564	UZ ウズベク語
1194	GL ガルシア語	1393	OC プロバンス語	1572	VI ベトナム語
1196	GN グアラニ語	1403	OM (アフアン) オロモ語	1581	VO ボラビュク語
1203	GU グジャラート語	1408	OR オリヤー語	1587	WO ウォロフ語
1209	HA ハウサ語	1417	PA パンジャブ語	1613	XH コーサ語
1217	HI ヒンディー語	1428	PL ポーランド語	1632	YO ヨルバ語
1226	HR クロアチア語	1435	PS パシュトー語	1665	ZH 中国語
1229	HU ハンガリー語	1436	PT ポルトガル語	1684	ZU ズール語
1233	HY アルメニア語	1463	QU ケチュア語	1697	
1235	IA 国際語		RM ラエティ=ロマン語		

手順 **4** (117ページ)で“初期設定言語”を選んだ場合

カーソルキー **上** (↑) / **下** (↓) ボタンで英語 / 日本語を選び、**決定** ボタンをタッチする。



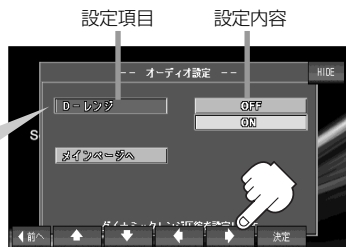
👉 アドバイス

- ディスクに収録されていない言語を選んだ場合は、ディスクに収録されている言語のいずれかで再生されます。
- ディスクによっては、1つの言語しか収録されていないものもあります。
- 音声言語 / 字幕言語は、DVDメニュー (P.104ページ) やタイトルメニュー (P.106ページ)、**音声** ボタン (音声切り替え P.110ページ) や **字幕** ボタン (字幕切り替え P.111ページ) でも切り替えられますが、再生停止 (リジュームなし) したり、ディスクをイジェクト (取り出す) した場合には、あらたに再生を始めたときは、初期設定の言語で再生します。

■ 手順 **3** (115ページ)で“オーディオ設定”を選んだ場合

4 画面のカーソルキー **右** (➡) ボタンをタッチする。

“D-レンジ” を選ぶと…
ドルビーデジタル方式で記録されたDVDビデオ再生時に出力する音の音域を設定できます。



5 カーソルキー **上** (↑) / **下** (↓) ボタンで“OFF” / “ON”を選び、**決定** ボタンをタッチする。



“OFF” : 標準音域で聞くとときに選んでください。
“ON” : 小さい音量でも迫力のある音で楽しみたいときに選んでください。

DVDの初期設定について(4)

■ 手順 3 (115ページ)で“画面設定”を選んだ場合

4

画面のカーソルキー **右 (→)** ボタンをタッチする。

“TVアスペクト” を選ぶと…
DVDビデオ再生時の画像アスペクト比を
切り替えることができます。



5

カーソルキー **上 (↑)** / **下 (↓)** ボタン
でアスペクト比を選び、 **決定** ボタンを
タッチする。

(16:9ワイド / 4:3レターボックス /
4:3パン&スキャン)



👉 アドバイス

- ディスクに収録されていないアスペクト比を選んだ場合は、ディスクに収録されているアスペクト比のいずれかで再生されます。また、ディスクによっては、1つのアスペクト比しか収録していないものもあります。再生するディスクの説明書をご確認ください。
- 映像出力端子にノーマルモニターを接続してご使用のときに、“16:9ワイド”に設定すると、画像が不自然になることがあります。ノーマルモニターをご使用の場合は、“4:3レターボックス”または“4:3パン&スキャン”に設定してください。
- 映像出力端子にワイドモニターを接続してご使用のときに、“Full”またはこれに相当するモードにして、本機を“4:3レターボックス”または“4:3パン&スキャン”に設定すると、画像が不自然になります。ワイドモニターで、“4:3レターボックス”や“4:3パン&スキャン”の映像を見る場合は、ワイドモニターを、画面の縦横の比率が4:3になるモード(メーカーによって名称が異なりますが、例えば、“Normal mode”等。)に設定してください。

⚠ 注意

お客様が個人的に視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴されることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

■ 手順 3 (115ページ)で“パレンタル設定”を選んだ場合

- 4** 画面のカーソルキー **上** (↑) / **下** (↓) ボタンで設定を変更する項目を選び、
右 (→) ボタンをタッチする。



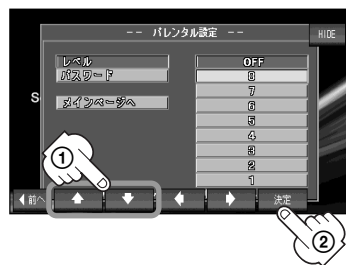
“レベル”を選ぶと… 視聴制限が収録されているDVDビデオの視聴制限レベルの設定ができます。
“パスワードの変更”を選ぶと… パスワードの変更ができます。

5 □ 手順 4 で“レベル”を選んだ場合

カーソルキー **上** (↑) / **下** (↓) ボタンで視聴制限レベルを選び、
決定 ボタンをタッチする。

視聴制限レベル	“OFF”-パレンタル制限を無効
	“8”-すべてのDVDビデオの再生可
	“7”
	“6”
	“5” 子供向／一般向のみ再生可
	“4”
	“3”
	“2”
	“1”-子供向のみ再生可(一般向／成人向再生は禁止)

下にいくほど制限が厳しくなる



※視聴制限を解除してディスクを再生する場合は、“OFF”を選択してください。

レベルを変更すると…

レベルを変更すると、パスワード確認画面が表示されます。画面の **◀前へ** ボタンをタッチして操作ボタン4表示画面を表示させ、画面の **10キー** ボタンをタッチして10キーを表示させ、現在のパスワードを入力し、**決定** ボタンをタッチしてください。

※パスワード確認画面を止めたい場合は、画面の **◀前へ** ボタンを2回タッチして操作ボタン3表示画面を表示させ、画面の **RETURN** ボタンをタッチしてください。

：パレンタル設定画面に戻ります。

👉 アドバイス

- ・間違ったパスワードを入力すると“パスワードが違います”と表示されます。再度正しいパスワードを入力し直してください。
- ・パスワードを入力しないかぎり、レベルを変更することはできません。
- ・工場出荷時の(現在の)パスワードは“0000”となっています。(現在のパスワードは変更することができます。(次ページ参照))

DVD

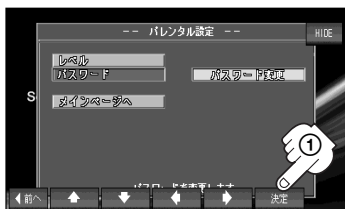
〔DVDの初期設定について〕

DVDの初期設定について(5)

□ 手順 4 で “パスワードの変更” を選んだ場合

①画面の **決定** ボタンをタッチする。

：パスワード変更画面が表示されます。



②画面の **◀前へ** ボタンをタッチする。

：操作ボタン4表示画面が表示されます。

パスワード変更画面



③画面の **10キー** ボタンをタッチする。

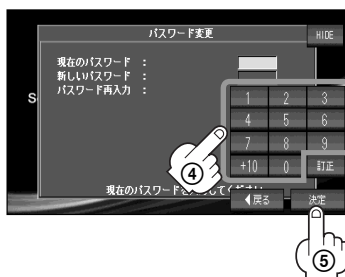
：10キー入力画面が表示されます。

操作ボタン4表示画面



④現在のパスワード／新しいパスワード／パスワード再入力を10キー入力ボタンをタッチして入力する。

10キー入力画面



⑤3つの項目の入力が終わったら **決定** ボタンをタッチする。

：パレンタル設定画面に戻ります。

アドバイス

- 入力した数字を訂正するときは **訂正** ボタンをタッチして数字を再入力してください。
- 正しいパスワードを入力しない限り、パレンタル設定ができなくなります。
変更したパスワードは、忘れないでください。
- 視聴制限が収録されていないディスクの場合は、本機で再生を制限することはできません。
- パスワード変更画面を止めたい場合は、画面の **◀前へ** ボタンを2回タッチして操作ボタン3表示画面を表示させ、画面の **RETURN** ボタンをタッチしてください。
：パレンタル設定画面に戻ります。
- パスワードを忘れてしまったら…
現在のパスワードに “0000” を入力してください。

ラジオを使う(1)

各部の名称とはたらき

VOL +/- ボタン

音量の増減を調整します。

＋：音量増

－：音量減

SRC ON/OFF ボタン

オーディオモードを開始／終了
(SOURCE OFF状態)にします。

FM/AM ボタン

SOURCE OFF状態や他の
モードよりFM／AMモードに
切り替えます。

エリア表示 ボタン (1～6)

エリア選局画面でエリアが **エリア表示** ボタン
(1～6)に表示されます。(127ページ)

プリセット ボタン (1～6)

1.5秒以上タッチで好きな放送局をメモリー
します。(128、129ページ)

※呼び出しは、メモリーしたボタンを軽く(1.5秒未満)
タッチします。

SRC LIST ボタン

ナビモード画面からオーディオモード
画面に切り替えます。
(125ページ)

SEEK +/- ボタン

ラジオの選局に使用します。
(128ページ)

TI ボタン

道路交通情報
を受信します。
(131ページ)

次のエリア ボタン

エリアが7局以上ある場合、次のエリアを表示
します。(127ページ)

更新 ボタン

エリア ボタンで表示させた放送局を最新の情報
(放送局)で表示し直します。(127ページ)

エリア ボタン

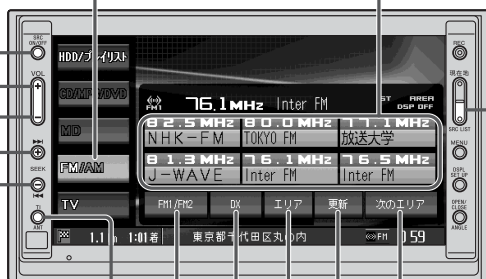
現在地マーク周辺で放送されている放送局を **エリア表示**
ボタン(1～6)に表示します。(127ページ)
※選択時表示灯黄色に点灯します。

FM1/FM2 ボタン (AM1/AM2 ボタン)

タッチするたびにバンドが
FM1 ↔ FM2または
AM1 ↔ AM2と切り替わります。
(126ページ)

DX ボタン

ラジオの自動選局の感度を切り替えます。(130ページ)
※選択時表示灯黄色に点灯します。



DVD

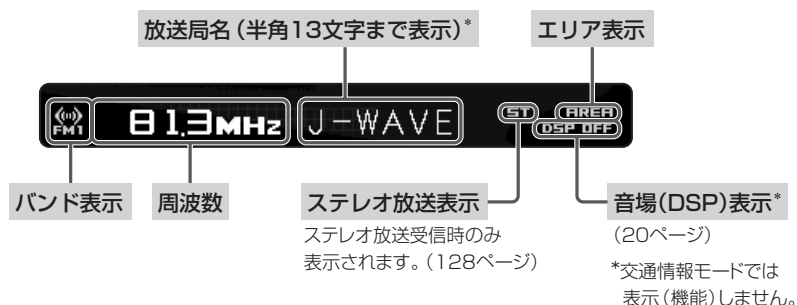
ラジオ

「DVDの初期設定について」ラジオを使う

※マルチ画面の場合にラジオモードに切り替えるには、**SRC LIST**ボタンを押して
オーディオモード画面を表示させ、**FM/AM**ボタンをタッチしてください。

ラジオを使う(2)

表示部について



※放送局名は、ナビモード画面の現在地マークのある場所の放送局名を表示しますが、全ての放送局の名称が表示されるわけではありません。

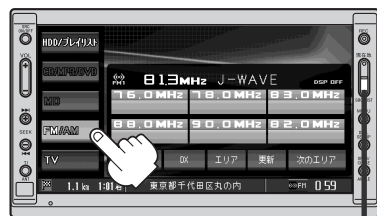
ラジオを聞く

■ 他のモード画面を表示している場合

- オーディオモード画面またはSOURCE OFF (オーディオモード終了)の場合は…

画面の **FM/AM** ボタンをタッチする。

：ラジオ放送を受信します。



SRC LIST ボタン

👉 アドバイス

TVモード画面の場合は、画面をタッチするか、パネルの **SRC LIST** ボタンを押し、DVDモード画面の場合はパネルの **SRC LIST** ボタンを押ししてモードを表示させ、画面の **FM/AM** ボタンをタッチしてください。モード表示は約5秒間表示されます。

- ナビモード画面の場合は…

パネルの **SRC LIST** ボタンを押してオーディオモードにし、画面の **FM/AM** ボタンをタッチする。

：ラジオ放送を受信します。



SRC LIST ボタン

ラジオを切る

- 1 パネルの **SRC ON/OFF** ボタンを押す。

：画面に“SOURCE OFF”と表示され、ラジオ放送を終了します。(オーディオモード終了)

ラジオ

ラジオを使う

ラジオを使う(3)

バンドを選ぶ

FM1/FM2/AM1/AM2の中から聞きたいバンドを選ぶことができます。

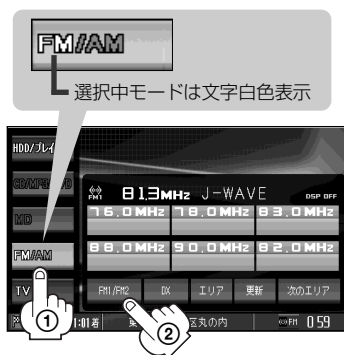
■ FM1/FM2を選ぶ場合

- ① **FM/AM** ボタンで“FM”が選択されていることを確認する。

※ “AM”が選択されている場合は **FM/AM** ボタンをタッチしてFMモードにしてください。タッチするたびにFM↔AMとモードが切り替わります。

- ② **FM1/FM2** ボタンをタッチする。

：タッチするたびにバンドがFM1↔FM2と切り替わります。



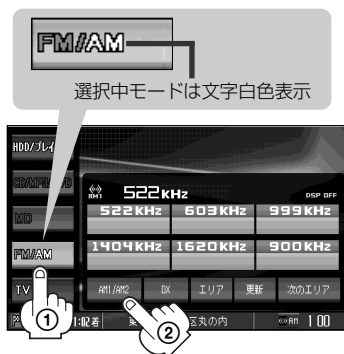
■ AM1/AM2を選ぶ場合

- ① **FM/AM** ボタンで“AM”が選択されていることを確認する。

※ “FM”が選択されている場合は **FM/AM** ボタンをタッチしてAMモードにしてください。タッチするたびにFM↔AMとモードが切り替わります。

- ② **AM1/AM2** ボタンをタッチする。

：タッチするたびにバンドがAM1↔AM2と切り替わります。



選局する

■ エリア選局で放送局を選ぶ場合

ナビモード画面の現在地マークのあるエリアで放送されている放送局を呼び出すことができます。

① ラジオモード画面で画面の

エリア ボタンをタッチする。

ラジオモード画面(例)



選択時黄色表示

：現在地周辺のエリアで放送されている放送局が **エリア表示** ボタンに表示されます。

② 画面の **更新** ボタンをタッチする。

エリア表示 ボタン
※エリアが6件に満たない場合、表示ボタンの数も減ります。

エリア表示 ボタン



エリアが7局以上ある場合、次のエリアを表示する

：エリアが更新され、現在地周辺の最新エリアの放送局が表示されます。

③ **エリア表示** ボタンの中で聞きたい放送局をタッチする。

：ラジオ放送を受信します。

※エリアが7件以上ある場合は **次のエリア** ボタンをタッチして、次の放送局を表示させることができます。

前のリストに戻る場合は **前のエリア** ボタンをタッチします。

👍 アドバイス

※表示された放送局がかならず受信されるわけではありません。

※地域によって放送局の数異なりますので、全てのエリア表示ボタンに表示されるとは限りません。

※放送局名を表示したとき、同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域では、重複した放送局が表示されることがあります。

※リストが7局以上ない場合 **次のエリア** ボタンは表示されません。

ラジオ

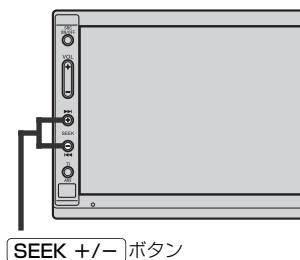
ラジオを使う

ラジオを使う(4)

■ 手動選局で放送局を選ぶ場合

パネルの **SEEK +/-** ボタンを押す。

：ボタンを押すたびに、FMは0.1MHz、AMは9kHzずつ変わります。



■ 自動選局で放送局を選ぶ場合

パネルの **SEEK +/-** ボタンを0.7秒以上押す。

：自動選局を始め、放送局を受信すると、自動的に止まります。

希望の放送局が見つかるまで、この操作を繰り返してください。

※自動選局中に **SEEK +/-** ボタンを押すと、自動選局は止まります。



アドバイス

- ・選局中は表示部に“サーチ中”と表示されます。
- ・FMステレオ放送を受信すると **ST** が表示されます。
- ・受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。

■ プリセット選局で放送局を選ぶ場合

プリセット ボタンにメモリーした放送局を呼び出すことができます。

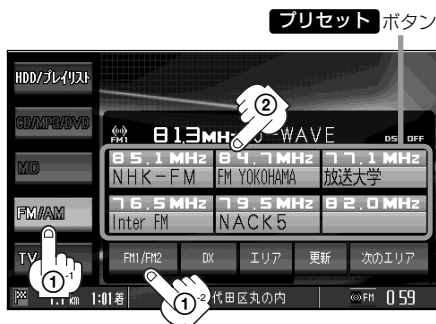
：あらかじめ **プリセット** ボタンに放送局をメモリーしておく必要があります。

☞ 「 **プリセットボタンにメモリーする** 」 129ページ

①バンドを選ぶ。

☞ 「 **バンドを選ぶ** 」 126ページ

②呼び出したい **プリセット** ボタンをタッチする。



プリセットボタンにメモリーする

メモリーしたい局を選び、**プリセット** ボタンにメモリーします。

※FM1、FM2、AM1、AM2バンドで、各ボタンに6局ずつ、計24局メモリーできます。

1 バンドを選ぶ。

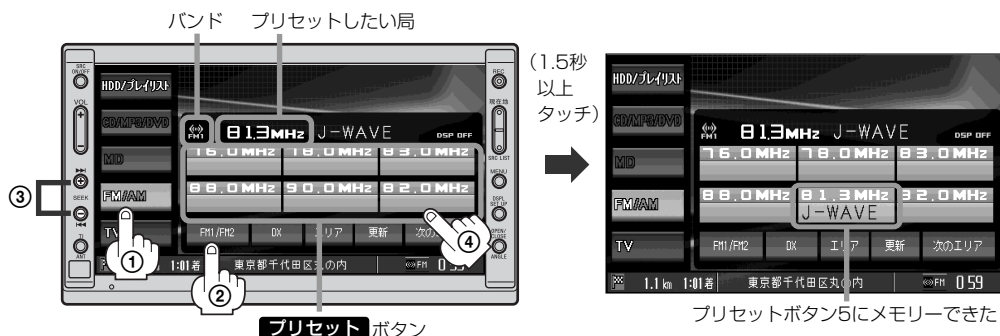
☞ 「**バンドを選ぶ**」 126ページ

2 パネルの**SEEK +/-** ボタンを押して、メモリーしたい局を選ぶ。

☞ 「**選局する** (手動選局／自動選局で放送局を選ぶ)」 128ページ

3 画面の**プリセット** ボタンのうち、メモリーしたいボタンを1.5秒以上(プリセットボタンの表示がメモリーしたい局の表示に変わるまで)タッチする。

例 手順**1** で“FM1”を、また手順**2** で“81.3MHz”を選び、**プリセット** ボタン5にメモリーする場合



アドバイス

- すでにプリセットされているボタンに新たにプリセットすると、それまでの放送局は上書き(消去)されます。
- メモリーした放送局を呼び出すには、バンドを選び、呼び出したい**プリセット** ボタンを軽く(1.5秒未満)タッチします。

☞ 「プリセット選局で放送局を選ぶ場合」128ページ

ラジオを使う(5)

自動選局感度(DX)を切り替える

自動選局時(128ページ)、受信感度を切り替えることができます。

1

画面の **DX** ボタンをタッチする。

- ：点灯…自動選局感度が上がります。
- ：消灯…自動選局感度が下がります。

※画面の **エリア** ボタンが選択(黄色表示)されている場合は **エリア** ボタンをタッチして選択をやめてください。(灰色表示)

ラジオモード画面(例)



選択時黄色表示

👉 アドバイス

- 自動選局でなかなか止まらないときは **DX** ボタンを黄色表示にしてください。また、電波の強い局が多くて希望の局を選局しにくいときは **DX** ボタンを灰色表示にしてください。
- 山間部などラジオの受信状態が悪い地域では、**DX** ボタンを黄色表示にしても止まらないことがあります。この場合は手動選局してください。

交通情報を受信する

道路交通情報を聞く

AMラジオ局の道路交通方法を受信することができます。

1

パネルの **TI** ボタンを押す。

：交通情報モード画面になり、
AMラジオ局の道路交通情報を
受信します。

TI ボタン



アドバイス

他のモードのときに交通情報モードにした場合は **TI** ボタンをもう一度押すとそれまでのモードに戻すことができます。

道路交通情報の受信を止める

■ パネルの **SRC ON/OFF** ボタンを押した場合

：画面に“SOURCE OFF”と表示され、オーディオモードを終了(交通情報受信終了)します。

■ パネルの **TI** ボタンを押した場合

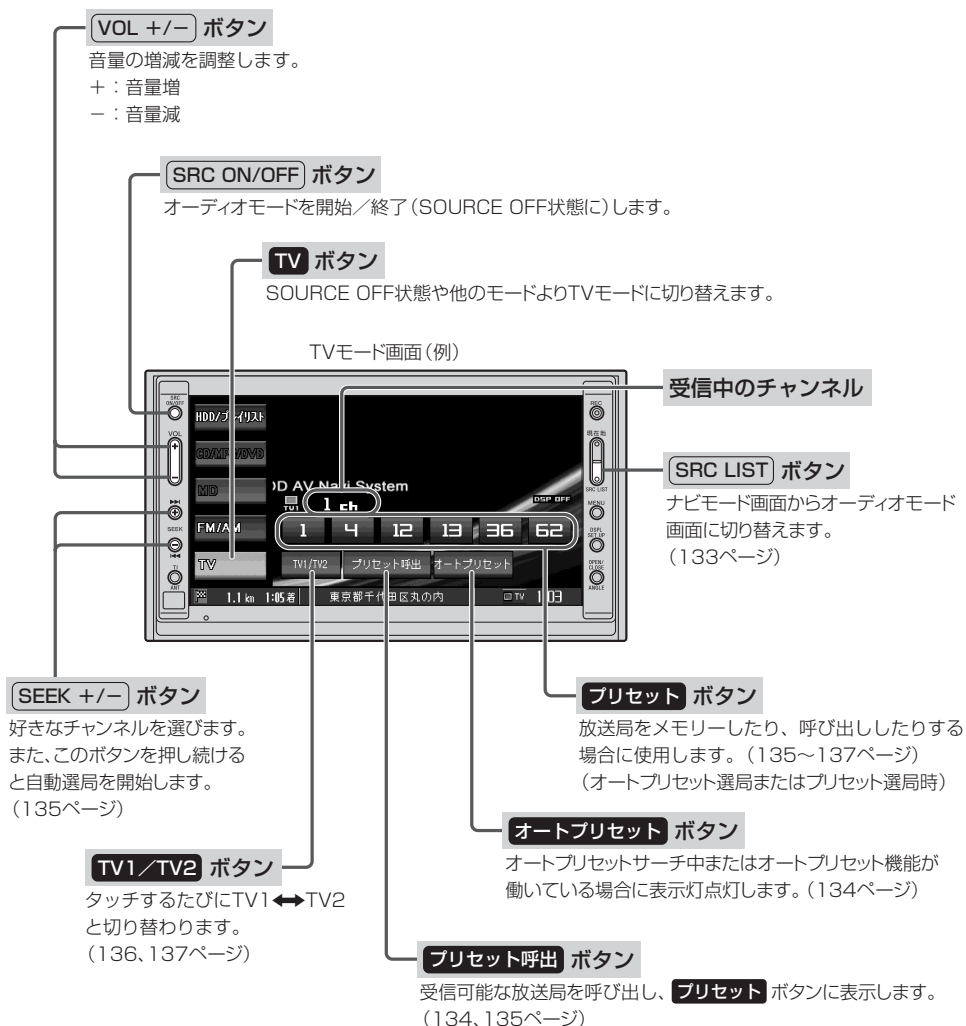
：交通情報モード画面にする前のモードに戻ります。

ラジオ

「ラジオを使う」→「交通情報を受信する」

TVを使う(1)

各部の名称とはたらき



※マルチ画面の場合にTVモードに切り替えるには、**[SRC LIST]** ボタンを押してオーディオモード画面を表示させ、**TV** ボタンをタッチしてください。

※別売の地上デジタルTVチューナーを接続すると**TV** ボタンの下に**DTV** ボタンが表示され、DTVモードの選択が可能になります。操作方法は別売の地上デジタルTVチューナーの取扱説明書をご覧ください。

TVを見る



安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみTVをご覧になることができます。(走行中は音声のみになります。)

■ 他のモード画面を表示している場合

- オーディオモード画面またはSOURCE OFF (オーディオモード終了)の場合は…

画面の **TV** ボタンをタッチする。

：TVモード画面を表示します。



SRC LIST ボタン



アドバイス

DVDモード画面の場合は、パネルの **SRC LIST** ボタンを押してオーディオモード画面を表示させ、画面の **TV** ボタンをタッチしてください。
モード表示は約5秒間表示されます。

- ナビモード画面の場合は…

パネルの **SRC LIST** ボタンを押してオーディオモードにし、画面の **TV** ボタンをタッチする。

：TVモード画面を表示します。



SRC LIST ボタン

TV

TVを使う

TVを切る

1

パネルの **SRC ON/OFF** ボタンを押す。

：画面に “SOURCE OFF” と表示され、TVモード画面を終了します。(オーディオモード終了。)

TVを使う(2)

選局する

■ オートプリセット選局で放送局を選ぶ場合

オートプリセット選局は、ナビモード画面の現在地マークのある場所で受信できる放送局を自動で12局までメモリーします。

①画面をタッチする。

：モードを表示させます。

※モード表示は約5秒間表示されます。



②モード表示中に画面の **オートプリセット** ボタンをタッチする。



： **プリセット呼出** ボタンが黄色表示になり、画面に“SEARCH.....”を表示し、受信した放送局を **プリセット** ボタンにメモリーします。

③画面をタッチしてプリセットボタンを表示させ、**プリセット** ボタンの中で呼び出したい放送局をタッチする。



プリセット
ボタン



👉 アドバイス

オートプリセット選局で1局も放送局をメモリーできなかった場合、表示部に“NO STATION”と表示され、オートプリセット選局をする前の状態に戻ります。

□ オートプリセットサーチでメモリーした放送局を呼び出す場合

※134ページ手順①、②にしたがってメモリーした放送局を呼び出すことができます。

①画面をタッチする。

：モードを表示させます。

※モード表示は約5秒間表示されます。



②モード表示中に画面の **プリセット呼出** ボタンをタッチする。



：オートプリセットサーチでメモリーした放送局を **プリセット** ボタンに表示します。

③ **プリセット** ボタンの中で呼び出したい放送局をタッチする。



プリセット ボタン

6局以上プリセットされた場合に **次へ** ボタンが表示されます。
表示された **次へ** ボタンをタッチするとさらにオートプリセットサーチでメモリーした放送局をプリセットボタンに表示します。

※再度 **プリセット呼出** ボタンをタッチするとボタンが灰色表示になり、**プリセット呼出** ボタン選択前のチャンネルに戻ります。

■ 手動選局で放送局を選ぶ場合

パネルの **SEEK +/-** ボタンを押す。

：ボタンを押すたびに、1チャンネルずつ変わります。



SEEK +/- ボタン

■ 自動選局で放送局を選ぶ場合

パネルの **SEEK +/-** ボタンを0.7秒以上押し続ける。

：自動選局を始め、放送局を受信すると、自動的に止まります。

希望の放送局が見つかるまで、この操作を繰り返してください。

※自動選局中に **SEEK +/-** ボタンを押すと、自動選局は止まります。

👍 アドバイス

- ・選局中は表示部に“SEARCH.....”と表示されます。
- ・受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。

TV
TVを使う

TVを使う(3)

■ プリセット選局で放送局を選ぶ場合

プリセット ボタンにメモリーした放送局を呼び出すことができます。

あらかじめ **プリセット** ボタンに放送局をメモリーしておく必要があります。

☞ 「**プリセットボタンにメモリーする**」下記参照

TV1/TV2 ボタンをタッチする
たびにTV1 ↔ TV2と切り替わる

プリセット ボタン

呼び出したい **プリセット** ボタンをタッチする。

※メモリーした放送局が7局以上ある場合は、画面の

TV1/TV2 ボタンをタッチして次の放送局より選択できます。



7局以上ある
場合にタッチ

プリセットボタンにメモリーする

メモリーしたい局を選び、**プリセット** ボタンにメモリーします。

※ **プリセット** ボタンには、TV1画面に6局、TV2画面に6局、計12局メモリーすることができます。

1

パネルの **SEEK +/-** ボタンを押して、メモリーしたい放送局を選ぶ。

☞ 「**選局する** (手動選局／自動選局で放送局を選ぶ場合)」135ページ

2

画面をタッチしてモードを表示させ、画面の **プリセット** ボタンのうち、メモリーしたいボタンを1.5秒以上(プリセットボタンの表示がメモリーしたい放送局の表示に変わるまで)タッチする。

例 TV2のプリセットボタンに3chをメモリーする場合

①モード表示時、画面の **TV1/TV2** ボタンをタッチする。

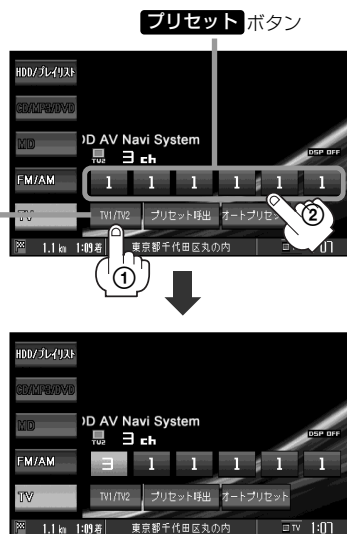
：表示部の表示がTV1→TV2になりTV2用の
プリセット ボタンが表示されます。

TV1/TV2 ボタンをタッチするたびに
表示部のTV1 ↔ TV2が切り替わる

②メモリーしたい **プリセット** ボタンを1.5秒
以上タッチする。

👉 アドバイス

- すでにメモリーされているボタンに新たにメモリーすると上書きとなり、それまでのチャンネルは消失されます。
- メモリーした放送局を呼び出すには、TV1 ↔ TV2を選び、呼び出したい **プリセット** ボタンを軽く(1.5秒未満)タッチします。☞「プリセット選局で放送局を選ぶ場合」136ページ



TVの アナログ放送 から 地上デジタル放送 への移行についてお知らせ

地上デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に終了することが、国の方針として決定されています。



TV

「TVを使う」

マルチ画面について(1)

■ナビ画面とオーディオ画面を左右に分割して同時に表示することができます。(マルチ画面)

- 1 パネルの **現在地** ボタンを押す。
：ナビモード画面が表示されます。



1 **現在地** ボタン

- 2 画面の **QUICK MENU** ボタンをタッチする。
：クイックメニューと共に **マルチ画面** ボタンが表示されます。

- 3 画面の **マルチ画面** ボタンをタッチする。
：マルチ画面で表示されます。
画面左側…ナビ画面
画面右側…オーディオ画面



HDDモード画面(例)

モード表示が約5秒間表示されます。



- 4 マルチ画面の表示内容や機能は下記に示す通りとなります。

■ ナビ+CDモードの場合



好きなトラックを選んだり、早送り／早戻しや、シャッフル／リピート／スキャン再生が可能です。

📖 44ページ～

■ ナビ+HDDモードの場合



好きなトラックを選んだり、早送り／早戻しや、シャッフル／リピート／スキャン再生が可能です。

☞ 52ページ～

■ ナビ+プレイリストモードの場合



好きなトラックを選んだり、早送り／早戻しや、リピート再生が可能です。

☞ 55、57ページ

■ ナビ+MP3モードの場合



好きなトラックを選んだり、早送り／早戻しや、リピート再生、ファイル名の表示の切り替えが可能です。

☞ 77ページ～

■ ナビ+MDモードの場合



好きなトラックを選んだり、早送り／早戻しや、シャッフル／リピート／スキャン再生が可能です。

☞ 85ページ～

他

「マルチ画面について」

マルチ画面について(2)

■ ナビ+DVDモードの場合



チャプター画像を進める／戻す、早送り／早戻し、コマ送り／コマ戻し、スロー送り／戻し／一時停止／停止／再生などが可能です。

☞ 95ページ～

※走行中は音声のみとなります。

■ ナビ+ラジオモードの場合



好きな放送局を(手動／自動／エリア／プリセット選局で)選んだり、メモリー(プリセット)することが可能です。

☞ 123ページ～

■ ナビ+TVモードの場合



好きなチャンネルを(手動／自動／プリセット選局で)選んだり、メモリー(プリセット)することが可能です。

☞ 132ページ～

※走行中は音声のみとなります。

5

マルチ画面の表示を止めるには…

■ パネルの「現在地」ボタンを押した場合


：ナビ画面を表示します。

※オーディオモードは終了しません。

■ パネルの「SRC LIST」ボタンを押した場合

：オーディオモード画面を表示します。

アドバイス

- マルチ画面の場合、地図の向きの切り替えや、スクロールはできません。
- REC (同時再生録音) 中でもマルチ画面にすることができます。ただし操作できるモードはMD・FM/AM (交通情報含む)・TVとなります。
※高速録音中はマルチ画面にできません。
- マルチ画面 (ナビ+DVDモード) の場合、DVDの初期設定でアスペクト比を“16:9”に設定していても、その比率で表示されません。
- 情報表示を止めることができます。
 「情報表示を止める」19ページ
- 別売の7インチワイドモニター (XVM-F65) を接続している場合、7インチワイドモニター側ではDVDとTVモードの時、マルチ画面は表示できません。

DualDiscについてのご注意

DualDiscとは、DVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。なお、この音楽専用面はコンパクトディスク (CD) 規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。

メッセージ表示について

■下記のようなメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

メッセージ表示	原因	本機の動作および処置	参考ページ
“このディスクはリージョンが違います”	リージョン番号が「2」または「ALL」以外のDVDビデオを再生しようとしたとき。	本機のリージョン番号は「2」です。リージョン番号が「2」または「ALL」以外のDVDビデオは、本機では再生できません。	—
“パレンタル設定により再生できません”	視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止しているとき。	初期設定のパレンタル設定を確認してください。再生しようとしているDVDビデオの視聴制限レベルに合わせて、パレンタル設定のレベルを変更すると、再生することができます。	121
“パスワードが間違っています”	入力したパスワードが、登録してあるパスワードと違うとき。	パスワードを入力しないと、視聴制限の設定ができません。正しいパスワードを入力してください。	121、122
“安全のため、走行中は表示できません”	走行中にDVDビデオを再生またはTVを見ようとしたとき。	安全のため、パーキングブレーキを引かないと、映像(動画)を見ることはできません。安全な場所に車を停車させ、パーキングブレーキを引いてから、操作してください。	—
“ディスクを確認してください”	本機で再生できないディスクをいれているとき。	本機で再生できるディスクを入れてください。	—
“このMEMORY STICKからHDDへ保存できません”	対応していないMEMORY STICKからHDDへデータを保存しようとしたため。	本機で使用できるMEMORY STICKを確認してください。	—
“HDDの容量が一杯になったので、録音を停止します”	録音中にHDDの容量が一杯になったため。	HDD内の音楽データを削除してから、再度録音してください。	—
“録音中は、編集モードへ移行できません”	録音中に、編集作業を行おうとしたため。	録音を中止してから編集作業を行ってください。	—
“画像を表示できません”	<ul style="list-style-type: none"> 画像サイズが大きすぎるため。 背景の画像データのファイル形式が違っているため。 	<ul style="list-style-type: none"> 横832×縦496dot以下の画像ファイルとしてください。 画像データを確認してください。 ファイル容量を1Mbyte以下としてください。 	—
“DISC ERROR”	<ul style="list-style-type: none"> CDが逆にセットされているとき。 ディスクが汚れ／異常があるとき。 音楽用ディスク以外のディスクがセットされているとき。 	<ul style="list-style-type: none"> ディスクを正しくセットしてください。 ディスクの汚れを拭きとってください。 別のディスクを入れてみてください。表示が消えれば、まへのディスクに異常がある可能性があります。 正しいディスクをセットしてください。 	—
“DISC LOADING”	ディスクを読込中です。		—
“HDD管理情報に不正があります。今まで録音した音楽データを削除してよろしいですか？”	オーディオファイル管理データが一時的に読み取りできない。	表示が消えるまでしばらくお待ちください。 いいえ を選択し、ACCを一旦OFFしてください。 30秒以上待ってからACCをONしてください。	—

故障かな？と思ったら(1)

ちょっとした操作のミスや接続のミスで故障と間違えることがあります。

修理を依頼される前に、下記のようなチェックをしてください。それでもなお異常があるときは、使用を中止してお買い上げの販売店にご連絡ください。

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
低温時に電源をONにした場合、しばらく画面が暗い。	液晶の特性によるものです。	故障ではありません。 しばらくそのままお待ちください。	—
電源をONにした後、しばらく画面にムラがある。	液晶のバックライトの特性によるものです。	故障ではありません。 しばらくすると安定します。	—
映像が出ない。	明るさ／黒レベル調整が暗い方になっています。	明るさ／黒レベルを調整してください。	15～17
	画面が消えている。	画面をタッチして、画面を表示させてください。	12
音が出ない。	音量が小さい。	+／- ボタンで調整してください。	11
	取り付け方が悪い。	しっかり固定してください。	—
振動によりCDの音がとぶ。	CDの不良。	他のCDを聞いてみてください。よくなればCDの不良の可能性があります。	—
	CDがよごれている。	CDのクリーニング(やわらかい布等でディスクの汚れをふきとるなど)をしてみてください。	本編 参照 23
CDの音質が悪い。	CDの不良。	他のCDを聞いてみてください。よくなればCDの不良の可能性があります。	—
	CDがよごれている。	CDのクリーニング(やわらかい布等でディスクの汚れをふきとるなど)をしてみてください。	本編 参照 23
CDが入らない。	<ul style="list-style-type: none"> 結露している。 すでにCDが入っていて2枚目をいれようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> CDを取り出して、本機をしばらく放置してから使ってください。 入っているCDを取り出してから、次のCDを入れてください。 	—
MDが入らない。	すでにMDが入っていて2枚目をいれようとしている。	入っているMDを取り出してから、次のMDを入れてください。	—
	MDを入れる方向がちがう。	▲のついた面を上にして、◆の方向に入れてください。	—
ラジオの自動選局ができない。	電波が弱い。	手動選局してください。	128
フロントスピーカー、リアスピーカーのどちらかの音がない。	フェダーのレベルが片方によっている。	フェダーレベルを調整してください。 2スピーカーの場合は、“0”に合わせます。	24、 25

故障かな？と思ったら(2)

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
片側（左右もしくは前後）のスピーカーだけ音が出る。	スピーカーコードがはずれている。	スピーカーコードの接続を確認してください。	—
	音量の調整不良。	左右音量調整をして確認してください。	—
音声は出るが、TV映像が出ない（停車中）	サイドブレーキを引いていない。	サイドブレーキを引いてください。	—
映像も音も出ない	車の電源スイッチが入っていない。	車のキーを「ACC」または「ON」の位置にしてください。	—
	接続コードの接続が不完全。	各接続コードの接続を確認してください。	—
テレビ映像色や色あいが悪い。	明るさ／色のかさ／色合い／黒レベル調整がずれている。	明るさ／黒レベル／色の濃さ／色合いを調整してください。	15～17
テレビ映像にはん点やしま模様が出る。	ネオンサイン、高圧線、アマチュア無線、他の自動車などの影響。	妨害電波を受けない場所に移動してください。	—
テレビの映りが悪い。“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の電波が弱い。	他のチャンネルを選局してみてください。	134～137
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、映りが良くなり、雑音が少なくなります。	—
テレビの自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。	135
DVDの再生を始めない。	ディスクが入っていない、または、裏向きにセットされている。	印刷面を上にして、正しくセットしてください。	本編参照 27
	ディスクが汚れている。	ディスクの汚れをふきとってください。	本編参照 23
	結露している。	ディスクを取り出して、本機をしばらく放置してから使ってください。	—
	本機で再生できないディスクを入れている。	本機で再生できるディスクを入れてください。	4、5
	本機で再生できないリージョン番号のDVDビデオを入れている。	本機のリージョン番号は「2」です。リージョン番号が「2」または「ALL」のDVDビデオを再生してください。	7
	視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止している。	初期設定のパレンタル設定を確認してください。	121
操作ボタンを押しても、“⊗”を表示するだけで、操作ができない。	再生しているディスクがその操作を禁止している。	再生しているディスクまたは場面では、その操作をすることはできません。（ディスクに付属されている説明書もあわせてご覧ください。）	—

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
音声や映像が乱れる。	ディスクに汚れ、キズがある。	ディスクの汚れをふきとってください。また、キズのついているディスクは使用しないでください。	本編 参照 23
	振動の生じるところで使用している。	本機に振動が加わると、音とびをしたり、映像が乱れることがあります。振動が止まると、通常の動作に戻ります。	—
字幕がでない。	再生しているDVDビデオに字幕が収録されていない。	字幕を表示することはできません。	—
音声言語／字幕言語が切り替わらない。	再生しているDVDビデオには、1つの言語しか収録されていない。	複数の言語が収録されていないディスクの場合は、言語を切り替えることはできません。	—
	再生しているDVDビデオが、言語の切り替えを禁止している。	言語を切り替えることはできません。	—
設定で選んだ音声言語／字幕言語にならない。	再生しているDVDビデオに収録されていない言語を選んでいる。	ディスクに収録されていない言語には切り替えられません。この場合は、ディスクに収録されている言語のいずれかで再生されます。	—
字幕が消せない。	再生しているDVDビデオが、字幕を消すことを禁止している。	字幕を消すことはできません。	—
設定で選んだアスペクト比にならない。	再生しているDVDビデオに収録されていないアスペクト比を選んでいる。	ディスクに収録されていないアスペクト比には切り替えられません。この場合は、ディスクに収録されているアスペクト比のいずれかで再生されます。	—
アングルを切り替えることができない。	再生しているDVDビデオには、1つのアングルしか収録されていない、または、一部の場面にのみ、複数のアングルが収録されている。	複数のアングルが収録されていないディスク／場面では、アングルを切り替えることはできません。	—
	再生しているDVDビデオが、アングルの切り替えを禁止している。	アングルを切り替えることはできません。	—
タイトルを選んで決定(実行)しても、再生が始まらない。	視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止している。	初期設定の parental 設定を確認してください。	121
視聴制限をしているのに、再生が制限されない。	再生しているDVDビデオには、視聴制限が収録されていない。	視聴制限をすることはできません。	—
初期設定、DVDメニューが外国語で表示される。	初期設定が、外国語に設定されている。	“初期設定言語”を日本語に設定すると、初期設定が日本語で表示されます。また、“メニュー言語”を日本語に設定すると、ディスクに日本語が収録されていれば、DVDメニューが日本語で表示されます。	115～ 119

故障かな？と思ったら(3)

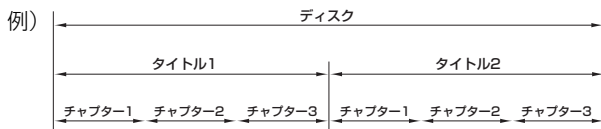
症 状	原 因	処 置	参考 ページ
CDを再生しても、自動で録音されない。	録音設定が“Manual REC”に設定されている。	録音設定を“Auto REC”に設定してください。	—
	MP3を再生している。	MP3は録音できません。	—
MEMORY STICKの再生ができない。	対応していないMEMORY STICKが挿入されている。	対応しているMEMORY STICKを挿入してください。	—
ディスプレイに光る点がある。	液晶パネルは99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。	—
背景が表示されない。	取り込み画像サイズおよびファイル形式は適切ですか。	取り込み画像サイズを確認してください。	—

用語説明(1)

タイトル、チャプター

DVDビデオに収録されている内容は、いくつかの大きな区切り(タイトル)に分かれている場合があります。

また、1つのタイトルは、いくつかの小さな区切り(チャプター)に分かれている場合があります。各タイトルに付けられた番号をタイトル番号と呼び、各チャプターに付けられた番号をチャプター番号と呼びます。



トラック

CDまたはMDに収録されている曲の区切り(1曲分)をトラックと呼びます。各トラックに付けられた番号をトラック番号と呼びます。

アスペクト比

画面の縦、横のサイズの比率のことです。アスペクト比には、4:3(普通のテレビ)と16:9(ワイドテレビ)の2種類あります。

レターボックス(LB)

16:9のワイド画像をアスペクト比4:3の普通のテレビに表示するときの方法の1つです。ワイド画像を垂直方向に圧縮することによって、4:3のテレビでも、正規の比率で画像を表示します。画面の上下には、黒い帯が入ります。

パン&スキャン(P&S)

16:9のワイド画像をアスペクト比4:3の普通のテレビに表示するときの方法の1つです。ワイド画像の左右をカットして、4:3のテレビで表示します。

視聴制限(パレンタル)

DVDビデオの機能の1つで、プレーヤー側(本機)で設定している視聴制限レベルに応じて、DVDビデオの再生が制限されます。制限のしかたはディスクによって異なり、全く再生ができない場合や不快な場面をとばして再生する場合などがあります。

※視聴制限が収録されていないDVDビデオもあり、この場合は、再生を制限することはできません。

MDLP

MDの長時間圧縮技術を改良し長時間録音可能とした技術です。80分ディスクなら通常録音80分、LP2(2倍モード)は160分、LP4(4倍モード)は320分の再生が可能です。本機はMDLPディスクの再生に対応しています。

用語説明(2)

MP3

MP3はMPEG Audio LayerⅢの略で、MPEG Audio Layer3は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3は人間の聴き取れない音声、不可聴帯域を圧縮するので、元のファイルを約1／10のサイズにすることができます。

ID3タグ

MP3ファイルには、IDタグと呼ばれる付属文字情報を入力する領域が確保されていて、曲のタイトル、アーティスト名などを保存できます。ID3タグに対応したプレイヤーでID3タグ情報の表示・編集が可能です。

エンコーダ

WAVEファイルからMP3ファイルへ変換（圧縮）するためのソフトウェアです。

ATRAC3アトラックスリー

「Adaptive Transform Acoustic Coding3」の略で、高音質、高圧縮を両立させた圧縮技術です。元のファイルを約1／10のサイズに圧縮することができるので、1枚のCDに複数の音楽を録音することができます。

“メモリースティック”

小型、軽量のIC記録メディアです。“メモリースティック”対応機器で画像や音楽などのデータを記録することができ、1枚の“メモリースティック”に異なる種類のデータを混在して記録することができます。

Gracenote CDDB

Gracenote CDDBはGracenoteの登録商標です。Gracenoteロゴ及びロゴタイプ、Gracenote CDDBロゴ及びロゴタイプ、ならびに“Powered by Gracenote CDDB”ロゴは、Gracenoteの商標です。音楽認識サービスとMRSはGracenoteのサービスマークです。

音楽認識技術及び関連データは、Gracenote及びthe Gracenote CDDB Music Serviceにより提供されています。Gracenoteは音楽認識技術及び関連コンテンツ配信分野での業界標準です。

より詳しい情報は、www.gracenote.comをご覧ください。

コピーコントロールCD／レーベルゲートCD

パソコンなどで音楽データを読み取り、データ化、保存ができないように処理してあるCDのことです。コピーコントロールCD、レーベルゲートCDには下記のマークが付与されています。

ご使用になる前に、必ずパッケージなどに同梱されている説明書をお読みください。



セッション

CD-R、CD-RWでは、書き込みをする度にデータの前後にリードイン、リードアウトという領域が付加されます。このリードイン、データ、リードアウトの固まりを、“セッション”と言います。本機は、同じディスクに音楽データとMP3データが混在する場合、最初のセッションに記録されているデータしか再生できません。（ディスクによっては再生できない場合もあります。）

セッションをクローズした後に、データを追加した場合は、第2セッション以降に書き込まれるので、本機では再生できません。

索引

五十音順

い

イコライザ 22、23

え

映像調整 15~17

お

オーディオライブラリーシステム

オーディオライブラリーシステムに

ついて 38、39

オーディオライブラリーシステムを

使う 52~64

録音する 43

録音設定 40~42

音量調整 11

か

各部の名称とはたらき (表示部含む)

ラジオ 123、124

CD 44、45

DVD 95~97、114

HDD/プレイリスト 52、53

MD 85、86

MP3 77、78

TV 132

画面を消す 12

こ

故障かな?と思ったら 143~146

さ

再生できるディスク 4、5

し

自動/手動録音選択 32

情報表示 18、19

初期化 (Gracenote CDDb/HDD/

メモリースティック) 37

て

データ管理 34~37

データベースについて 5

は

背景 26~31

ふ

フェダー/バランス調整 24、25

プレイリスト

プレイリスト登録 64、65

プレイリストを使う 66~71

ま

マルチ画面 14、138~141

め

メッセージ表示 142

メモリースティックについて 8

も

モードボタンについて 10

よ

用語説明 147~149

ら

ラジオ

道路交通情報 131

ラジオについて 8

ラジオを使う 123~130

アルファベット

C CD

CDプレーヤーを使う44～51

D DVD

DVDビデオについて7

DVDプレーヤーについて94

DVDプレーヤーを使う95～113

DVD (初期設定)について114～122

H HDD

HDDの情報33

M MD/MP3

MDプレーヤーを使う84～93

MP3について72～76

MP3を使う77～83

T TV

TVについて8

TVを使う132～137

他

〔索引〕

ソニーFAXインフォメーションサービスのご案内 (FAX付電話でご利用になれます)

カーフィッティングFAXサービス 車種メーカー、車種・車種形式別の

カーオーディオ部の取り外し方法、各種センサー位置等の資料

①インデックスの入手/03-3552-7209 →車種メーカー別のBOX番号を受信

②資料請求/03-3552-7488 →アナウンスに従いご希望の車種の該当BOX番号
を入力してください。

24時間

お手元のFAXで

資料が取り出せます

- ソニーFAXインフォメーションサービスをご利用の際のインデックス入手料・資料請求は通話料のみお客様のご負担となります。またFAXの機能によっては受信できない場合があります。
- FAXサービスのメンテナンス日は 毎月第2木曜日 午前8:00～午後11:00となっております。ご迷惑をおかけしますが、当日前記時間帯は資料を取り出すことはできません。ご了承ください。(第2木曜日が祭日の場合は前日の水曜日をメンテナンス日とさせていただきます。)

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ ● <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター

●ナビダイヤル*..... 0570-00-3311

(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)

●携帯電話・PHSでのご利用は*..... 03-5448-3311

(ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください)

●FAX..... 0466-31-2595

受付時間：月～金曜日 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし、内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。

- 1：修理受付
- 2：使用方法や故障と思われるご相談
- 3：お買物相談
- 4：業務用・プロ用商品に関するご相談全般
- 5：その他のご相談

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35



- 主なはんだ付けに無鉛はんだを使用しています(80%以上)。
- 包装用緩衝材に段ボールを使用しています。
- 包装用緩衝材に発泡スチロールを使用していません。
- 外箱の印刷にVOC(揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。
- この説明書はVOC(揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。